

- (全上)他管他郡ヨリ寄留スルモノ本税未納ニ付財産ヲ公賣スルハ戶主ト家族ヲ論セス其寄留地ニ所持スル物品ニ止リ若シ公賣ノ上不足ヲ生スルモ本籍ノ財産ニ及ホヌヲ得ス
- (全上)管舎ニ係ル戸數割ハ其借用人ヨリ之ヲ徵收ス
- (全上)戸數割ハ財産ヲ指定メサルモノニ付其未納者ノ處分ニ當テハ土地家屋ヲ除ク外他ノ財産兩戸ヲ除キ疊襖障子板戸等都テ動移スヘキモノヲ公賣スルヲ得且其營業必用ノ器械衣類炊具等民事身代限ノ例ニ擬シ差除クヘシ
- (全上)營業稅又ハ雜稅ノ賦課ヲ受クル物品ハ戸數割未納ノ際ニ於テハ公賣スルヲ得ス
- (全上)官有地第三種ノ地ヲ人民ノ願ニ依テ貸渡ス時ハ貸渡中借地人ヨリ町村ノ協議費ヲ出シ且家屋ヲ建築シ居住スル者ハ本稅ヲ賦課スルヲ得

第二條 營業稅雜稅種類

- (内務省伺太政官指令)明治十三年第十七號布告第九條ニ據リ政府ノ裁定ヲ得ヘキ特別課稅ハ各府縣其種類制限ヲ具ヘテ上謂スヘキニ付別ニ布告ニ及ハス

第三條 地方費目

警察費(警察費ニ關スル伺指令ハ警保ノ中警察費ノ欄ニ掲ク)

- (内務省備考)警部ニ屬スル諸費及ヒ僱外國人ニ屬スル諸費ハ別ニ之ヲ下附ス故ニ其俸給與旅費ハ會議ニ附スヘキモノニアラス
- (全上)屋蓋取縮費(水火消防費)ノ如キハ本費ヲ支辨ニ屬ス
- (内務省乙第二十五號達)巡查滿年賜金ハ府縣警察費ヨリ支辨スルモノトス
巡查奉職滿二年勤績ノ者ハ明治七年第六十一號公達ニ照シ滿年賜金ヲ給與スヘシ
官ノ都合ヲ以テ免職シ又ハ病死スルトキ勤績二年未滿ト雖ロ已ニ滿一年ニ至ル者ハ滿年賜金ノ例(即チ月給半ヶ月分)ニ照シ給與スヘシ
- (内務省乙第十七號達)營業雜稅規則ニ揭クル各業者ヘ鑑札ヲ下附スルハ不苦ト雖モ鑑札料手數料等ハ收入スヘカラス但鑑札下附ノ費用ハ警察上ヨリ下附スルモノハ警察費ヨリ支辨シ収稅上ヨリ下附スルモノハ地方稅廳中費ヨリ支辨スヘシ
- (大阪府伺内務大藏省指令)狂犬病犬取縮入費トシテ鑑札手數料ヲ收入スルヲ得ス其費用ハ警察費ヨリ支辨スヘシ
- (群馬縣伺内務大藏省指令)山邊僻阪ノ村落鳥獸ノ被害防禦ノ爲メ從來彈威銃願者ヲ許可シ取縮ノ爲メ鑑札ヲ附與シ其料金ヲ徵收シタルモ地方稅改正以降ハ之ヲ徵收スルヲ得ス其製造費ハ警察費

ヨリ支辨スヘシ

○(第三十八號公達^{註三})地方税聯帶支辨ノ國庫下渡金ハ其年額ヲ四分ノ一ヲ請求シ其他ノ經費金ハ従前ノ通心得ヘシ

(區)部郡部會

第一條 性質及職權

○(大阪府伺内務省指令^{註四}) (區)部郡部會ハ府縣會規則第七條ニ準シ内務卿ニ建議スルノ權アリ

第二條 議事區別

○(大阪府伺内務省指令^{註五}) (區)部各別支辨ト區郡巡帶支辨トノ區分ヲ年々議會ニ付スルト付セサルトハ府會ノ議定ニ任スヘシ

第九條 家屋税

○(大阪府伺内務大藏兩省指令^{註六}) 家屋税ハ家屋ノ廣狹及ヒ石造木造等ノ區別ヲナシ其精粗ニ應シテ建坪ニ賦課スルカ如キハ適宜見込ヲ立(區)部會ニ於テ議定セシムヘシ
家屋税ハ現住者アルモノト空屋トニ拘ハラス凡テ其所有主ヨリ徵收スルモノトス

土木費

○(内務省備考) 道路標程ノ費用及往還並木ノ道路ニ支障ヲナスモノヲ取片付ル爲メ要スル費用ハ本項道路費ヨリ支辨スヘシ

○(全上) 並木植繼及新規植立費ノ加キハ道路修繕費ヨリ支辨スヘシ枯損木賣却代ハ地方税雜收入ニ組入ルヘシ

○(全上) 地方税支辨ニ係ル工管ニ使役スル人夫ノ内負傷又ハ死亡ノ者手當金ハ官給ノ規則ニ據リ本項ノ内ヨリ支給スヘシ

○(新潟縣伺内務省指令^{註七}) 道路堤防ノ保護ハ戶長ノ擔任スル所ナリト雖モ戶長ハ町村百般ノ事務繁忙ナルヲ以テ自然難行届狀能有之ヨリ更ニ擔當委員ヲ置キ戶長協議ノ上平常保護修理ノ事ニ心得サセントストキハ其手當金ハ地方税土木費ヨリ支辨スルヲ得

○(群馬縣伺内務省指令^{註八}) 堤塘使用料及并木敷貸渡料ハ國庫下渡金ト異ナリ實收ニ於テ豫算ト異動ナキヲ保セス其豫算ヨリ實收ノ減スルモノハ一般地方税ヨリ補充シ増ストキニ方リテハ或ハ一般地方税ノ實收ノ豫算額ヨリ減スルモノモ不拘翌年度ニ繰越サレ得サル等其豫算ニ増減ヲ生シ實際不便トセハ本年度ノ收納金ヲ翌年度ニ於テ使用スヘシ

○(内務省伺太政官指令^{註九}) 土木費所屬區域ヲ定ムルハ府縣會之ヲ議定スルノ權ナシ但府知事縣令ニ於

ヲ之ヲ略問スル如キハ其便宜ニ依ルヘシ

(區)町村土木補助費

○(内務省)内務省指令(第...號)區町村會若クハ水利土工會ノ評決ニ屬スヘキ公共ノ事業ニ限リ補助スルモ
モノトス其他一己人ノ負擔ニ屬スルモノハ公共ノ利害ニ影響ヲ及ホスト雖トモ補助ノ限リニテラ

ス

○(兵庫縣)參事院說明(第...號)區町村土木補助費及區町村教育補助費ハ必ス之ヲ補助スヘキノ意ニアラ
ス地方税ヲ以テ之ヲ補助シ得ルノ義ナリ故ニ其地方實際ノ都合ニヨリテハ全ク此目ヲ置カサルモ
妨ケナシ

府縣會議諸費

○(内務省)内務省指令(第...號)府縣會議員選舉ノ費用ハ派テ郡區廳中諸費ヲ以テ支辨スヘシ
○(大阪府)内務省指令(第...號)府會議堂及敷地ハ府廳ニ於テ之ヲ管理スヘシ
○(全上)府會議場ハ管内一般ノ公用ニ供スルモノニシテ其費用モ一般ノ公費即地方税ヲ以テ買得セシ
モノニ付其官ヲ帳簿ニ記載シ普通官用地ト類別シ置キ府廳郡區役所ト同シク官有地第二種ニ編入
スヘシ若シ異日不用ニ屬シ府會ノ議決ヲ以テ賣却スルトキハ其代金ハ地方税雜收入ニ紐入ヘシ

○(京都府)内務省指令(第...號)議員書記等給料旅費ノ請取證書ハ証券印紙規則第二則第一類中第二項諸
職業ニ關スルモノトシテ全ク別種ナルヲ以テ印紙貼用ノ限リニアラス

○(和歌山縣)内務省指令(第...號)縣會議案ハ全會ヘ一部ヲ下渡スモノトス其印刷費縣令ヨリ發スル
モノ及廳中用ノ分ハ其縣廳中費ヲ以テ支辨シ其他議場ニ於テ所用ノ分ハ本項ヨリ支辨スヘシ但議
案ハ郡區役所ニ配付スルヲ要セス

○(内務省)鹿兒島縣(第...號)縣會議員當選狀下付ノ爲メ呼出ニ係ル旅費ノ給否及給額ハ縣會ノ決
議ニ任スヘシ
衛生及病院費

○(内務省)備考(衛生)費目ハ之ヲ界限スル區別ナキヲ以テ尋常各町村衛生上ノ事業ニ屬スル諸費ヲ協
議費トシ救護諸費ノ如キハ従前ノ通官費トシ地方一般衛生事務ニ關スル必要諸費又ハ一般ノ爲メ
流行病豫防ニ屬スル諸費ヲ地方税ヨリ支辨スルモノトス

○(全上)明治八年第四十九號公達ニ關スル經費ノ別ハ地方税ヲ以テ支辨シ明治十年虎列刺病豫防費ノ
如キハ臨時ノモノニシテ明治十一年第三十號公達ノ限ニアラス但明治十一年内務省乙第五十五號
達ノ通心得ヘシ

- (全上)病院費ハ府縣立病院ノ諸費ヲ支辨スルモノニシテ貧窶ニテ自ラ醫藥ヲ要シ難キ病者ノ藥價及ヒ醫師ノ診察費等ヲ救助スル費用ヲ含蓄スルニアラス尤極貧ノ者入院施療ヲ乞フモノ及ヒ自宅ニ在テ病院ノ治療ヲ受ルモノ等ノ醫藥ノ費用ハ支辨スルモ妨ナシ
- (全上)區醫配置ノ費用及區醫ノ給料モ本項衛生費ヨリ支出スルモノトス
- (全上)種痘ノ費用謝金ノミヨリ支辨シ難キ分ハ本項衛生費ヨリ支辨スルヲ得
- (全上)府縣立病院并ニ中學校師範學校諸職員ノ免職病死又ハ事務勉勵ノ者ハ慰勞手當トシテ議會ノ決議ヲ以テ支給スルモ若シカラス但各費目中ニ就テ支給シ且本人一ヶ月俸額ヲ超過スルヲ得ス
- (全上)従前府縣稅ヲ以テ設置シタル府縣立病院等將來不用ニ隔シ賣却シタル代價ハ之ヲ地方稅へ組入ルヘシ
- (全上)牛馬醫壓婆按摩針治等ノモノ衛生上鑑札ヲ下附セサル可ラサル必要ノ理由アリト認ムル者ハ其費用ヲ本項ヨリ支辨スヘシ
- (大坂府内務省指令^{計法第...})虎列刺病流行ノ際豫防救治ニ從事セシモノ、手當巡查ハ警察費衛生委員ハ衛生費ノ内ヲ以テ適宜支辨スヘシ
- (岡山縣内務省指令^{計法第...})虎列刺病流行地方ヨリ來ル船舶檢査規則實施ノ費用及船中消毒ニ係ル諸

費其地方稅ヲ以テ支辨スヘシ

- (長野縣内務省指令^{計法第...})避病院費ハ勿論其建設費モ亦本項ニ屬ス但建設ノ場合ニ於テハ傳染病豫防規則第六條ニ據リ稟議ノ上處置スヘシ
- (三重縣内務省指令^{計法第...})傳染病豫防規則第十五條追加ノ場合ニテ交通謝絶ノ爲メ營業ヲナシ能ハサル究民救助ノ費用ハ本項ヨリ支辨スヘシ
- (第八條布告^{計法第...})傳染病ニ罹リタル者身元赤貧ニシテ資力ナキハ本籍寄留旅行ヲ問ハス其費用ハ總テ發病地ノ地方稅中衛生費ヲ以テ支辨スヘシ但流行ノ勢盛ナルハ時宜ニ據リ官費支給スルコトアルヘシ
- (茨木縣内務省指令^{計法第...})傳染病豫防費支出區分ハ例ヘハ傳染病流行ニ際シ其地方ノ郡區吏戶長巡查等豫防事務ノ爲メ出張スル旅費ハ專ラ職務上ニ係ルヲ以テ各其費目ヨリ支辨シ病毒ノ猛劇ナルヨリ爲メニ檢疫委員ヲ設クルルハ其委員ニ屬スル旅費ニ限り豫防費ヨリ支辨スヘキモノトス
- (内務省備考)舊大小區務所建物敷地及其附屬諸機械ハ悉皆郡(區)役所へ引繼モノトス但不用ノ品物ヲ賣却シタル代金ハ地方稅中雜收入ニ入ルヘシ

- (全上)民有地ヲ買上テ郡(區)役所敷地トシテ所用スルキハ其代金ハ地方税ヨリ支辨シ官有地第二種官用地ニ編入ス又將來其地ノ不用ニ屬シ賣却シタルハ其代金ハ地方税中雜收入ニ入ルヘキ者トス
- (全上)官舎ヲ郡(區)役所等ニ使用スルコトハ其貸渡料ヲ收入スルコト及ハス
- (全上)郡(區)役所ニ屬スル建物貸渡料ハ地方税雜收入ニ組入ルヘキモノトス
- (内務省備考)郡(區)吏ノ賞與金(十一年内務省乙第七十三號達)并ニ滿年賜金(同年内務省乙第八十二號達)ハ本項ヨリ支出スヘシ
- (全上)諸願何等各人民ヨリ直ニ府縣廳及郡(區)役所又ハ(戶)長役場ヘ差出スハ本人ノ自費ナル勿論ナレバ郡(區)役所ニ於テ添書等ヲ以テ府縣廳ヘ進達スル費用ハ郡(區)廳中費ヨリ支出スヘシ
- (全上)郡(區)役所小使等職務ノ爲メ負傷セシモノ、療養料ハ其傷病ノ輕重ニ應ジ相當ノ金額査定ノ上本項廳中費ヨリ仕拂フヘシ但該件ハ明治八年第五十四號公達ニ照準スヘキモノニアラス
- (全上)郡(區)吏員ニ於テ人名謄寫スル等ニテ呼出タル者ノ旅費ノ如キハ本項廳中費ヨリ支出スヘシ
- (全上)郡(區)長ヘ分任セシ事件ニ係ル出訴費用ハ本項廳中費ヨリ支辨スヘキモノトス
- (全上)郡(區)吏ノ罰俸又ハ訴訟ニ屬スル辨償金又ハ不用ニ屬シタル物品ヲ賣却セシ代金等ハ雜收入

トシ地方税ヘ收入スヘシ

- (全上)郡(區)吏等融陟ノ都合ニヨリ決議金額内ヲ以テ給料人員ヲ増減スルヲ得ヘシ
- (全上)地租改正ニ關スル諸費用ノ郡(區)役所ニ屬スルモノハ本項廳中費ヨリ支辨スヘシ
- (全上)嬰兒養育又ハ水火災ニ罹リタル者ヲ一時救助スル件等郡(區)長ヘ分任スルトキハ其費用ハ廳中費ノ内ヲ以テ一時繰替支拂進達テ府縣廳ヘ申立之ヲ受取ルモノトス
- (福岡縣伺)大藏省指令(計三三) 証券印紙取扱一切ノ費用及看板并烙印等ノ費用ハ地方税ヨリ支辨スヘシ
- (熊本縣伺)内務省指令(計三三) 縣廳ヨリ直ニ人民ヲ呼出スハ勿論郡(區)役所(戶)長役場ヲ經ルモノト雖モ其費用ハ官費ヨリ支辨スヘキモノニシテ本項ニ屬セス
- (堺縣伺)内務省指令(計三三) 郡(區)吏懲戒罰俸金ヲ以テ單ニ他處賞與等ニ支出スルヲ得ス地方税一般ノ費途ニ充用スヘシ
- (第三十二號公達)賣藥賣鹽札并行商鑑札製作費ハ自今本項ヨリ支辨スヘシ
- (大阪府伺)内務省指令(計三三) 徵兵事務條例第百七十八條ニ據リ下検査所ヘ呼出シタル旅費等ハ本項檢丁費ニ屬ス
- (愛媛縣伺)内務省指令(計三三) 治罪法第六十條郡(區)長及警部アラサル地ノ戶長等檢事ノ指揮ヲ受ケ司

法警察官トシテ犯罪ヲ捜査シ及逮捕シタル場合ニ於テ要スル諸費若クハ檢視處分及調査ヲ作ル間ト雖モ看守人ヲ附シタル時ノ備金將被告人ヲ檢事ニ引致スルハ巡查ヲシテ護送セシムヘシト雖モ山村僻邑ノ分署又ハ交番所等へ遠隔ノ地ヨリ巡查ニ引渡ス途ノ途中護衛者ノ雇賃其他被告人廢疾等ニテ歩行ニ耐ヘサルモノ、車夫昇夫賃等ノ費用ハ本項及(戶)長役場諸費ヨリ支辨スヘシ

○(内務省乙第二十號達^{計法})民事裁判所ヨリ人民呼出狀脚夫賃錢及赤貧被告トナリ喚問旅費自今郡(區)役所又ハ(戶)長役場ニ於テ繰替又ハ官費支給スル義一切相成ラス

○(群馬縣何内務省指令^{計法})刑事ニ關スルモノト雖モ本年内務省乙第二十號達ニ照準スヘシ

○(新潟縣何内務省指令^{計法})縣廳雇ニシテ郡(區)書記轉任后元任中酒造檢査ノ爲メ出張ノ際營業人帳簿上不都合ノ廉ヲ發願シ檢事へ告發ニ及ヒ置キタル事件ニ就キ証人トシテ裁判所ノ召喚ニ應シ出頭セシ旅費及用紙類ノ費用ハ郡テ縣廳諸費ヨリ支出シ刑法附則第四十八條以下ニ準シ其裁判費用ト請求スルヲ得但し旅費額ハ現職相當ヲ以テ支給スヘシ

○(高知縣何内務省指令^{計法})郡(區)吏戶長諸備小使等ニテ職務ノ爲メ死傷セシモノハ其功勞ノ大小傷痕ノ輕重ヲ量リ吊祭扶助療治料等ヲ支給スルヲ得此場合ニ於テハ死傷ノ事實ヲ具陳シ地方税ヨリ支辨ノ見込ヲ以テ其郡度伺出ツヘシ

○(京都府何内務省指令^{計法})郡(區)長警部アヲサル地ノ(戶)長治罪法ニ定メタル司法警察ノ職務ヲ行フ場合ニ於テ須要ナル捕細警棒等ハ豫メ其役所役場費ヨリ支辨備附セシメ置キ假訊問所ハ其役所役場ヲ以テ兼用スヘシ

○(第七號布告^{計法})郡(區)長ノ給料及旅費ハ來ル十六年度以後國庫ヨリ支辨ス

○(内務大藏省乙第九號達^{計法})今般第七號布告ニ就テハ郡(區)長ニ屬スル滿年賜金其他ノ諸給與共テ國庫ヨリ支辨スヘキモノトス

教育費

○(内務省備考)本項ハ總テ窮民ヲ教育スルノ費用ニシテ其方法ハ議會ノ決議ニ據リ施行スヘキモノトス

○(全上)教育所ニ在テ發病セシ者ノ醫療費用ハ該所ノ費用ヲ以テ支辨スヘシ
浦役場及難破船諸費

○(内務省備考)本費ノ内明治八年第六十六號布告難破船及漂流物取扱規則第十五條ノ如キ從前官費ニ係ル部分ハ地方税ヨリ支出スル限コアラズ

○(兵庫縣何内務省指令^{計法})十二年第九號布告ニ據リ西洋形商船海員雇入雇止証書ニ浦役人ヲシテ公

認セシムル爲メ其本務ニ屬スル給料ノ外別ニ給與スルヲ要セス但其事務ニ係ル筆紙墨其他ノ諸費ハ本項ヨリ支辨スヘシ

諸證書及揭示諸費

○(内務省備考)管内限ノ布達及郡(區)役所其他ノ達書官省ノ布告布達摺増并ニ日誌ノ印刷等ニ係ル費用ハ本項ヨリ支出シ之ヲ府縣廳ヨリ郡(區)役所并(戶)長役場迄直達スル費用ハ都テ官費廳費ヨリ仕拂フヘシ

○(全上)前款ノ布告達類ヲ郡(區)役所又ハ戶長役場へ引受更ニ各町村又ハ其宿所へ送達スル費用ハ該役所費又ハ該役場費ヨリ支辨スヘシ

○(全上)各町村ニ於テ從前ヨリ設置セシ揭示場ハ本項ニ屬セス協議費ヨリ支辨スルモノトス

○(第六號公達)郡(區)役所ニ設置スル布告揭示場新築修繕諸費ノ儀ハ從來官費ニ係ル部分ト雖モ自今地方税ヨリ支辨スヘシ

地方税取扱費

○(堺縣伺大藏省指令)地方税爲替方ヲ命スルニ方リ其抵當トシテ地券ヲ差出サシムルハ十二年第五十一號布告ニ據リ難廳届ト雖モ銀行ヲ除クノ外農商等へ其取扱方ヲ命スルトキハ事實無余義分

ニ限リ追テ引換ノ期限ヲ定メ預ケ金千圓ニ付地價千六百圓以上ノ割合ヲ以テ該券ヲ徵スルモ苦シカラス

府縣廳舎建築修繕費(警察廳舎建築修繕費ハ編纂上ノ都合ニ依リ警保ノ部ニ掲ク)

○(内務省内達)府縣廳舎及監獄建築修繕費ハ一般地方税ノ負擔ナリト雖モ小笠原島及伊豆七島并沖繩縣ハ未タ地方税施行ノ場合ニ至ラス隨テ該費ヲ負擔セシメ難ニ付尙從前ノ通心得ヘシ
府縣廳舎監獄ニ屬スル建物敷地樹石等一切ノ諸般營地方税ニ引繼クヘシ將來若シ不用ニ屬シ之ヲ公費ニ附シタル代金ハ地方税へ收入スヘシ

○(大阪府伺内務大藏省指令)府廳舎ニ係ル協議費ハ從前ノ通官費ヨリ支辨シ本項ニ屬セス

○(東京府伺内務省指令)地方税へ引繼ヘキ建物敷地ノ内道路續場若クハ河岸地ニ屬シ將來不用ニ至ルモ民有地トナシ難キ分ハ建物ノ引繼地所ハ引繼シヘキモノニアラス

○(内務省訓示)十三年十二月内達ニ據リ十四年度以降地方税經濟ニ引繼ヘキモノハ府縣官舎及附屬ノ建物共現今使用ノ分及ヒ使用セサルモ將來有用ノ見込アルヲ以テ保存スルモノニ限ル義ト心得ヘシ故ニ該年度以前ニ於テ全ク不用ニ屬セシモノハ勿論七年乙第廿八號達ニ據リ存置ノ倉庫等ハ從前ノ通トス

- (内務大臣書記官連名通知^註)府縣廳及在所屬舎ニ屬スル物品ノ内家屋ニ取付ケタルモノハ營繕費取片付等ヲ爲スヘキモノハ應費ヨリノ支辨トシ日糞ノ糞ハ右ノ區別ニ拘ハラス總テ營繕費ニ屬ス
- (大阪府内務大臣省指令^註)監獄署ニ係ル協議費ハ本項ノ支辨ニ屬ス
- (内務省乙第四十一號^註)本年第十七號布告ニ係ル費用ハ當省ニ於テ管理ス該布告第一條國庫下渡金ハ當省ヨリ下渡スヘクニ付其豫算帳及ヒ決算帳等渾テ當省ヘ差出スヘシ第二條地方税受拂方ハ兼治監ニ於テ直ニ取扱ヘシム
- (大阪府内務省指令^註)看守押丁ニシテ脱監越獄又ハ裁判所ニ於テ訊問中逃走ノ囚徒ヲ追跡捕獲スル等職務上賞與スル金額ハ其功勞ノ輕重ヲ量リ巡查賞與規則ニ照シ本項ヨリ支辨スヘシ
- (徳島縣内務省指令^註)本年第八十一號公達監獄則第十六條及第五十七條ニヨリ設取セシ貨物ハ地方税雜收入ニ組入ヘシ
- (愛知縣内務省指令^註)拘留ノ刑ニ處セラレタルモノ留置場ヘ拘留セシメタル時ニ限り拘留人諸費及看守者ノ費用共本項ヨリ支辨スヘシ
- (愛媛縣内務省指令^註)從來懲役者ニシテ衣食費ヲ自辨スル能ハサルモノハ工錢ヲ以テ可支辨サザレモ若シ其工錢衣食費ヲ全費スルニ足ラサルモノハ監獄費ヨリ支辨スヘシ

- (青森縣内務省指令^註)己未決囚ニシテ妊娠ノ婦女將ニ分娩ノ期ニ臨ミ産婆ヲ要スルトキハ其給料ハ監獄諸費ヨリ其他之ニ要スル費用ハ己未決囚諸費ヨリ支辨スヘシ
- (愛媛縣内務省指令^註)留置場ハ監獄署内ニ設クト雖モ裁判所ニ屬スルモノハ本費警察署ニ屬スルモノハ警察費ヨリ支辨スヘシ
- (京都府内務省指令^註)新法刑名ニテ處セラレタル囚徒費國庫費ト地方費トノ區別ハ監獄則第一條第六項ニ記載アル囚徒ノ費用ヲ國庫費ト心得ヘシ
- (愛媛縣内務省指令^註)監獄署アラサル地ノ輕罪裁判所ニ於テ處斷シタル己決囚監獄署迄ノ護送諸費ハ本項ヨリ支辨スヘシ
- (岩手縣内務省指令^註)治罪法中豫審判事拘引狀ヲ發シ拘引シタル被告人ヲ訊問期限四十八時間ニ在ル夜間最寄警察署留置場ニ入置クトキハ其被告人ノ費用ハ本項ヨリ支辨スヘシ但途中護送ニ係ル諸費ハ警察費ニ屬ス逃警罪ノモノ拘留ノ刑ニ處セラレ監獄署アラサル地ノ警察署又ハ分署ニ在ル留置場ニ拘留スルトキ該囚ニ屬スル費用ハ本項ヨリ支辨スヘシ
- 府縣監獄建築修繕費
- (内務省伺太政官指令^註)一費目内ノ流用ニシテ事業ノ伸縮ニ係ガルモノハ常設委員ニ諮問スヘシ

- (全上)各費目ノ流用ハ仮令府縣會ニ於テ議決スルモ之ヲ許スルヲ得ス
- (内務省ヨリ大阪府へ訓示^附)一費目内ノ流用ハ法律ノ禁セサル所ナレバ當初府縣知事ニ於テ適宜一費目ヲ細別シ其小費目毎ニ豫算ヲ定メタル議案ヲ覆シ議會ニ於テ審議討論ノ未認可シタル以上ハ可成決議ノ効ヲ完フセムヘシ萬止ムヲ得ス其流用ヲ爲ストキハ即事業執行ノ方法順序ニ屬スルヲ以テ常置委員ニ諮問ノ上施行スヘシ

豫備費

- (新潟縣伺内務省指令^附)豫算外ニ生シタル事件ノ費途豫備費ヨリ支辨スヘキハ勿論ナリト雖モ豫算中殘余アルトキハ其殘余ヲ以テ支辨スルヲ得
- (群馬縣伺内務省指令^附)十五年第六十六號布告ヲ以テ豫備費註項改正相成タルニ就テハ其布告以前ニ係ル十四年度ノ地方税精算ニ際シ他ノ費目ニ於テ不足ヲ生スルモノアルモ豫備費ニ餘裕アルトキハ改正ノ旨趣ニ基キ將ニ臨時會ヲ開キ増費ノ收支ヲ議定セシムルヲ要セス直ニ其不足額ヲ豫備費ヨリ支出スルヲ得但精算終了ノ上通常會ニ報告スヘシ
- (内務省伺太政官指令^附)地方税徵收ノ期限ハ府縣會ニ諮問スルハ妨ナシト雖モ府縣會ノ決議ニ依リ

施行スヘキモノニアラス

- (内務省伺太政官指令^附)地方税ノ徵收方法ヲ議スルニ當リ既往ニ溯リ課税セント議定スルモノハ認可スヘカラス但其年度内ニ在テハ既往ニ溯ルモ妨ナシ
- (同上)地方税徵收後之ヲ賦課シタル地所荒蕪ニ屬シ又ハ廢業絶家等アルモ其既ニ徵收シタル税金ハ之ヲ割戻ス可及ハス
- (大阪府伺内藏兩省指令^附)郡區經濟ヲ殊別スルモノハ地方税不納及水火盜難遺失等ニ係ル損失モ亦殊別スヘシ
- (大阪府伺内藏兩省指令^附)各人ヨリ納付スル處ノ地方税金ニ過納又ハ徵收不足アリテ該年度精算完了ノ後發覺シタルモ其過納ハ翌年度豫備ヨリ支出返還シ其不足ハ之ヲ追徵シテ翌年度雜收入ニ組入ヘシ
- (大阪府伺内藏兩省指令^附)盜難ニ罹リタル金額ハ仮ニ豫備費ヨリ支拂ヒ置キ其年度内本犯處斷追徵シタル全部若クハ幾部ノ賠償金ハ豫備ニ戻入シ尙不足スル金額ノミ地方税ノ損失トシ豫備費ヨリ支辨シ該犯ノ審判翌年度ニ涉ルトキハ其全額ヲ直ニ豫備費ヨリ支辨シ其賠償金ハ追徵シタル年度ノ雜收入ニ組入ヘシ但損失金アルトキハ其罹災ノ役所又ハ役場費ノ支拂ニ立ヘシ

○(神奈川県内務省指令^註) 地方税収支決算報告ノ後又ハ従前ノ縣稅等ニ税金ノ過納アルコト發見
シ豫備費ヨリ支出返還ヲ要スルトキハ其科目ハ郡廳中費ノ内課ニ記載スヘシ

○(静岡県内務省指令^註) 民有ノ確証ナキ堤上樹木賣却代金ハ其堤塘修繕地方税ニ屬スルモノハ其雜
収入ニ協議費ニ係ルモノハ其町村ニ收入シ堤塘修繕費ニ充用セシムヘシ

○(熊本縣内務省指令^註) 非常ノ費用ヲ要シ臨時地方税ヲ賦課スル場合ニ於テハ地租割戸數割ノ
ミナラン營業稅雜種稅ヲモ賦課スルヲ得

○(愛知縣内務省指令^註) 地方税支辨ニ屬スル經費決算金後戻金假令ハ土木費ノ如キ工費目論見金
高精算ヲ遂ケ既ニ該年度決算報告済ノ後其精算高ニ相違ノ廢發見過金ヲ生シタルトキハ其收入年
度ノ雜収入ニ組入ヘシ

○(静岡県内務省指令^註) 地方税精算報告ノ後支出上ノ誤謬(地方費ヲ以テ支拂フヘキ官費ヨリ
支出セシ類) 發見セントキハ該年度ニ溯リ拂換ヲ要セス發見ノ年度ニ於テ支出スヘキ費目中適當
ノ科目ヲ設テ支拂チナスヘシ但本費目ニ不足ヲ生スル場合ニ於テハ豫備ヨリ支辨スヘシ

○(内務省何太政官指令^註) 地方税ヨリ成立タル財産ニシテ不用ノ土地建物アルコト當リテハ職制ニ
ヨリ稟請ノ上府知事縣令限リ之ヲ賣却或ハ貸渡スヘキ者トシ其賣却代金貸渡料ハ地方税雜収入ニ組

入ヘシ

○(兵庫県内務省指令^註) 體按中地方税賦課徵收規則及地租割戸數割徵收法ハ別ニ之ヲ要セス其替
式ハ總テ十五年乙第七十二號達ノ通心得ヘシ但地租割戸數割免除等ニ限ル賦課ノ區別ハ説明書ニ
掲クヘキモノトス

○營業稅雜種稅規則

商 業

○(内務省備考) 商業ニ屬スル會社組合等ニテ其名義ヲ以テ商業ヲナス資金ヲ募ラス管ニ同業申合規
則ヲ定メ專ヲ商業ノ盛大ヲ謀ルニ止リ其業ハ各自適宜ニ營ミ又ハ準備金蓄積ノ約チナスモ他ノ信
ヲ取ルチ主トシ互ニ之ヲ流通セルモノハ課稅ノ限コナラス

○(千葉縣内務省指令^註) 兩替屋(爲替店共)ニシテ官金取扱ノ爲メ縣下ニ出張店及郡役所ニ支店ヲ
設クル爲替方ト雖トモ課稅スヘシ

○(群馬縣内務省指令^註) 本條但書國稅アルモノヲ除クトキハ國稅アル物品ヲ除クノ主旨ニシテ
假令ハ酒類釀造家ニテ質屋ヲ兼スルカ如キ其質屋ニ對スル營業稅ヲ課スヘキ義ト心得ヘシ

○(大阪府内務省指令^註) 酒造稅則改正ニ就テハ酒類釀賣營業者ニ地方税ヲ課スヘシ

- (三重縣)内務省指令(明治三十四年)度量衡賣捌人ノ地方稅ヲ賦課スルヲ得
- (大阪府)内務省指令(明治三十四年)貸座敷料理屋旅館其他飲食店ニ於テ和酒ヲ温メ或ハ洋酒ヲ來客ニ供スルモノハ從前國稅賦課法ニ準據シ地方稅ヲ賦課シ若クハ該營業タル來客ニ席ヲ貸與シ又ハ休泊セシメ兼テ飲食品ヲ供スル慣例ナルヲ以テ假令客ノ依囑ニ應シ酒類ヲ供スルモ其營業上ノ一部分ニ止リ全ク他ノ生酒ヲ賣出ヤ、ル以上ハ酒類賣者ト認メ難キコ付課稅セサル等地方ノ見込ヲ以テ職ニ附シ決職セシムヘシ
- (山口縣)内務省指令(明治三十四年)甲乙兩人ノ間ニ立テ牛馬賣買ノ口入ヲナシ單ニ其口錢ノミヲ受取ルヲ以テ渡世トナスモノハ牛馬賣買營業ニアラサルヲ以テ地方稅ヲ賦課スヘシ
- (高知縣)内務省指令(明治三十四年)金銀貸借又ハ土地家屋及公債証券賣買等ノ紹介ヲナシ口錢或ハ手数料ヲ收得スルヲ業トナスモノハ仲買商ノ部分ナルヲ以テ地方稅ヲ賦課スヘシ
- (京都府)内務省指令(明治三十四年)陸運店回漕店ハ商業中ニ籠ル職ト心得ヘシ
- (滋賀縣)内務省指令(明治三十四年)國稅ヲ課セサル會社ニシテ商業ヲナスモノハ第一條ニヨリ營業稅ヲ賦課スルハ勿論貸付金又ハ陸運回漕業トスル會社ト雖トモ商業ノ部分ニ含有セルモノトシ賦課ス

- (全上)質屋兩替屋陸運回漕等ノ目ハ第一二條中ニ明記アラザレトモ商業ノ部分ト心得ヘシ
- (全上)旅館屋ハ第二條中ニ明記ナキヲ以テ第一條商業ノ部類ト見做スヘシ
- (青森縣)内務省指令(明治三十四年)一會社ニシテ商業ヲ兼各所ニ支店製造所等ヲ設ルモノハ商業ノ目ニ依リ縣會ノ決職ヲ以テ課稅スヘシ
- (愛媛縣)内務省指令(明治三十四年)國立銀行ハ増株ノ有無ニ拘ハラス都テ課稅ノ限ニアラス
- (徳島縣)内務省指令(明治三十四年)明治八年第六十五號公達ノ旨趣タル官吏ハ店舗ヲ開クト否トニ拘ハラス
- (津)商賣ニ類似スル所業ヲ爲スト得スト雖モ金銀ヲ貸與シ利ヲ得ルモノ之ヲ以テ商業即チ渡世トナスニ非サル上ハ商賣ノ業ニアラサルヲ以テ營業者ト看做シ課稅スルヲ得ス
- (宮城縣)内務省指令(明治三十四年)醬麴營業者ニシテ別ニ麴ヲ販賣スルモノハ營業ニ就キ地方稅ヲ賦課ス
- (三重縣)内務省指令(明治三十四年)抵當ノ有無ヲ問ハス金銀ヲ貸與シ利ヲ得ルモノハ概シテ商賣ト見做シ難ト雖モ其金銀ヲ貸與シ利ヲ得ルヲ以テ營業ト爲スモノハ商業トシ課稅スヘシ
- (大阪府)内務省指令(明治三十四年)商業稅ハ産地若クハ製造人又ハ他ノ商人ヨリ諸物品ヲ買入レ之ヲ販賣スルモノニ賦課スヘキモノナルモ區郡部會ノ議決ヲ以テ工業者ニシテ自製品ヲ販賣スルハ津ヲ商

業ト認メ商業稅ヲ賦課シ單ニ人ノ依囑ニ應シ物品ヲ製造シ其工料賃錢ノミヲ收ムルモノハ工業ト認メ工業稅ヲ賦課スルモ妨ケナシ

○(長野縣伺内藏兩省指令^{第15號})酒造營業人自身製造ノ酒類ヲ販賣シ又ハ傭人等ヲシテ行商セシムルハ地方稅ヲ賦課スル限ニアラス

○(山口縣伺内藏兩省指令^{第15號})名目ニ就テ課稅スルノ法即チ吳服ハ幾圓穀物ハ幾十錢ト定メテ課スルカ如キハ種類ノ多キ科目中或ハ遺漏ナキ能ハス然ルニ科目外ノ營業ヲナスモノアルトキ之ヲ課稅外ニ關クキハ他ノ營業者ニ對シ權衡ヲ得サルモノト思料シ科目外ノ營業ヲ發見スル毎コ之ヲ議決セシムルノ目的ヲ以テ議會ハ豫メ常置委員ニ委託スルヲ得ス

○(東京府伺大藏省指令^{第15號})何物工場或ハ何親陸商社ト稱シ數人集合シ一店舗ヲ設ケ店舗中諸物品ヲ陳列シテ之ヲ販賣スルモノ有之其陳列場物品國稅中煙草營業ノ如キ社主ト出品人ト經濟ヲ異ニスルモノハ其出品人各自ニ免許證札ヲ請受セシムヘシ

工業

○(群馬縣伺内藏兩省指令^{第15號})官營ニ係ル製絲場紡績所等ノ如キハ營業稅ヲ賦課スヘキモノニアラス

○(大阪府伺内務省指令^{第15號})明治九年内務省丙第五號達船燈製造及賣販規則第九條ヲ以テ製造販賣免

許料並營業稅共十ヶ年間免除セラレタルニ依リ其期限間地方稅ヲ賦課スルモ妨ナシ但其製造者ハ製造所稅(規則ノ工業稅)ヲ課シ之ヲ販賣スルモノハ御小賣(規則ノ商業)ニ依リ課稅スヘシ

○(大分縣伺内藏兩省指令^{第15號})工業稅ハ職工ヲ使役シテ物品ヲ製作セシムルモノト職工トヲ包含ス但商工ノ區別及課稅ノ方法ハ縣會ノ決議ニ任スヘシ

○(栃木縣伺參事院說明^{第15號})工業トハ單ニ舊法ノ製造所職工ノミヲ指ス義ニアラス廣ク工事ニ關スル營業者ヲ包含ス

○(兵庫縣伺内藏兩省指令^{第15號})官立製造所ニ傭役スル職工ニ地方稅ヲ課スルト否トハ縣會ノ決議ニ任スヘシ

○(滋賀縣伺内藏兩省指令^{第15號})官設工場雇ノ名義ヲ以テ出任スルモノ、外身分ノ職業ニテ該工場ノ職工ヲ營ムカ如キモノニ對シテハ地方稅ヲ賦課スルヲ得

湯屋

○(内藏兩省ヨリ神奈川縣へ達^{第15號})藥湯ハ賣藥稅ヲ課スルモ湯屋稅ヲ課シ苦シカラス

理髮人

○(大坂府伺參事院說明^{第15號})理髮人トハ自ラ理髮ニ從事スルモノニ課稅スルノ義トス故ニ職弟子ヲ傭

役ヲ理髮床ヲ開キ其事ニ從ハシムル所謂親方ナルモノハ課税スヘカラス

傭人受宿

○(兵庫縣伺内藏兩省指令^{廿五年})雇人受宿トハ雇主又ハ被傭人ノ依頼ヲ受ケ其口入ヲナスモノヲ指稱スルモ其雇人タルモノ、身上ヲ引受ケ雇主ニ紹介シ手数料ヲ收メ又ハ雇主穿鑿中本人ヲ宿泊セシメ其賄料ヲ収ムルモノ亦本項ノ部内トス

遊藝師匠遊藝稼人相撲俳優附間藝妓ノ類

○(三重縣伺内藏兩省指令^{廿五年})路傍ニ演戲スル獅子舞萬歳踊ノ類モ本項ニヨリ課税シ妨ナレ
○(山形縣伺内藏兩省指令^{廿五年})遊藝人ニシテ出稼スルモノハ豫テ納稅代理者ヲ定置セシムヘシ
○(札幌縣伺司法省指令^{廿五年})監視期限内ノ者藝娼妓營業差支ナレ

演劇其他興行遊覽所

○(京都府伺内務省指令^{廿五年})政事ニ關スル事項ヲ講談演說スル者ハ勿論其演說會ニ於テ木戸錢又ハ敷物其他ノ名義ヲ以テ聴衆ヨリ領収スルモノト雖モ課税ノ限ニアラス
○(德島縣伺内藏兩省指令^{廿五年})政談演說ヲ目的トスルモノハ仅令入寄席若クハ寺院等ヲ借受ケ木戸錢又ハ聽聞票錢ヲ收得スルモ課税ノ限ニアラス

遊技場

○(神奈川縣伺内藏兩省指令^{廿五年})若將茶集會處ニ地方稅ヲ賦課セントスルモハ稅額査定ノ上稟議スヘシ
○(兵庫縣伺内藏兩省指令^{廿五年})一區若クハ一町村ノ協議費ヲ以テ荷車ヲ製シ道路修築等ノ爲メ土石類ヲ運搬シ及ヒ市街塵芥等ノ運搬用ニ充ツルモノハ地方稅ヲ賦課スルモ妨ナレ
○(山口縣伺大藏省指令^{廿五年})罪囚若役用ノ爲メ荷車ヲ調製シ獄署之ヲ管理シ人民ノ依頼ニ應ジ賃金ヲ得テ賭物品ヲ運搬スルモノハ地方稅ヲ免除スヘシ但廳名號ノ燒印ヲ略記シ置クヘシ
○(大阪府伺大藏省指令^{廿五年})商船學校授術用船火災消防器械船車ハ課税ノ限ニアラス
○(兵庫縣伺大藏省指令^{廿五年})船車ヲ製造シ賣品ニ供スルモノハ課税ノ限ニアラス
○(大阪府伺大藏省指令^{廿五年})荷積車ヲ牛車ニ乗客馬車ヲ積荷馬車ニ轉換使用セントスルモノ、如キハ管ニ名稱ヲ變更スルノモニテ修繕等ニアシスト雖モ更ニ徵税スヘシ
○(大阪府伺内藏兩省指令^{廿五年})船稅車稅ノ徵收期限前既ニ解撤ニ屬シ全額不納トナリタルモノ他日新ニ船車ヲ所有スルモハ最前ノ不納額ヲ追徵スヘシ
○(大阪府伺大藏省指令^{廿五年})自用ノ肥料ヲ積載セ耕地又ハ自家ニ運送スル舟船ハ免限ノ限ニアラス

○(山口縣伺大藏省指令^{陸軍})島嶼ノ地ヲ懸作スルニ方リ肥物ヲ運搬スル舟船ト雖モ河海ヲ航行スルモノハ免除ノ限ニアラス

○(大坂府伺大藏省指令^{陸軍})府縣社以下ノ神祠ニ屬スルモノハ普通ノ車輛ト均シク課税スヘキモ官幣社ニ屬スル車輛ニ限リ課税ノ限ニアラス

○(福岡縣伺大藏省指令^{陸軍})水天官祭祀用船ニテ單ニ神輿供物等ヲ積載シ平常ハ陸揚シ置キ更ニ他ニ使用セザルモノハ免稅スヘシ

水車稅

○(大坂府伺内藏兩省指令^{陸軍})其形体船舶ニ類似スルモ之ヲ川中ニ浮ヘ米搗及綿繰器械ヲ裝置シ水力ヲ藉リテ運轉セシムル其使用ハ全ク水車ニ屬スルヲ以テ船稅ヲ賦課セス單ニ水車稅ヲ課スヘシ

○(福岡縣伺内藏兩省指令^{陸軍})水車乘馬ハ自用渡世トモ課税スヘシ

○(滋賀縣伺内藏兩省指令^{陸軍})軍人ノ内乘馬ヲ以テ本分ノ職務トナス分ニ限リ該乘馬ハ軍用ト見做シ課税セザルモノトス

磨 畜

○(福岡縣伺内藏兩省指令^{陸軍})厩畜ハ渡世ニ限リ自用ノ分ニ課税ス可カラズ

○巡查看守給助例

十五年七月 公達四十一號

○京都府伺(十一月二十五日)

第一條 給助例實施ノ上ハ看守滿年賜金ノ義ハ廢止候儀ニ候哉

第二條 給助額ヲ定ムルハ常設委員ニ諮問ヲ遂ケ御省ノ許可ヲ受ケ實施スル義ニシテ別段府縣會ノ決議ヲ求ムルニ及ハサル義ニ候哉
但年度央ニ施行スヘキ片ハ豫算外ニ生シタル事件ニ付給助額ハ豫備費ヨリ支辨ノ可然哉

指令(十一月十六日)

第一條伺ノ通

第二條府會ノ決議ヲ經テ當省ノ認可ヲ受クヘシ

但豫備費ヨリ支出ノ限リニアラス

○滋賀縣伺(七月二十八日)

官ノ都合ヲ以テ免職スル者ハ歸國旅費ヲ支給スルヲ至當ト被存候得共第四十一號達但書ニ依レハ右等モ總テ支給セサル義乎
指令(十一月十六日)

伺ノ通

○兵庫縣伺(十一月二十五日)

第一條 地方税規則中警察費並府縣監獄費ハ各一費目ニシテ互ニ流用スルコトヲ許サレザルモノナルヲ以テ巡查ニ係ル給助費ハ警察費看守ニ係ルモノハ監獄費ニ於テ各之レガ収支ヲ爲スヘキハ勿論ノ義ト相心得可然哉

第二條 前項果シテ巡查ト看守トハ各別ニ収支ヲ爲スモノトスルモ給助費ハ警察費並ニ監獄費中ノモノニアラスシテ特ニ一費目ヲ設ケ別ニ其收支ヲ爲スヘキモノナル哉

第三條 給助費ハ逐年必ス増加スヘキモノナルヲ以テ費用ノ増加ヲ慮リ爲ニ年々積金ヲ爲シテ資本ヲ設ケ夫ヨリ生スル利子ト年々徴收スル費用トヲ合セ施行セタル可キ御趣意タル由傳承候得共熱者スルニ縣會ハ一ケ年度ニ係ル經費ノ出納ヲ議シ其翌々年ニ於テ精算ノ報告ヲ受クヘキモノナリ然ルニ給助費資本ノ爲メ積金ノ方法ヲ議セシムル府縣會規則中明文アラサルヲ以テ甚ク疑惑不
少候就テハ給助費ハ矢張他ノ費自同様積金ヲ爲サス資本ヲ設ケス年々之レガ収支ヲ爲スヘキ者ト心得可然哉若シ積金ヲ爲シ資本ヲ設ケルモノトセハ右規則ニ抵觸セサルノ理由詳細御明示相成度候

指令(十一月廿一日)

第一條 伺ノ通

第二條 警察並監獄費雜給中ノモノトス

第三條 十五年第六十九號公布ニ依リ了解スヘシ

○滋賀縣伺(七月二十五日)

一人ニシテ給助例第二條中ノ各項ニ當ルモノアルトキハ各其相當スル各項ノ給助金ヲ支給スル儀

指令(十一月廿一日)

伺ノ通

○新潟縣伺(八月二日)

本令中退職トアルハ巡查看守在職滿二年以上ニシテ辭職スル者ノ事ナルヤ

指令(十一月廿一日)

勤続滿五年以上ニシテ退職スル者ト心得ヘシ

○愛媛縣伺(十一月二日)

巡査看守給助例御達相成候處奉職年數起算方ハ奉職ノ月ヲ以テ算スヘキヤ又ハ日ヲ以テ相算候義ニ有之候哉且遷卒ヨリ引續巡査ヲ奉職シ今日ニ至ル者ノ如キハ明治八年第百八十二號公達遷卒ヲ巡査ト改稱ノ際ヨリ起算シ可然哉

指令(廿五年)

奉職年數ハ月ヲ以テ算スヘシ巡査ト改稱ノ際ヨリ起算スルノ項ハ伺ノ通

○島根縣伺(廿五年)

他府縣ノ巡査又ハ看守ニ轉勤スルモノハ勤績トナサス初メ奉職ノ應ニ於テ五年以上勤績シ給助金ヲ支給スヘキモノハ該應ノ費用ニ相立候義ト可心得哉

指令(廿六年)

伺ノ通

○山形縣伺(廿六年)

客月廿五日付電報ヲ以テ巡査看守給助例ノ義相伺候次第ハ例ヘハ茲ニ人民誤テ水中ニ没シ將サニ溺死セントスル者アリ或ハ洪水家屋ヲ流サントスルアヲシニ巡査其危險ヲ顧ミス水中ニ投シテ之ヲ救護セントスルモ力及ハスシテ却ツテ身溺死スルニ至リ又ハ積雪沍寒ノ際偶罪犯ノ逃走スルア

リ機失フ可ラサル場合雪ヲ冒シ追跡シテ山間人無キノ地ニ入ルニ風雪俄カコ路ヲ絶テ進退維レ谷マリ遂ニ凍死スルモノアラン如斯ハ該例中重傷死ニ至ル者ニ準シ給助スルヲ得ヘキモノナルヤ否疑問ヲ生シ相伺候義ニ有之果シテ給助スルヲ得ヘキ者トセハ其死ニ至ラサルモノト雖モ療治料等凡テ相當ノ項目ニ準シ給助スヘキハ勿論ノ義ト心得可然哉

指令(廿六年)

伺ノ通

○島根縣伺(廿五年)

給助例第三條第四條第五條第七條ノ金額ハ縣廳ニ於テ條例ノ範圍内ニ於テ適宜規定スヘキ義ニ可有之處右ハ多數寡數ノ金額(退職給助勤績滿五年ノ者ハ一時金廿圓以上廿八圓以下)ヲ定メ置退職給助ハ其人ノ勤怠傷痕給助ハ傷ノ輕重(等シク一等傷又ハ二等傷)ニテモ自ラ輕重アルヘシ死亡給助及祭祀料ハ死亡ノ原因如何ニ依リ差等ヲ立給助スルモ又ハ金額ヲ一定シ置キ(退職給助勤績滿五年ノ者ハ一時金廿五圓全滿十年ノ者ハ年金廿七圓トナスノ類)其人ノ勤怠傷ノ輕重等ヲ問ハス平等ニ給助スルモ適宜ト相心得可然哉

指令(廿六年)

給助例範圍内ニ於テ一定ノ金額ヲ設クヘシ

○愛媛縣伺(十五年)

一項給助例實施以前在職滿二年ニシテ實施後尙引續キ滿四年奉職シ退職スル者ノ如キハ奉職ノ日ヨリ算シ該例實施前後在職ノ日數ヲ通算スレハ滿六年即五年以上在職ノ者ニ付給助例第三條ニ依リ退職給助ヲ與ヘ可然哉

二項給助例實施前後ノ在職年數ヲ通算シ其年數十年以上ニ至ル者モ亦前項同様心得可然哉

指令(十五年)

第二項第二項伺ノ通

○京都府伺(十五年)

同例第四條二等傷(身不具トナリ自用ヲ便シ得ルモノ)トアルハ明治八年第三號公達中四等傷減ニ相當スルモノニシテ例セハ一指頭ヲ失フ如キモ終身不具タル義ニ付年金ヲ給スル義ト心得可然哉

指令(十五年)

伺ノ通

○警視廳伺(十五年)

巡査看守ノ盡職務上負傷セン者奉職スルト否トテ問ス其傷痕再發ノ者療治料支給方ノ議客歲九月

中同定置候處同年第六十二號公達ノ趣モ有之候ニ付尙熟考候ニ均シク職務上負傷センモノコシテ其支給方區々相成候テハ不權衡ニ付巡査看守給助例ニ據リ給スル療治料ノ義モ其再發以上ノ者ヘハ右公達ニ基キ本例第四條第二第二ノ兩項ニ相當スル者ニ限リ給與候様致度此段更ニ相伺候

指令(十五年)

伺ノ通

○京都府伺(十五年)

第八條寡婦又ハ相續ノ孤兒ニ給スル給助料渡シ期日及ヒ其渡方計算ハ十三年大藏卿巡署御達乙第三十四號進據致シ可然哉

指令(十五年)

第八條給助料渡シ期月ハ其府適宜ニ規定シ渡シ方計算ハ前條ノ通(本例第九條二項ニ出ツ)

○福井縣伺(十五年)

第二條職務ノ爲ノ死亡スルニ妻子有之時ハ同例第五條第一項ニ依リ寡婦ヘ年金ヲ給スルニ其寡婦死亡又ハ再嫁スルニ際シ孤子廿歳ニ至ラサルキハ寡婦ノ年金ヲ廢シ更ニ孤兒ニ給ス義ニ候哉
第三條前同項ニ因リ年金ヲ給スルノ際寡婦無之ニテ父母子アルニ其子假令ハ十九年十月ト相成

リ居ル者ハ子ニ給スル年金ハ父母ニ給スル一時金ヨリ僅少ナル者ハ前以テ判明スル者ナレト年金ニ換ヘ金額ノ多キ一時金ヲ給スル義ハ不相成義ニ候哉

指令(十月二十六日)

第二條 同ノ通

第三條 年金ニ換ヘ一時金ヲ給スルヲ得ス

○福井縣伺(十月廿六日)

給助例第五條第二項ニ祖父母父母又ハ廿歳未満ノ兄弟姉妹ニシテ云々トアルハ幾人有之ト雖モ人毎ニ給スル義ニ無之シテ最モ血縁近キモノ一人(父母兄弟アレハ)ニ給スル義ニ候哉

指令(十月二十六日)

同ノ通

○福井縣伺(十月廿六日)

給助例第五條第三項ニ孤兒滿二十歳ニ至ルモ廢篤疾ナルトキハ年金ヲ廢止スルニ際シ一時金ヲ給スルトアルヲ見レハ職務ノ爲メ死亡スルノ際相續スヘキ子アルコト廿歳以上ノ者アリトモ廢篤疾ナレハ無論一時金ハ可給モト心得候得共同條第二項中兄弟姉妹ニシテ右條ノ者有之トキモ同條

支給スヘキモノニ候哉

指令(十月二十六日)

同ノ通

○福井縣伺(十月廿六日)

給助例第八九ノ兩條ハ奉職シタル本人ノミニ適用スルニアラスシテ總テ給助ヲ受ル寡婦孤兒祖父母父母等ニモ適用スル義ニ候哉

指令(十月二十六日)

同ノ通

○滋賀縣伺(七月二十五日)

巡査看守ヨリ判任官ニ轉スル者一時給助金ハ打切支給スルモ終身給助ハ第九條第一項ニ依リ就官中給助ヲ停止シ退職スルノ後年金ヲ支給スル義乎

指令(十月二十六日)

同ノ通

○高知縣伺(八月二十二日)

巡査看守五年以上勤続ノモノニシテ他ノ職ニ轉任スルトキハ其節退職給助金ヲ給スヘキ哉同十年以上勤続ノ者他ニ轉任スルモ其職ヲ退ク時ハ給助年金ヲ給スヘキヤ

指令(八月二十五日)

總テ伺ノ遊

○京都府伺(八月二十五日)

給助例第九條一項中ノ官職ハ等外以上ノ官吏ニ止マルモノニ候哉將テ御用係雇ト雖凡ソ官衙ノ俸給ヲ受クル者凡稱シタル義ニ候哉

指令(八月廿六日)

後段伺ノ通

○京都府伺(八月二十五日)

第七條年金ハ一ケ年ヲ上下半年ニ分テ六月十二月下附スルモノトシ一月以降六月三十日迄ノ日附辞令下附ノモノハ上半年分ノ金額ヲ給シ七月ヨリ以降十二月卅一日迄ノ日付辞令下付ノモノハ下半年分ノ金額ヲ給シ又死亡者モ同様支給シ公權剝奪セラレタルモノ上半年ニアントキハ其半年分ヨリ支給セズ給助停止ニ係ルモノハ其間月割ヲ以テ支給セサル義ト相心得可然哉

第八條(本例第五條ノ下ニ出ツ)

第九條前同條年金及ヒ給助ヲ受シルモノ他府縣へ轉籍又ハ寄留等ノ節ハ其管轄ノ地方廳ヲ經由下附可致儀ニ候哉

指令(八月廿六日)

第七條退職及ヒ死亡ノ翌月ヨリ起算シ上半月ニ係ルモノハ下半月ヨリ支給スヘシ其給助ヲ止ル時モ亦其月ノ前後ヲ以テ區分スヘシ

第九條 伺ノ通

○新潟縣伺(八月廿五日)

本例給助及ヒ第四十二號公達中一時慰勞金ハ總テ警察費ヲ以テ支出スルモノナルヤ

指令(九月十二日)

巡査ニ係ルハ伺ノ通

○愛媛縣伺(八月廿五日)

三項給助例實施前己ニ在職滿二年ニシテ施行後向ホ引續キ滿一年在職スル者ハ施行前後ノ日數ヲ通算スレハ滿三年則チ五年未滿在職ノ者ニ付滿年賜金ノ例ニ依リ退職當時ノ月俸額ヲ以テ退職

ノ際慰勞金ヲ給與シ可然哉

四項給助例實施前在職二年未滿ノ者及ヒ滿五年以上者實施后尙ホ引續キ奉職スル時ハ亦前項ノ例

ニ依リ施行前後ノ日數ヲ通算シ在職五年内外ヲ區分シ或ハ給助例ニ依リ或ハ慰勞金ヲ給シ可然

哉五項現時巡査ハ滿一年以上奉職セシ者ニアラザレハ退職ノ節滿年賜金給與不致候得共看守ハ一

般官吏ノ例ニ依リ滿一年以上在職ノ者ハ退職ノ節滿年賜金給與致シ來リ候ニ付給助例施行前

ヨリ引續キ奉職セシ者ニ限リ従前ノ通り滿一年以上ノ者ヨリ第四十二號御達ノ例ヲ以テ退職ノ

節慰勞金ヲ給與シ可然哉

指令(十一月五日)

第三項實施前ニ係ル勤続年數ニ應スル分ノミ支給スヘシ其他同通

第四項實施前在職二年未滿ノ者五年未滿ニシテ退職スル時ハ慰勞金ヲ支給スル限リニアラス滿五

年以上者通算方ハ第一項ノ通(第一項ハ本例第三條第四項ニ出ツ)

第五項慰勞金ハ實施前在職滿一年以上ノ者ニアラザレハ都テ支給スルヲ得ス

○京都府伺(十一月五日)

第三條給助例實施ノ期ニ際シ現在職二年以上五年未滿ノ者引續キ五年未滿云々トアルハ假令ハ施

行以前ニシテ滿二年施行以後滿二年通算シテ滿四年ノモノ退職スル時ハ給助例施行ノ日ヲ限界ト
シ施行以前滿二年ニ對シ滿年賜金ノ例ニ依リ當時ノ俸額一ヶ月分ヲ慰勞金トシテ給シ歸國旅費ハ
支給セサル義ニ候哉

指令(十一月六日)

伺ノ通

○滋賀縣伺(十一月八日)

第三條第四十二號達中當時ノ月俸額云々トアル當時トハ給助例施行ノ日ヲ指ス儀ト心得可然哉

第七條給助例施行前ヨリ施行後引續キ勤続シ官ノ都合ヲ以滿一年ニ至リ免職スルモノ、滿年賜金

ハ給與シ可然哉

指令(十一月七日)

第三條伺ノ通

第七條十五年太政官第六十六條ノ通

○高知縣伺(十一月五日)

明治十五年第四十一號公達ヲ以テ巡査看守給助例實施ノ府縣ハ明治八年第三號公達廢止可相成筈

ニ付明治八年第百八十六號公達并ニ明治十三年第廿五號公達モ自然消滅候義ニ可有之哉果シテ然ラハ自今一般人民ニシテ巡查同僚ノ働キ爲シ死傷候者ハ其時々地方官ニ於テ給助ノ見込相立テ何分ノ義相伺候義ト心得可然哉

指令(十一月二十五日)
(十二月二十五日)

本年第六十七號公達ノ通心得ヘシ

○富山縣伺(二十五年)
(二十五年)

縣下魚津警察署所屬入善分署第二管區駐在巡查高田隆七ハ本年一月廿日所屬分署長ニ復命スヘキ要件ヲ帶ヒ受持部内警邏ヲ兼テ同日早朝駐在所出發然ニ全日ハ數日前ヨリ間斷ナク際雪ノ爲メ積雪殆ント五尺ニ達シ殊ニ雪風最モ猛烈ヲ極メタルモ全人ハ屈セステ警邏ヲナシ漸ク全日午後第二時卅分所屬入善分署ニ着シ受命事件ノ復命ヲ了シ尙全分署長ヨリ歸途警邏ヲ終ヘ歸署スヘキ命ヲ受ケ全午後第三時十分全署出發警邏ノ途ニ就キタル儀踪跡不明爾來捜索中ノ處全月廿五日全部内下新川郡飯野村大字青崎村字下株分ト稱スル原野ニ於テ制服ヲ着シ「カンジキ」ヲ穿テタル儘仰向ニ斃シ總身深雪中ニ揮没シ只ク面部ノミヲ現出セルヲ發見セリ畢竟全人ハ警邏途中雪風益烈シク前後ヲ辨セス彷徨路ヲ失ヒ且ツ身体凍滅シ進退維レ谷リ終ニ非命ノ死ヲ遂ケタル者ニシテ右ハ

全ク上司ノ命令ヲ確守レ自己ノ危難ヲ顧ミス猛烈ナル雪風ヲ冒シ警邏ノ爲メ非命ノ死ヲ遂ケタルモノナレハ明治十五年七月第四十一號巡查看守給助例第二條第三項ニ依リ全人遺族ハ相當給助金給與致シ可然哉此段相伺候也

内務省指令(二十五年)
(二十五年)

本年二月九日警察發第七三號伺巡查給助ニ關スル件伺ノ通リ

○靜岡縣伺(二十五年)
(二十五年)

巡查看守奉職五年未滿ノモノ他ニ轉任ノキ未滿年賜金

第一條 巡查看守給助例施行ノ期ニ際シ現在職滿二年以上五年未滿ノ者引續キ五年未滿ニシテ判任官ニ轉任セントキハ給助例施行ノ日ヲ限界トシ明治十五年第四十二號公達ニ據リ一時慰勞金ヲ支給シ得ヘキモノニ候哉又ハ該公達ハ是等ノ場合ニハ適用スル能ハサル義ト相心得可然哉

第二條 巡查看守現在職滿五年以上ノ者判任官ニ轉任セントキハ巡查看守給助例ニ依リ轉任セシ當時ニ於テ給助金ヲ支給シ得ヘキモノニ候哉又ハ他日退官死亡等ノ際支給スヘキ義ト相心得可然哉

内務省指令(二十五年)
(二十五年)

書而兩條共前段伺ノ通

但年金ハ給助例第九條第一項ニ據リ直ニ金額ノ支給ヲ停止スヘシ

○東京集治監典獄照會(四十二年)

巡查看守給助勸年數ニ依リ増額方

十五年第四十一號公達巡查看守給助例第七條第一項給額當監ノ義ハ二十年三月及御届候通リ一時金ハ拾三圓滿一年以上ハ一年毎ニ四圓五拾錢ヲ給スルコト相定メ有之然ルコト實際支給ニ當リ右條項解釋上疑團ヲ生シ候ニ付左ニ及御照會候

啓ヘハ茲ニ滿二年奉職死亡ノ者アリ右ハ二年ノ内一年ニ對シ拾三圓ヲ給シ殘リ一年ニ對シ四圓五拾錢合計金拾七圓五拾錢支給候テ可然哉

又ハ一年以上一年毎ニ云々ノ文ニ依リ二年ノ内一年ニ對シ拾三圓ヲ給シ而シテ尙ホ一年毎ニ四圓五拾錢ツ、即チ二年分ニテ九圓合計貳拾貳圓支給候テ可然哉

警保局長回答(二十二年)

會發第七號ヲ以テ巡查看守給助例中祭祀料支給方ノ義ニ付御照會ノ趣了承右ハ後段御見解ノ通ニテ可然存候

○鹿児島縣伺(二十二年)

巡查看守ニ雇テ命スルキ慰勞金給與方

巡查看守ニシテ事務ノ都合ニ依リ雇テ命スル爲メ一旦解職シタルキハ其慰勞金支給方ハ十五年第四十二號公達ニ依ルヤ時々全年六十六號公達ニ據ルヤ

内務省指令(二十二年)

巡查看守慰勞金支給方ハ後段伺ノ通

○奈良縣伺(二十二年)

奉職一年未滿ノ者他ノ府縣へ轉任シ命スルト滿年賜金可否

甲縣巡查滿一ヶ年奉職ノ者乙縣ノ照會ニ依リ轉勤セシメタルキハ十五年公達第六十六號ニ準レ一時打切リ其勸年數ニ應ジ滿年賜金ノ例ニ依リ一時慰勞金トシテ甲縣ヨリ支給スヘキ義ト心得可然哉

内務省指令(二十二年)

伺ノ通

○熊本縣伺(二十二年)

給助例中ノ俸給ヲ受クルノ官吏トハ公吏ヲモ包含スル歟
 巡査看守給助例第九條第一項ニ俸給ヲ受クルノ官吏トアルハ國家ノ直接官吏ニ限ル義ニ候哉又ハ
 地方共同体ノ有給吏員ヲモ包含スル義ニ候哉

内務省指令(二十三年)

地方共同体ノ有給吏員ハ包含セサル義ト心得ヘシ

○鳥取縣伺(二十三年)

邏卒巡査補奉職年計算方

八年七月本縣邏卒拜命同年十二月更ニ巡査補ヲ拜命九年三月巡査トナリ本年十月退職シタル者ア
 ヲ右巡査補ノ名稱ハ本縣限リ設ケタルモノナレバ其職務巡査ト毫モ異ルニトナシ脱テハ給助例ニ
 依リ勘額年數ヲ計算スルニハ名義ニ拘ハラズ事實ニ依リ總テ算入シ可然哉

内務省指令(二十三年)

八年第八十二號公達ニ依リ巡査ヲ命ゼタル月ヨリ起算スヘシ

○神奈川縣伺(二十三年)

給助金ニ對シ債權者ノ請求ニ依リ裁判所ニ於テ差押ノ命令ヲ發シタル場合取扱方

明治十五年^七太政官達第四十一號巡査看守給助例第三條第一項ニ據リ退職巡査ニ給與スヘキ一時
 賜金ヲ照應ヨリ仕拂ハサル以前ニ第三債權者ノ請求ニヨリ裁判所ヨリ差押ノ命令ニ接シタル場合
 ニハ該差押ノ命令ニ應ジ執行ノ言渡ヲ俟テ第三債權者ヘ直ニ仕拂方取計可然哉將又巡査退職給助
 金ノ義ハ民事訴訟法第六百十八條第五項ニ謂ユル恩給ノ性質ヲ有スルモノニ有之候哉果シテ然ラ
 ハ該退職給助金ニ對シ裁判官ニ於テ強制執行ノ命令有之候場合ニハ如何取計可然哉目下差掛リタ
 ル義モ有之候ニ付至急何分ノ御指揮有之度此段相伺候也

内務司法兩省指令(二十三年)

本年十二月甲内第六三號伺巡査看守給助例ノ件前段伺ノ通

○石川縣伺(二十三年)

給助例ニ依リ年金ヲ有スルモノ執達吏ニ任セラレシ恩給ノ取扱方

本縣巡査滿十年以上勤務ニ退職シタル者ハ巡査看守給助例ニ依リ年金ヲ給與セシモノ、内今回執
 達吏ニ任セラレタルモノアリ右執達吏ハ俸給ヲ受ケサルモ職務上手數料ヲ収得シ若シ其手數料一
 程ノ額ニ達セサルトキハ裁判所構成法第六十九條及執達吏規則第十九條ニヨリ國庫ノ補助ヲ受ク
 ハキ義ニ有之依テ全則第二十一條恩給法ノ如ク右手數料ハ俸給ト看做スヘキモノト認メラレ候ニ

付給助例第九條第一項ニ依リ給助ヲ停止スヘキモノニ有之候哉

内務省指令(二十五年)

給助ヲ停止スルノ限ニ非ス

○吊祭扶助療治料

○大分縣伺(十四年)

豊後國北海郡郡長目村平民

中津留彌四郎

右ノ者本年八月六日同郡津久見村平民宇津宮万吉石堂宇吉同伴郡下青江村松崎川ヲ渡ルノ際万吉誤テ水中ニ倒レ激流ノ爲メ押流ヤレ巴ニ溺レントスルノ狀アルヲ以テ彌四郎直ニ該川ニ飛込ニ救援セントスルモ當時雨後出水中ニテ却テ急流ニ突流ヤレ兩人共危急ノ形况ナレハ同行宇吉ハ大聲ヲ發シ救援ヲ求ムル處其下流ニ碇泊スル廣島縣安藝郡倉橋島岡本角太郎ナル者聞付直ニ傳馬船ヲ漕付ケ万吉ハ救助シタルモ彌四郎終ニ沈没溺死セリ

同國速見郡日指村平民

渡邊 順藏

右ノ者本年七月廿七日縣下速見郡日指村平民小野福太郎妻シテ同村穴田池ニ投身セシテ同村平民田口惣四郎外堂名ト共ニ駆付筏ニ乘リ水中ヲ搜索スルノ際組筏解離シ何モ水中ニ落込ニ惣四郎

外一名ハ恙ナカリシモ順藏ハ終ニ溺死セリ

前書ノ通リ兩人トモ人命ヲ救助セントシテ却テ自己ノ身命ヲ喪ヒ實ニ惘然ノ至リニ付特別ノ御詮議ヲ以テ右兩名遺族ノ者ニ相當金御給與相成候様致シ度仰御裁定候

指令(十四年)

八年第三號公達ニ照シ吊祭扶助料共給與シ施行齊届出ヘシ

○新潟縣伺(十四年)

縣下越後國新潟區芳町區内共有長屋借宅

タケ長

女

故 柴 田 カズ

三十一年一ヶ月

右ハ明治十三年十二月廿七日午後六時頃縣下新潟區芳町平民佐藤シケノ家屋烈風積雪ノ爲メ潰シントセシ際右家屋内ニテ全人及小兒千代吉等ノ救命ヲ乞フヨリ柴田カズナルモノ聞付ケ危難ヲ冒シテ直チニ屋内ニ突入シ之ヲ救援セントシテ果サス終ニ該家潰倒ノ梁下ニ相成リ爲メニ落命致シ候右カズ義ハ戸主ニハ無之候得共一己ノ稼ヲ以テ老母并ニ小兒ヲ養育致シ居リ候者ニ付自今遺族共ノ活計ノ道不相立ハ必然ノ義旁以テ惘然奇特ノ者ニ候間明治八年太政官第百八十六號公達ニ依

リ吊祭料金三拾圓及遺族扶助料金百圓給與致シ可然哉

指令(十四年三月八日)

伺之通

○愛知縣伺(十四年三月十五日)

尾張國海西郡龜ヶ池新田平民

戸長 平野常三郎

右常三郎長男

平野鉄二郎

右ハ本年五月廿六日午後八時頃突然強盜三名各抜刀ニテ押入折節宿泊セン三等巡査道山主馬太郎及右兩人俱ニ搏闘辛フテ一賊ヲ捕獲セリ然ルニ鎮次郎ハ賊刀ニ斃ン常三郎數ヶ所ノ重傷ヲ負フニ至ル右ハ明治十一年御省乙第十七號違ノ趣モ有之候得共尋常自家ノ盜難ニ罹リ死傷シタルモノトハ特ニ慇懃スヘキ事情モ有之且該賊タルヤ持凶器強盜ヲナス廿余ヶ所人ヲ殺傷スル四人實ニ非常ノ凶徒ナルモ右一賊ヲ得シヨ。共犯遂ニ就縛セリ右ハ將來ノ勸懲ニモ相成候間八年第八十六號公達ニ準據シ特ニ吊祭料給與相成度此段伺候

追テ常三郎義ハ賞與規則中拒捕ノ一賊ヲ獲シモノニ據。賞金五圓外ニ五圓巡査道山主馬太郎下賜取計候條此段申添候

指令(十四年三月十五日)

伺ノ通

但施行濟届出ヘシ

○愛媛縣伺(十四年三月八日)

茲ニ甲乙丙丁四人アリ其甲釣瓶ノ落チシテ取揚ントシ井中へ轉落絶息セシテ乙直ニ井中へ入り之ヲ救揚セントシ又絶息セリ丙之ヲ救揚セントシ井中ニ入り漸ヤク乙ヲ救揚シ得タリ乙一時絶息セシモ療治蘇息ス而シテ猶甲ヲモ救揚セントシ能ハス井中ニテ絶息セシテ丁救揚セントシ又井中ニテ絶息ス依之死屍引出後醫ヲシテ其致命ノ原因ヲ檢案セシムルニ該井中ニ多量ノ炭酸瓦斯存在シ其毒ニ觸レ落命セシ旨診斷シタリ前顯ノ如ク丙丁ハ人ノ危難ヲ救ハンカ爲メ何レモ非命ノ死タルハ惘然ノ至ニ付明治八年第八十六號公達ニ準據シ丙ハ吊祭料金拾五圓扶助料金五拾圓丁ハ吊祭料金拾圓扶助料金四拾五圓其遺族へ給與致シ不苦哉

指令(十四年三月八日)

伺ノ通

○兵庫縣伺(十月二十五日)

管下灘津國菟原郡御影村平民鎌田由松母モ、義ハ兼テ日備稼ノ者ニ有之昨年十二月十五日今村平民嘉納治郎右衛門方へ被相雇全夜午後七時過キ該家ノ用向ニテ使ニ相越候途中隣家平民千代澤政尾方表口半扉程開キアルヲ不審シ若シ盜賊ノ所業ニテハ無之歟ト存シ該家へ入込候處果シテ凶器ヲ持シタル強盜押入罷在候ニ付其儘表ニ出大聲ニテ盜賊押入候旨ヲ渡シ候ヨリ該賊ノ爲メ頭部ニ重傷ヲ負ヒ覺ニ全月十九日死亡候旨申出篤ト取調候處事實相違無之右ハ事情如何ニモ惘然ノモノニ付明治八年第三號公達規則ニ照準吊祭料給與致度此段相伺候

指令(十月五日)

吊祭料給與ノ限リニアラス

○愛媛縣伺(十月二十八日)

本縣士族何某維深夜ニ及ヒ人聲ノ斷然タルヲ聞知シ直チニ奮起門外へ出ルニ巡回ノ巡查三村某隣家池内某方へ竊盜忍入りタルヲ認メ取押ヘント盡力ノ際ニ付俱々力ヲ添へ取押ント該家へ到ルニ賊ハ已ニ同家西裏路次口ヨリ逃走セシテ以テ右巡查外二名ト追跡奔走中誤テ路上へ墮倒窒息セリ

其實況ハ別紙三通巡查上申書ノ通ニシテ畢竟自ラ探ルノ死トハ申サカラ其原因タル全ク該賊ヲ追跡逮捕セントスルヨリ斯クノ如キ非命ノ死ヲ致シタルモノニテ實ニ惘然ノ至ニ付明治八年太政官第百八十六號公達ニ照依シ吊祭料給與致シ可然哉

指令(十月六日)

吊祭料給與ノ限リニアラス

○岡山縣伺(十月二十二日)

一般人民ニシテ巡查同様ノ働ヲナシ死傷セシ者吊祭扶助療治料等支給方ノ義ニ付客年十二月第六十七號公達ヲ以テ達セラレ候處茲ニ一般人民ニシテ客年十月中出火消防ニ盡力ノ際負傷シ終身不具トナシモノアリ今日之レカ扶助療治料等ヲ給スルニ當リ明治八年公達第三號ニ依ルヘキ義トハ存候得共客年十二月第六十七號公達ノ次第モ有之候ニ付該公達ニ據リ處分致シ可然哉

指令(十月六日)

客年第六十七號公達ニ據リ處分スヘシ

○山口縣伺(十月二十五日)

爰ニ消防夫中廻ヒ持ノ職ヲ勉ムルモノアリ一夜出火ノ報ヲ得ルヤ卒先現地ニ駆付ケ衆夫ヲ督勵シ

○内務ノ部

吊祭扶助療治料

出張警察官ノ指揮ヲ受ケ消防上非常ノ勞働ナリシタリ然ルニ鎮火後水混ノ爲メ厥冷ヲ生シ全身不
快ヲ覺ユルトテ惣員ニ先チ該夜午前三時該場ヲ退去シ全五時死亡セリ依テ該人診察醫ヲ召喚シ致
命ノ原因ヲ審問シタル處出火消防中非常ノ劇働ヲナシ爲メニ腦充血ヲ發シ急死ニ至リタル旨陳述
セリ依テ之ヲ審按スルニ消防上火中ニ陥リ燒死シ又ハ倒水ノ爲メ壓死セシモノトハ稍其趣ヲ異ニ
スレド醫師ノ陳述死亡前後ノ摸樣及火場出張警察官ノ感覺ニ依ルニ到底職務ノ爲メ勞働シ遂ニ性
命ヲ絶チタルモノト見認メサルヲ得ヌ就テハ客年卅第六十七號公達ニ照準シ吊祭料及遺族扶助料
ヲ支給シ可然哉

副申本件ノ施行ハ一般消防夫ニモ影響ヲ及ホシ將來彼等奮勵スルトセサルトノ時機ニ際會シ彼
等統御獎勵上ニ關係ヲ有スル儀ナレハ其邊篤御諒察被下度候

指令(十六年
九月七日)

伺ノ通

○大阪府伺(十四年
八月二十五日)

當府安堂寺町警察署詰小使辻村光正義明治十三年十二月十四日府下南區笠屋町出火ノ際煙夫トシ
テ現場へ出張中噴水器車輪ニ觸レ負傷シ到底難治症ニ立至候右ハ扶助料及療治料等下賜ノ例規無

之候得共明治八年四月第五十四號公達官役人夫死傷手當規則ニ照シ給與取斗可然該別紙書面相添
此段相伺候

指令(十四年
九月十六日)

昨十三年第廿五號公達ニ依ルヘシ

○兵庫縣伺(十四年
八月二十五日)

一療治料金六圓

右ハ客歲十一月六日夜自宅へ強賊四名抜刀ヲ携へ押入リタル舉動ヲ偵察シ弟久米藏ナル者ヲ呼起
シ脅テ非常ノ用ニ供シタル棍棒ヲ提携シ凶賊ニ對シ發聲スルヤ該賊却テ抜刀抗拒シ互ニ撻闘セシ
ニ善太郎等ノ強勢ニ恐怖シ近傍ノ山林へ逃走スルモ追跡シ漸ク一賊ヲ捕押ヘントセシニ該賊必死
ヲ究メ抗擊スルモ聊不撓竟ニ抜刀ヲ打落シ弟久米藏ト協力取押ヘタリ其際善治郎ニ於テハ面部ニ
重傷ヲ受クルモ前頭非常ノ働ヲ以テ捕押へ最寄警察署へ交付セシニヨリ翌七日ニ至リ該犯ノ供述
ヨリ黨類三名ハ巡查之ヲ捕獲シタリ依テ捕獲セシ各自ハ相當賞與ズヘクハ勿論ニ候處右善太郎
ニ於ケル自己ノ盜難トハ雖モ一賊ヲ取押ヘタルヨリ賊ヲ捕獲スルニ至ラシムルモノナレハ明治

十一年第十七號公達ノ次第モ有之候得共同人ハ前條非常ノ働ニ因テ負傷セシ者ナレハ全達但普ニ據テ特ニ前行ノ金員御給與相成度此段相伺候候(第十七號公達ハ内務省乙第十七號ノ誤ナラン)

指令(十五年)

自家ノ賊難ヲ以テ論スルノ限リニアラヌ八年第百八十六號公達ニ依リ療治料支給スヘシ

○茨城縣伺(十五年)

一療治料三拾圓

右ノ者義本年三月十七日村内湯原延之助所有炭燭燧ヨリ出火折柄風烈ニシテ火勢四方ニ延燒シ近隣ノ者共周章狼狽ノ際瀾リ惣右衛門ハ容易難消止ト思惟シ迅速消防人夫ヲ集メン爲メ近傍ノ寺院ニ駆付ケ早鐘ヲ撞キ願ル盡力中風勢益猛烈ニシテ居宅類燒ニ及ヒシヲ覺知シ直チニ馳セ戻リ家財取回サント欲シ火中ニ突入働キ居タル處四面忽チ黒煙トナリ進退度ヲ失ヒ一身ヲ逸ルニ途ナク必死ヲ極メ辛クシテ非命ノ死ハ逃レタルモ身体數ヶ所ヲ火傷シ治療數ヶ月ヲ經過スルモ今全癒ニ到ラス加之家財悉ク蕩盡隨テ生計上殆ント困難謂フヘカヲサルニ差シ追リ實ニ惘然ノ者ニ候處畢竟最初消防ニ意ヲ用ヒ自家ノ危急ヲ不顧遂ニ前頭ノ次第ニ立到リ事情慇然ノモノニ有之且ツ將來

衆多ノ獎勵上ニモ可相成被存候條頭書ノ通り療治料給與可然哉別紙醫師診斷書相添此段相伺候

指令(十六年)

給スル限リニアラサル義ト心得ヘシ

○愛媛縣伺(二十年)

臨時雇人罪犯探偵ノモノ負傷療治料費途

臨時人民ヲ雇入レ罪犯探偵ニ從事セシメ其際兇徒ノ爲メ負傷シ終身不具トナリ自用ヲ辨セサルニ至リタル者アリ十五年第六十七號公達ニ依リ扶助料及療治料ヲ支給スル見込ノ處警察ノ常備員ニ之ナキ以上ハ國庫ノ支辨ニ關スル義ト心得可然哉將テ臨時雇ト雖モ二十年御省第四十二號訓令但書ニ依リ警察費ヨリ支辨スヘキ哉果シテ後段ノ通トセハ雜給中巡查給助ノ外死傷手當ノ目ヲ設ケ整理シテ可然哉

内務省指令(二十年)

前段伺ノ通

○愛媛縣照會(二十年)

教習巡查科目ノ柔術習業中負傷ノ者給助

本縣巡查ニシテ教習所科業練習中柔術修業ノ際右腎關節骨ヲ折傷シ爾來縣立病院ニ於テ治療相加ヘ候者有之候處右柔術ハ本縣ニ於テ教習所ノ科業ニ屬スルヲ以テ職務ト全視シ給助例ニ依リ相當療治料給與シ可然哉一應御意承知致度候

警保局長回答(行三三)

巡查教習所科業練習中柔術ノ爲メ折傷シタルモノ給助例ニ依リ療治料給與方御問合セノ趣了承然ルニ明治十九年警察署ニ於テ擊劍修業ノ爲メ負傷シタルモノニ支給セサル旨指令相成タル類例モ有之候得共御來示ニ依リハ教習所科業中柔術ノ設ケアリテ教習生タル巡查方之ヲ修ムルハ當然ノ職務ト云ハサルヲ得サレハ先キノ指令トハ形跡同シキモ其旨趣ニ至テハ別異アルヲ以テ御見込ノ通り職務ト同視シ支給相成候儀ハ差支有之間敷存候

○山梨縣伺(二十五年八月)

雇員療治料

本年九月勅令第八十號ニ療治料ヲ給與スヘキモノハ官吏ト有之候得共常時官職ニ從事セシムル見込ヲ以テ雇用スル雇員ニシテ規定ノ場合ニ遭遇シタルトキハ該令ニ依リ療治料ヲ支給スル義ニ候哉

内務省指令(行五年)

伺ノ通

○警部巡查旅費日當

○新潟縣照會(二十五年二月)

爲替方銀行ヨリ公金護衛巡查ノ旅費ヲ辨セント請フ時ハ開届差支ナキ哉

本局回答(二十五年三月)

他縣ヲ通シ護衛ヲ望ムトキハ單ニ旅費ノ支辨ニ止マラス總テ請願巡查ノ振合ニ依リ費用ヲ辨スルニ於テハ差支ナシ

巡查出會ノ節二里以上辨當料給與

○廣島縣伺(二十五年九月)

警察本分署持區内ノ動靜強竊盜ニ至ル迄相通牒シ保護取締嚴重可致ハ警察上必務ニ有之因テ昨年來管下ノ景狀ヲ五ニ通報可致段隣縣ニ照會シ則出會方法相設ケ隔日ニ巡查ヲシテ相通告致シ候就テハ里程二里以上ノ向ハ辨當料金三錢五厘支給來候處昨年御省乙第九十三號御達モ有之右成規ニ依照シ給與可取計等ノ處何分費額僅少ニテ御成規履行候トキハ巨多ノ旅費相嵩實際難被行ニ付

右通暢出會ニ限リ最前ノ通辦當料三錢五厘支給致度此段相伺候

指令(廿二年)

難開届候

巡査區内宿泊料

○三重縣伺(年月日欠)

巡査區内臨時出張甲ノ日午後出發乙ノ日同夜十二時ヲ過キ歸署スルモノ甲ノ夜一泊金十五錢乙ノ日一夜金三錢五厘ヲ給シ尙其夜第十二時過歸署スルヲ以テ一泊セサルモ宿泊料一度金十五錢支給致スヘキ哉ノ義一昨十年十一月十三日付ヲ以テ相伺候處甲ノ日午後出發乙ノ同夜十二時過歸署スルモノハ伺ノ通トノ御指令ニ依リ甲ノ日午後十時出發乙ノ日午前一時歸署スル如キ宿泊ヲ要セサルトモ一泊旅籠料支給シ可然哉又ハ甲乙兩日ニ跨ルト雖モ水火災犯人檢探等其他規費宿泊ヲ要セサルハ臨時辦當料ヲ給シ一泊以上二泊目ヨリ最前御指令ノ通支給候義ト相心得可然哉

指令(廿二年)

出張兩日ニ跨ルモノハ仮令宿泊ヲ要セサルモ旅籠料ノ額ヲ給スヘシ

巡査持區内宿泊ヲ要スル節出發ノ日盈賄料

○新潟縣伺(廿二年)

巡査持區内出張宿泊ヲ要スル節出發ノ日盈賄料ヲ給スト給セサルトハ地方ノ適宜ニテ可然哉

指令(廿二年)

給セサル義ト心得ヘシ

巡査常務時間外勤務ノ節賄料

○福井縣伺(廿二年)

第一條 巡査勤務時間ハ二十四時間ニシテ甲日午前第八時出署スル時ハ乙日午前第八時退署スヘキ例規ニ有之然ルニ職務ノ都合ニ依リ乙日引續キ午後第八時過迄勤務スル時ハ辦當料(金三錢五厘)三度支給候テ可然哉
第二條 前條ノ如キ退署スヘキモノ退署時間前區内ニ臨時出張午後第八時過手當賄料(本縣ハ現今八錢)三度分支給候テ可然哉

指令(廿二年)

第一條第二條伺ノ通

第三條 午前八時十二時午後八時右時間經過候ハ、壹度ツ、支給スヘシ

警部持區出張ノ節辨當料

警察署分署詰警部ニシテ其持區内三里未滿ノ地へ水火災其他臨時ノ事件ニ付出發ノ節夜警辨當料ハ十四年十一月御省乙第五十七號御達ニ依リ取計可申ノ處晝間前同様出張ニ付午前六時前出發午後八時過歸署スル者へ臨時辨當料一度金三錢五厘宛三度分其他喫飯時刻ニ應ジ二度或ハ一度分支給方取計ニ候テ可然哉

指令(十六年五月二十日)

夜警辨當料ノ外支給不相成義ト心得ヘシ

行幸行啓ノ節警衛巡查部長以下辨當料

○警視廳伺(十六年七月廿七日)

行幸行啓ノ節御道筋警衛ノ爲メ出張巡查部長及巡查ノ義辨當料攜帶候ハ体裁上ニモ關シ候コ付出先ニ於テ現辨當料求爲致候處定規ノ賄料金三錢五厘ニテハ實際支辨難致内情困難ノ趣モ有之候ニ付自今前陳ノ如キ辨當料難致場合ニ於テハ大臣參議警衛巡查隨行先辨當料金拾錢以下實費支給ノ例ニ倣ヒ金六錢以下實費支給候様致度此段相伺候

指令(十六年五月二十日)

行幸行啓ノ節ニ限リ特別ヲ以テ開屆候

參照

本省伺(十六年八月廿日)

行幸行啓ノ節御道筋警衛ノ爲メ出張巡查部長及巡查へ辨當料實費支給方別紙寫ノ通警視廳監ヨリ申出辨按スルニ實際ノ事情無余義相開候ニ付右行幸行啓ノ節ニ限リ申出ノ通實費支給爲致度此段稟申候

指令(十六年五月二十日)

特別ヲ以テ開屆候

巡查連直辨當料

○鹿兒島縣伺(十七年二月廿五日)

本縣各警察署詰巡查ノ義ハ總員ヲ兩部ニ區分シ取締等爲致候處甲部ノ巡查病氣等ニテ欠員ノ節不得止乙部ヨリ繰上ケ勤務爲致候義モ有之然ルコト乙部繰上タルモノハ原來翌朝歸宿スヘキモノナルモ右ノ理由ニ依リ前夜ヨリ連直ノ姿ニ相成リ候場合多々有之右ノ如キハ成規ニ依リ辨當料三度分支給シ可然哉

指令(二十七年三月三日)

伺ノ通

警部常務外勤務ノ節辨當料

○三重縣伺(二十七年三月八日)

當縣警部勤務ノ義ハ内外ニ區分シ外勤ノ者ハ一晝夜當務一晝夜非直ト定來候處人少又ハ事務繁劇等ニシテ引續キ非直時間勤務スル場合有之右非直時間ノ勤務ハ内勤警部ノ休暇日出務ト同様ノ事情ニ付非直日午時ヲ過クルトキハ辨當料一度分給與ニ午後八時ヲ過クレハ一般辨當料支給法ニヨリ支給取計可然乎

指令(二十七年三月二十六日)

伺ノ通

○熊本縣伺(二十七年三月二十五日)

明治六年御省第百六十一號達宿直辨當料ノ定額地方費ニ屬スル分ハ縣令ニ於テ適宜輕減シ不苦哉

指令(二十七年四月三日)

伺ノ通

巡査持區内巡回手當

○京都府伺(二十七年五月十六日)

巡査持區内巡回旅籠料支給方ノ義十五年御省乙第十五號ヲ以テ各地方適宜相定不苦旨御達相成就テハ旅籠料及書附料ヲ合セテ管内旅費日當ニ超過候モ不苦哉

指令(二十七年六月一日)

滞留日當額内ヲ以テ實費取附ヒ難キ場合ニ於テハ伺ノ通

○鹿島縣伺(二十七年五月)

警察官吏受持區内月額日當支給方疑岐ノ件伺

明治年廿四月御省訓令第二十五號ニ基キ同年同月警甲發第四號御省決議警保局長ヨリノ通牒ヲ標準トシ伺定ノ上本縣警察官吏受持區内月額日當支給法ヲ定メ夫々支給致來候處該通牒第二項ニ日當月額ヲ受クル者病氣引(職務上負傷及傳染病)罹リタル場合トモ)又ハ急引ノ片ハ日數七日迄ハ全額ヲ給シ八日以上ニ及フ片ハ其日數ヲ除キ第一項ニヨリ支給ストアリ假令ハ茲ニ一日ヨリ二日迄休暇引續キ三日ヨリ九日迄七日間病氣又ハ急引ヲ爲シタルモノアリ右ノ場合ニ於テハ三日ヨリ七日迄五日間ノ日割ヲ給スルヤ又ハ三日ヨリ起算シ九日迄七日間ノ日割ヲ給スルヤ將又總テ支給

セサルモノナルヤ差掛タル義モ有之候得共聊カ疑義ニ涉リ決兼候條何分至急御指揮相成度此段相
伺候也

指令(三十號)

本年十月十五日警第二七號伺警察官吏持區内日當月額支給方疑義ノ件支給スヘキ限リコアラヌ
但管内外へ出張ノ者引繼キ病氣引忌引ノルモ本文ニ準ス

○警察賞與

甲種賞乙種賞ノ義

○山口縣伺(二十二年十月)

警察賞與規則第二條ニ甲種ハ金三圓以上拾五圓以下賞與額ノ範圍ヲ示シ而シテ第三條第四項ニ前數
項ノ外其功勞ノ前數項ニ比シ相下ラサル者ハ其適度ニ應シ賞與スルコトヲ得ト明文之レアリト雖モ
個ハ甲乙各其種類ニ準據シテ賞與スルコトヲ得ルノ精神ニ過キスレテ決シテ甲種ヲ(重罪)乙種(輕
罪)ノ範圍ニ降シ又乙種ヲ甲種ノ範圍ニ昇スコトヲ得サルモノ、如ク果シテ然ラハ甲種ニ屬スル
モノ其功勞輕微ニシテ乙種ノ最下額ヲ以テスルモ尙其適當ヲ覺エ去リ逆之ヲ賞與ニ換ルトキハ全
ク輕キコ失シ賞與ノ目的ヲ收ムルニ難キノ感アルトキト雖モ尙三圓以下ヲ以テ其適度ニ應シ賞與

スルコト能ハサル義ニ候哉差掛リタル件有之至急御御指揮候也

指令(三十四號)

明治廿一年十二月廿六日付伺警察賞與規則疑義ノ件伺ノ通

洪水ノ際人命ヲ救助シタル賞與

○福岡縣伺(二十二年)

客年十月發表ノ内務省訓令第廿一號警察賞與規則第七條ヲ案スルニ曰ク

- 一本則ニ定タル賞與ノ金額ハ一事件ノ賞トス但第三條第一項ノ場合ハ一罪犯ニ付テノ賞トス
- 一數事件數罪犯ニテ功勞者一人ナルトキハ數事件數罪犯ノ賞ヲ各別ニ給與スヘシ
- 一一事件若クハ數事件一名若クハ數名ノ罪犯ニシテ功勞者數人ナルトキ之ヲ賞與スルニハ一事件
若クハ一罪犯ニ對スル金額又ハ數事件數罪犯ニ對スル金額ヲ適宜功勞者ノ人員ニ配當給與スヘシ
而シテ同日付テ以テ内務省書記官ヨリ配布ノ説明ニ演述シテ云フ罪犯捕獲ハ現ニ之ヲ捕獲シ得タ
ル數ニ應リ一ケ毎ニ規定ノ賞金ヲ給スヘキ者トス」ト又其各項ノ説明ニ述テ云フ譬ヘハ一人ニテ
窃盜犯三人強盜犯一人殺人犯二人放火犯三人ヲ捕獲シ且火災防禦消止ニ盡力シテ功勞アル者アル
片ノ如キハ乙種賞四ケ甲種賞六ケヲ給與スヘキ者トス」ト因之觀是ハ其事件ノ輕重大小ヲ問ハス

事端ヲ發スル際其實働チナスニ當リ社會ニ功勞ヲ與フル程度ノ進退變化スハキ性質ヲ有スルモノ
 ハ其救護ヲ蒙リタル人數ヲ計算シテ疊加重賞スルノ精神クハ是ノ畢竟從來賞與ノ方法宜シキヲ得
 ス未タ充分ニ除害ノ實効ヲ收ムル能ハサルヨリ起リタル違法治則ニ可有之就テハ今般縣下洪水ニ
 當リ甲ハ一人扁舟ニ乘シ激流ノ爲ニ覆没シ乙ハ十人巨船ニ投シ急波ノ爲メニ破碎シ孰レモ怒濤ノ
 間ニ拚死セラレ將ト死ニ瀕スルトキ之ヲ救フモノ、如キ事件ハ二事件ナリト雖ヒ盜犯數多ヲ捕獲
 ノ際獎賞スルト一般其被救者ノ人數ニ應シ功勞ヲ疊加重賞スル義ト相心得可然哉此段相伺候也

指令(三十二年八月)

本年七月卅日伺警察給與規則ノ件ハ伺ノ通

○佐賀縣伺(三十二年八月)

明治十六年三月十五日群馬縣ヨリ一般官吏及巡查ニシテ職務上有之(假令ハ傳染病豫防ニ盡力シ又ハ捕賊ノ類)賞與ス
 ヘキモノ未タ決行セサル前懲戒例ニ依リ免職スルモノハ該賞與行ハサル義ト心得可然哉トノ伺ニ
 對シ全月三十一日伺之通リト御指令相成候處廿一年御省訓令第二十一號警察賞與規則第九條ニ公
 權剝奪セラレタルモノニハ賞ヲ與ヘス全第十七條ニ本則第七條乃至第十一條ハ巡查ノ賞與ニ付テ
 モ亦之ヲ適用スト有之候ニ付テハ無論免職シタル巡查ニハ相當賞與スルモ差支無之様思料候得共

警察賞與規則ノ支配ヲ受ケサル傳染病豫防ニ盡力セシカ如キ一般官吏ノ賞與ト聊カ權衡ヲ得サル
 ヤノ嫌モ有之疑義ヲ生シ候條何分ノ御指令相成度此段相伺候也

指令(三十二年八月)

本年十一月十九日警第六二八號伺警察賞與ノ件懲罰例ニ依リ免職シタル者ト雖ヒ賞與スルニトテ
 得

○警視廳伺(三十二年八月)

外國人賞與ノ件

一警察上功勞アル者ハ外國人ト雖ヒ御省訓令第廿一號警察賞與規則ニ依リ當廳限リ賞與致可然哉
 二前項然リトセハ其賞狀賞金ハ該國領事ヲ經テ本人ニ交付致可然哉又ハ外務省ヲ經由スヘキ哉
 三賞與スヘキ外國人ニシテ我國ノ勳章ヲ帶ヒ若クハ勅委任官ノ待遇ヲ受クル者ハ一般ノ例規ニ依
 リ取扱ヒ其本國ノ官爵ヲ有スル者ハ具狀致候義ト心得可然哉

内務省指令(三十二年八月)

警察賞與規則ニ依ラス總テ其廳ニ於テ謝狀ヲ送付スル義ト心得ヘシ
 但謝狀交附方該國領事ヲ經ヘシ

○熊本縣伺(二十三年)

合衆國人サイ、エークラーク託摩郡大江村滯留中出火ニ際シ迅速馳付援辨消防ニ盡力シ爲メニ該
家屋焼燬ニ至ラサル段殊勝ニ付當縣ヨリ相當ノ謝狀ヲ付與候テ可然哉

内務省指令(二十三年)

本年六月十日第二三八號伺外國人ニ謝狀贈與ノ件追書トモ伺ノ通

○警察賞與規則

○北海道廳伺(二十三年)

看守押丁賞與ノ義ニ付伺

今般警察賞與規則御訓令相成候處看守押丁又ハ看守長其他監獄ノ事務ニ従事スルモノニシテ反獄
ヲ防止シ又ハ逃走囚ヲ捕獲スル等其功勞ノ著シキモノ有之場合ハ右警察賞與規則ニ準據賞與致可
然哉此段相伺候也

指令(二十三年)

明治二十一年十一月十七日第八百十三號伺看守押丁賞與ノ件看守長其他戒嚴ノ事務ニ従事スル者
ハ本年當省訓令第一號看守押丁ノ例ニ準シテ賞與スルヲ得

巡查部長

監督補助ノ件

○佐賀縣伺(二十三年)

拾圓給巡查俸給額又ハ昇給等ノ都合ニ依リ不足シ生シ候場合ハ不得止九圓給巡查ニ巡查部長心得
等ノ名稱ヲ付シ監督ヲ補助セシメ不苦哉

追テ本縣巡查拾圓給定員廿一名ノ内内勤等ニ使用スル者ヲ除キ部長ト爲シ得ヘキ者十三名ニシ
テ實際不足シ生シ候ニ付御參考迄副申候也

内務省指令

開届難シ

○東京府伺(二十三年)

此キニ稟職ノ上小笠原島ニ巡查部長ノ職ヲ置キ巡查勤務上ノ監督ヲ補助爲致候處(中略)自今巡查
部長ニ限リ帶劍ヲ許シ其嚴肅ヲ保シシメ度候間右御許可相成度此段及稟議候也

内務省指令

本年三月第一四四七號巡查部長ニ帶劍セシムル件ハ伺ノ通

○巡查配置及派出

○内務省ヨリ内閣へ請願(二十二年三月)

布哇國へ巡查派遣ノ件

神奈川縣知事ヨリ別紙ノ通郵船會社瀛船山城丸ヲ以テ布哇國出稼人ヲ搭載渡航可致ニ付該航海中取締トシテ同縣巡查二名同國ホノル、府迄出張ノ義全會社ヨリ願出巡查往復旅費ハ一切全會社ニ於テ支辨ノ善ニシテ差支無之ニ付出爲致度旨伺出タリ右ハ航海中取締上必要ニ付伺ノ通許可セントス尤モ今後追々全國へ出稼人モ増加スルニ付テハ全右様ノ伺出アルヘシト存候然ルニ其都度閣議ヲ經候テハ渡航ノ時機ヲ失スルノ恐モ有之旁以當省限許可ノ上報告スルコトニ致度仍テ閣議ヲ乞フ

内閣指令(二十二年三月五日)

布哇國へ巡查派遣ノ件請願ノ通

○長崎縣伺(二十二年三月)

貸與巡查徵收金

部下人民又ハ外國人ニテ時日ヲ期シ一時巡查ノ貸與ヲ願出ル者アルトハ常務ニ當ラサル者即チ非

番巡查ヲ以テ無報酬貸與致シ來候得共自今相當ノ報酬金額ヲ定メ願主ヨリ之ヲ徵收シ而シテ右金額ハ巡查ニ給與候事ニ致度右ハ差掛候件ニ付至急何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

指令(二十二年三月)

本年十一月二十日甲警第七五二號貸與巡查報酬金ノ義ニ付伺ノ件ハ一時時日ヲ期シ派出セシムル場合ト雖モ明治十四年當省乙第二十二號達ニ依ルヘキ義ト心得ヘシ

○神奈川縣伺(二十二年三月)

外國人へ貸與巡查ノ件

銀行又ハ諸會社其他ノ請願ニ係ル巡查配置方等ノ義ニ付テハ明治十四年御省乙第廿二號御達ノ趣モ有之候處國庫經濟ニ關スル外國人居留地ノ如キハ會計法實施以降其費用収支方右御達ノ如ク取扱兼候ニ付該地ニ限リ始ク其配置方ヲ拒絕シ來候得共居留外國人中種々事情申出懇請スルモノ往々有之到底拒絕シ能ハサルノミナラス取締上不都合ニモ有之候間自後ハ請願ヲ聞届候様致度尤臨時數日間ヲ期シ配置スルモノ、如キハ便宜非番巡查ヲ以テ之レニ充テ而シテ請願者ヨリ納付スル費用ハ國庫ノ收入ヲ收納シ當該巡查ニハ別ニ手當トシテ相當ノ金額ヲ給與シ可然乎

内務書記官通牒(二十二年三月一日)

十四年本省乙第二十二號達及客年十月第三十八號訓令ニ依リ地方稅支辨ニ屬スル巡査ヲ以テ配置相成可然且別ニ手當金等給與ノ義ハ不相成筋ニ有之候本件ハ別ニ指令及ハレス

消防手附願配置

○警視廳伺(二十二年四月十四日)

賭遊所又ハ人民幅曠ノ場所其他火災ノ虞アル場所ヨリ消防手ノ配置ヲ請願スルモノ有之候節ハ便宜之ヲ開届ケ其費用ハ請願者ヨリ辨償セシメ來リシ處本年十月第十八号ヲ以テ巡査配置ニ係ル件訓令相成候ニ付テハ消防手配置ノ義モ右訓令ニ準據シ經費収支候様致度此段相伺候也

指令(二十二年四月十四日)

開届ノ

○愛媛縣伺(二十二年五月二十二日)

國庫金護衛派出巡査

國庫金出納所へ巡査派出護衛ノ義明治十二年四月十五日大藏卿御達及稅金遞送ノ節護衛方明治十三年乙第四十四號内務大藏卿御達ニ依リ爾來相當護衛致來候處明治二十一年訓第六四〇號内務大臣御訓令ニ基キ今般巡査駐在所ヲ置キ夫々派出セシメ候ニ付テハ前日ノ如ク警察署ニハ屯集セ

ス所々散在各其受持區ヲ巡邏巡察スルノ現況ナリ隨テ右等護衛ノ爲メ派出セシメ候トキハ忽チ警察署務ヲ辨スルノ能ハス去リトテ是カ爲メ特ニ巡査増員ヲ爲サントスルモ地方現今ノ狀勢又容易ニ行ハル可キニアラス實際差支候場合ニ有之抑右等護衛ノ義ハ元來其責任者ニ於テ守護スルハ當然ニ可有之若シ自ラ守護スルヲ得サル義モ有之候得共自ラ其費用ヲ辨シ別ニ巡査ノ配置ヲ請願スル方事理穩當ノ義ト愚考仕候就テハ自今署務ニ差支サル節ニ限リ派出護衛致候様仕度前陳ノ如ク事情不得止場合ニ付特ニ御許可相成度此段相伺候也

大藏卿省指令(二十二年五月二十二日)

本年五月三十日警第六八一號國庫金出納所巡査護衛ノ義伺ノ件ハ特ニ派出セシムルニ及ハス巡回ノ時々厚ク注意セシムヘシ

○警察費

國庫下渡金

(注) 本例下渡金割合ハ明治二十一年八月勅令第六十一號ヲ以テ改正セラレタルヲ以テ自然變更ヲ來セル者トス

○福井縣伺(二十二年五月十八日)

第一條 警察費ヲ以テ支辨スヘキ事物ニシテ豫算外ニ出ル者ハ豫備費ヨリ支出可致ノ處警察費ハ

伺ノ通

○和歌山縣上申(三十七番)

常縣巡查ノ内務部ニ昇等セシメタルモノアリ其昇等十五年二月ニアリテ巡查奉職中ノ滿年賜金ハ十五年内務省乙第三號達ニ據リ一旦打切給與スヘキノ處其際脱漏相成居客年ニ至リ給與取計候然ルニ該費ハ十四年度ニ屬シ國庫下渡金ト地方稅ト連帶支辨スヘキ筈ニ候得共已ニ該年度ノ收支精算報告相濟候ニ付十五年度雜出中追拂金トシ豫備費ノ支辨ニ付シ候付テハ其地方稅支出ニ應スル國庫下渡ノ歩合金別紙請求書ノ通此節御下渡相成度此段上申候

指令(三十七番)

開届金拾貳圓六拾九錢貳厘ハ十六年度警察費國庫金雜件トシテ下渡候條受取方更ニ大藏省へ申出

○埼玉縣伺(三十七番)

十六年度警察費ノ内管内北足五郡浦和警察署經費トシテ金五拾圓會テ相渡置候處本年四月廿一日同署失火ノ際右五拾圓ノ内金九圓六拾貳錢八厘燒失ノ旨署長警部届出候間該金額ハ損失拂ニ相立度就テハ右地方稅ニ屬スル分ハ豫備費ヨリ支出補充可致候ニ付國庫下渡金本行ノ通増費トシテ別途

御下渡相成度此段申請候

指令(三十七番)

開届候條金額受取方大藏省へ届出ヘシ

○神奈川縣伺(三十四番)

本年第十六號公布第三條ニ警察官吏(巡查ヲ除ク)ノ外等外吏トモ(並ニ之ニ準スヘキ備内外國人ノ諸給與警視廳ノ廳費ハ従前ノ通國庫ヨリ支給スト有之右警察官吏ニ準スヘキ備トハ警察本務ニ従事スル御用掛並通辨其他雇等ノ給料給與等ニ可有之右ハ明治十三年二月内務大藏兩省乙第九號達第七節挿註及同年九月御省乙第三十八號達警察官費勘定帳書式ニ示サレタル費目外ノモノニシテ現今地方稅ヲ以テ支辨スル備(外國人ヲ除ク)給料給與ハ今般更ニ國庫ヨリ支給スト定メラレタル義ニ可有之欺公布明文ニ従前ノ通ト有之候得共本縣ニ於テハ右經費従前ヨリ國庫下渡金ノミニテ支辨シ無之ニ付疑義相生候如何相心得可然哉

指令(三十四番)

本年第十二號公達ノ通心得ヘシ

○徳島縣伺(三十五番)

警察費國庫下渡金ノ殘餘ハ翌年度下渡金ニ差繼ヘキ筈ト有之右ハ地方稅精算同様翌々年度ニ差繼
キ義ト相心得可然哉若翌年度ニ可差繼義ニ候ハ前年度仕掛金決算ハ翌年度第一季第二季ニ於テ
ハ未定中ニ有之候間末季ニ於テ差繼可然義ニ候哉

指令(十五年二月一日)

後段伺ノ通

○静岡縣伺(十五年七月七日)

客年七月第六十三號公達中警察費國庫下渡金ノ殘餘ハ翌年度ノ下渡金ニ差繼クヘキ筈ノ旨内務省
本年乙第二十三號ヲ以テ御達相成候ニ付テハ右殘金有之トキハ(警察費國庫下渡金殘餘翌年度ニ
差繼高)ノ科目ヲ設ケ該年度支出精算表及仕譯書等末項翌年度繰越高ノ前ニ掲載候儀ト相心得可
然哉

指令(十五年七月二日)

伺之通

○神奈川縣伺(十六年六月一日)

警察費精算ノ際豫算額ニ比シ過不足アルトキ處分方ノ義ニ付去ル十日電報伺ニ對シ一昨十四日御

指令ノ趣敬承十四年度該費ニ殘餘アルトキハ其殘金額ヲ豫算額ト臨時ニ豫備費ヨリ補充シタルモ
ノアルトキハ其金額及之ニ對スル十三分ノ三國庫金共合算シタル金額ニ割合而シテ先居留地國庫
金三萬圓ニ對スル殘金及其支出額ヲ定メ然ル後前ニ合算シタル各金額ニヨリ十三分ノ三國庫金及
地方稅ニ係ル殘金及其支出額ヲ算出シ可然哉

指令(十六年六月一日)

參照

同縣(十六年六月一日)

警察費ヲ精算スルニ當リ豫算額ノ過不足アルトキハ國庫下渡金十三分ノ三並居留地國庫下渡
金及地方稅トモ平等ニ其割合ヲ受クヘキヤ

指令(十六年六月一日)

警察費ノ殘餘ハ申出ノ通且不足アル場合ニ於テハ地方稅ト十三分ノ三國庫金トヲ以テ補充シ
居留地國庫金ハ下付セサル義ト心得ヘシ

○鳥取縣伺(十六年七月一日)

十四年度(十四年十一月廿四日)警察費ニ對スル國庫下渡金ノ義ハ客年十二月十四日付同省御達ニ據
ヨリ十五年六月マテ

島根縣ヨリ受繼ノ上可及御届ノ處分割算出法協議中ニ係リ金額確定致サ、ルヨリ其場合ニ至兼候
 得共即今協議齊ニ付不日及御届候積リ然ルニ本縣該年度警察費豫算額ハ別紙任譯書ノ通ニ有之リ
 仍テ内釋甲印増額ノ分ハ請求中ニ付最早御交付可相成替乙印金額ハ前願島根縣ヨリ受繼金ヲ以テ
 可引充ノ處同縣ヨリ可受取金員ハ三千八百余圓ノ見込ニ付差引六百圓余超過ト相成就テハ超過ノ
 分ハ還納スヘキハ當然ニ候得共出納閉鎖ノ期切迫ニ付其儘元ニ受決算殘金ト共ニ翌年度ニ送リ同
 年下渡金ニ差繼ノ順序ニ取計不苦哉

指令(十月廿四日)

伺ノ通

國庫下渡金翌年度ニ於テ過不足整理

○神奈川縣伺(十月三十日)

警察費國庫下渡金ニ殘余アルトキハ翌年度該金ニ差繼ヘキ旨客年四月内務省乙第二十三號ヲ以テ
 御達相成候處仰ヘハ甲年度ニ於テ殘金千圓乙年度下渡金壹万圓ナリトスルルハ其壹万圓ヨリ殘金
 一千圓ヲ扣除シ殘九千圓ヲ全ク國庫ニ請求候義ニ可有之然ルニ乙年度末期即チ四月ヨリ六月迄ノ
 御下渡ヲ請求スルニ當リ未ダ甲年度精算完結ニ至ラサルトキハ乙年度ニ於テ概算額ヲ以テ受取追

テ決算ノ未過不足ヲ來ストキハ過剩ハ乙年度ニ於テ之ヲ返納シ不足ハ追請求ヲ以テ整理候義ト相
 心得可然哉

指令(大藏卿) (十月三十日)
 (逓 署)

伺ノ通

○警視廳伺(十月廿五日)

當廳巡查ニ屬スル費用ノ内十四年度以降國庫或ハ逓帶警察費又ハ各省廳ニ配置巡查ニ屬スル費用
 ハ其廳經費ヲ以テ支辨サス等其區域判明難致場合モ有之ニ付各省廳ニ配置巡查ニ係ル費用區分
 方ノ義自今左ノ通相心得可然哉

國庫支辨ノ部

一 各省廳ノ請求ニ應シ配置スル巡查

但請求應ノ經費ヲ以テ支辨

二 農商務省所轄博物館及文部省所轄圖書館並教育博物館等ノ請求ニ應シ配置スル巡查

但全上

逓帶警察費支辨ノ部

- 一 大審院諸裁判所公延取締巡查
- 二 鐵道停車場取締巡查
- 三 東京府廳取締巡查

指令(十一月二十六日)

博物館並圖書館教育博物館へ配置巡查ノ費用ハ速帶警察費支辨ノ義ト可心得尤當省配置巡查費用ノ義ハ追テ何分ノ達及フヘク其他ハ何ノ通

参照

本省書記官ヨリ警視總監へ通知(十一月十七日)

御廳客年第二千七百四十三號各省廳へ配置巡查ニ係ル費用區分方何へ對シ當廳へ配置スル費用ノ義ハ追テ何分ノ義可相達旨客年十二月十二日付ヲ以テ内務卿指令相成居其後右費用ハ當省ヨリ支出ノ旨決定候處客年十二月迄ノ分既ニ此程御交付濟ノ今日ニ付内務卿ヨリハ別段御達不相成候條右様御承知相成度候

○地方警察費

乘馬購入

○千葉縣伺(十一月二十日)

當縣管下ノ廣キ原野ノ曠漠ナルヨリ警察習ヨリ警察迄位置モ從テ各地相距非常ノ時變ニ際シ傳令急報ノ便ヲ得セシムル爲メ昨明治十一年七月中警第七十三號ヲ以テ乘馬三頭買備度旨相伺候處同月中直チニ御開届相成候ニ付右備付相成居候處非常ハ差置キ平時ニ在テモ當縣下總國習志野原ニ於テ陸軍兵毎年三回演習有之候節 天覽又ハ御代覽トシテ毎ニ御巡幸被爲在其節警部御先導且該場警備ノ爲メ乘馬ノ上出張爲致候處是迄前頭三頭ニテハ實際差支ノ廉有之ニ付更ニ二頭買入都合五頭備置キ費用ノ義ハ義既同濟ノ通警察費ヨリ仕拂度此段相伺候

指令(十一月二十七日)

開届候

小蒸漁船購求費

○兵庫縣伺(十一月十九日)

警察ノ事務タル神速敏捷ヲ要スルハ更ニ言テ待タサル義ニ有之候處當縣下神戸兵庫而港ノ如キハ内外國ノ船舶常ニ幅濶シ臨時乘客ノ檢査其他諸般ノ警備視察等要用ノ節通常端船ニテハ往返徒ニ多少ノ時間ヲ費シ殊ニ風潮ノ不順ニ際スレハ進退自由ナル能ハス爲メニ乘客ノ迷惑ヲ致スノミナ

ラス緊急ノ機會ヲ失シ往不都合ノ義モ有之且管下淡路國ハ常ニ渡海ヲ要スル場所ニ有之殊今般米
 國大統領グランド氏來港ニ付テハ本務上必需ノ件モ可有之旁以此際右小蒸氣船買入度積リニテ神
 戶在留キルヘー商會製鉄所へ問合候處幸持合船有之代價金千貳百五拾圓ニテ急遽賣拂度旨申越且
 他ニ望人モ有之趣ニ付不取敢購求ノ約定仕候就テハ右ニ關スル費用概算別紙ノ通ニ有之右ハ精々
 綜合警察費ノ内ヨリ支辨可致見込ニ候得共前額買入費支辨方即今難相調候條別途御下渡相成度右
 ハ最初經伺ノ上可取計ノ處何分差掛議ニ付此段御聽許有之度候

指令(十月二十日)

汽船購買ハ開屆候條代價ハ其縣警察費ノ内ニ綜合辨償スヘシ尤モ會計年度末期ニ至リ不足ナ生レ
 候ハ其節事由ヲ具シ申出ヘシ

關廠重傷者藥劑及雇入馬費用

○鹿兒島縣伺(十月二十日)

關廠重傷ノ者有之節ハ豫テ雇入ノ醫師檢察官ニ隨行セシメ診斷着手方ノ義ハ意ヲサルヘシト雖モ
 目下必需ノ藥劑及物品代並雇人馬賃等ハ其者有無宿ニ不關悉皆警察費ヲ以テ仕拂可然哉

指令(十月二十日)

檢視ニ必要ナル藥劑物品ハ伺ノ通

但雇人馬賃等トアルハ明了ナラサルニ付更ニ詳細申出ヘシ

參照

同縣伺(十月二十六日)

過般本縣乾第千四百五十五號ヲ以關廠者手當費ノ義ニ付方ノ區別相伺候處八月十八日付
 御指令中雇人馬賃等トアルハ明了ナラサルニ付更ニ詳細可申出旨但書ノ趣徹承右負傷者一
 應診斷ノ上其輕重ノ模樣ニ寄リ病院等へ送付シ或ハ警察官吏巡行ノ際途中ニ於テ其危難者
 ニ運送シ一時警察本分署又ハ病院或ハ最寄リ醫師ノ邸宅ニ送レ行節要スル所ノ雇人馬賃ニ
 有之候右費用モ悉皆警察費ヨリ支辨可然哉

指令(十月二十五日)

伺ノ通

金錢交換手数料

○長崎縣伺(十月二十三日)

警部巡查宿直當辨料其他筆墨料或ハ諸品購求ノ節端錢支拂方願レ銅貨ヲ要シ候ニ付追々銀行等ニ
 テ可成交換取計候得共同店ニテモ間ニハ全ク拂底ノ義モ有之殊ニ僻遠ノ各警察署ニ至テハ實際差

支モ不抄候條相當手数料ヲ出シ市街兩換店等ニテ交換取計候節該手数料ノ儀勘定面何等ノ科目ニテ仕拂可然哉

指令(十一月三十一日)

交換手数料ハ廳費ニ屬スル雜費ノ科目ニテ仕拂フヘシ

巡查及暴行人器具等毀損ノ節追徴金

○石川縣伺(十一月三日)

第一條 一般人民ニシテ暴行シ官舎或ハ巡查ノ被服器具ヲ毀損セシムルモノ相當ノ代價追徴スルトキ該金員處分方ノ儀ハ官舎ニ屬スルモノハ其原費ニ基キ向來修繕費等ニ差繼拂トシ巡查被服器具ニ屬スルモノハ明治九年八月御省乙第九十五號達ニ準シ支拂可然哉

第二條 巡查ニシテ附與ノ被服器具ヲ毀損セシムルモノ其價ヲ追徴スルトキ該金員處分方ノ義ハ前條後段ノ通相心得可然哉

指令(十一月三十一日)

兩條賠償金ハ總テ其費ノ原質ニ基キ差繼仕拂フヘシ

避病院へ送付ノ拘留人諸費

○鹿兒島縣伺(十一月三十一日)

傳染病ニ罹リ避病院へ送付ノ者其入院ノ際昇輿人足賃其他藥價等諸入費ノ義ハ一般人民ニ在テハ自費辦償其貧民無力ノ者ニ在テハ協議費地方稅ヨリ支給シ或ハ明治八年第四十九號公布ニ照シ處分致シ候義ニ有之候處警察本署及各警察署拘留所ニ一時拘留ノ者右同様ノ節ハ通常ノ疾病ニ係リ拘留所ニ於テ服藥爲致候者ト同様籍ノ有無資産ノ貧富ニ拘ハラス總テ連帶警察費ノ内ヨリ支給可然哉

指令(十一月三十一日)

伺ノ通

馬丁被服及厩新營費

○和歌山縣伺(十一月三十一日)

第一條 當縣警察上ニ要スル厩費ノ義ハ十二年度迄ハ賣淫罰金ヲ以テ支辨致候就テハ厩馬丁へ是迄目標ヲ付シテ被服一ケ年ニ夏冬一組宛ヲ給シ來候處十三年度ヨリ本年八月警甲第六號ヲ以テ上申候次第ニテ警察費中國庫金ト地方稅ト連帶支辨致候ニ付テハ本年二月御省乙第九號御達地方費科目類集ノ部ニ照據スレハ右馬丁へ給スル被服等ノ如キハ厩費中ニ科目無之義ニ付支

給スヘカラサルモノニ候哉

第二條 前同御達中ニ概ノ新築及修繕費ノ科目ハ別段無之義ニ付右ハ警察署ノ營繕費中ニ包含セ
シモノト相心得可然哉

指令(十三年八月)

兩條共同ノ通

但第一條被服ノ義履費ニ屬スル需用費ヲ以テ調製シ其器ニ備置貸與スルハ苦シカラス

警察日誌印行ノ費用

○鹿兒島縣上申(十四年三月二十六日)

本縣警察上ノ布達報告其他必用ノ事件ニシテ後日參看ノ爲メ効能アル部類ヲ摘録シ一ヶ月毎ニ取
纏メ警察日誌トシテ印刷ニ付各警察署ニ配達編輯致置候ニ付右ノ費用ハ警察費ノ内ヨリ任拂可
然哉

指令(十四年三月二十二日)

御届候

巡查懲罰金及不用品賣却代等收入科目

○山口縣伺(十四年五月三日)

巡查並警察賭博等懲罰金巡查還納被服類及警察本分器不用物品賣却代金ハ以來地方稅一般ノ費途
ニ可任拂旨客月十一日乙第十八號ヲ以テ御達相成候處右收入科目ノ義ハ一旦雜收入ニ納入而シテ
地方稅一般ノ費途ニ可任拂義ト相心得可然乎

指令(十四年五月七日)

地方稅ニ屬スル雜收入トシ伺ノ費途ニ任拂候義ト心得ヘシ

護送囚人笠草鞋代及履費支拂

○福島縣伺(十四年五月五日)

第一條 囚人護送ニ係ル笠草鞋代ハ從前廳中費雜費ヲ以支辨シ來レリ然ルニ客歲内務大藏乙第九
號御達地方稅精算報告科目中廳費中雜費ノ細節借家料ノ類ト有之候ニ付テハ自今前件ノ笠草鞋
代ハ需用費ヨリ支拂候義ト相心得可然哉

第二條 客歲内務大藏乙第九號御達費目中履費ニ雜費ノ目無之候得共現ニ乘馬ニ係ル地方稅等ヲ
任拂タルルハ何レノ科目ニ編入シ可然哉

指令(十四年六月六日)

第二二條 客月内務大藏兩省乙第廿七號ノ達ニ據リ警察費ニ屬スル諸費ニ編入スヘシ
但第一條ノ内入獄後ノ該費及本年第十七號ノ公布ニ屬スル分ハ之レヲ除ク

巡查巡回ノ節渡船費

○茨城縣伺(十四年八月二十日)

巡查持區内巡回ノ節渡船費ノ義ハ一般ノ成規モ有之候處管内行方郡大洲村並徳島新田ノ如キハ四
而湖ヲ隔テ乗船ニ非サレハ該村ニ至ルコトヲ不得右ハ接續ノ村落無之全ク一村ニ止マルモノナレハ
從來渡津ノ設無之各自所有ノ船ヲ以テ航河致來候故巡回ノ節ハ乗船ヲ雇ヒ賃錢自便難行届去連通
常ノ渡船トハ異ナレハ無錢ニテ航河ノ義モ難相成場合モ有之ニ付テハ該費ノ如キハ警察費諸雇給
ノ内ヨリ支拂可然哉

指令(十四年八月二十六日)

渡船賃ハ實費ヲ以テ警察費ニ屬スル該費ノ内ヨリ仕拂不苦義ト心得ヘシ

官金私借ニ對スル隠藏物賣却代價

○京都府伺(十四年二月廿一日)

一金拾貳圓八拾壹錢

右ハ當府元十等警部其在職中官金ヲ私借費用シタルニ因リ資力限り追徴ノ上全ク不足金ニ屬スル
五百拾六圓御償戻方稟申ノ未明治十三年二月廿六日付御指令ヲ得既ニ十一年度警察額外費トシテ
御交附濟相成居候處今回同人資力ノ内地ニ隠藏セシ物品賣却代金追徴本項ノ金員當地裁判所ヨリ
回付相成候右ハ雜收入トシテ納方取計可然哉

指令(十四年二月廿一日)

伺ノ通

郡區長戸長司法警察事務執行ノ場合ニ於テ要スル諸費

○京都府伺(十五年三月廿一日)

郡區長及ヒ警部ノ在ラサハ地ノ戸長治罪法ニ定タル司法警察ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ捕細警棒
仮訊問所等ハ須要ノモノニ付兼テ其役所ノ費目ヲ以テ爲備付可然哉又ハ仮訊問所設否ハ其地ノ便
宜ニ任セ捕細警棒ハ自費ヲ以テ支辨爲致可申哉

指令(司法卿) (十五年三月二十日)

前段伺ノ通

仮訊問所ノ義ハ其役所役場ノ内ヲ以テ兼用可致義ト心得ヘシ

警部ニテ檢事ノ職務ヲ代理スル費

○福井縣伺(十四年)

客年第七十一號公布ニ依リ警部ニテ檢事ノ職務ヲ代理執行スル場合ニ於テ消費スル處ノ筆墨紙並郵便稅等其他右ニ屬スル費用ノ義ハ部ヲ裁判所經費ニ可相立モノニ候哉又ハ警察費ヲ以テ支辨可致哉

指令(司法卿) (十四年)

裁判所内ニ於テ該職務ヲ執行スル場合ニ依リ費用ハ裁判所ノ經費ニ屬スヘシ

逃走畜類ニ係ル費用

○秋田縣伺(十四年)

茲ニ逃走畜類ヲ得テ届出ルモノアリ則テ明治九年太政官第五十六號布告遺失物取扱規則第九條ニ依リ官ニ於テ厩ノ設ケナキヲ以テ之ヲ得者ニ預ク置キ而シテ畜主ヲ探索スルモ分明ナラサル内該畜類斃死シタルトキハ右ニ係ル飼料及取片付ノ費用等ハ悉皆警察費ヲ以テ支辨シ可然哉

指令(十四年)

伺ノ通

巡警費豫算差違ヲ生シタル箇届方

○愛知縣伺(十四年)

明治十四年御省乙第五十六號御達ニ基キ地方稅中警察巡警費ニ限リ翌年度ノ豫算額前年度十一月廿日限リ可及御届書ニ候處其以後實際議事開會迄ノ間豫算差違ヒ生シ候節ハ其時々可及御届哉又ハ議事終了ノ上成議案ヲ以テ及御届可然哉

指令(十四年)

後段伺ノ通

豫備費ヨリ充タル金額及下渡金豫算ニ編入方

○靜岡縣伺(十四年)

警察費中豫備費ヨリ充タル金額ハ豫算ニ編入セズ右ニ對スル國庫下渡金ノ豫算ニ組入レ可然哉
指令(十四年)
總テ豫算ニ編入セサル義ト心得ヘシ
行旅病人取扱費

○茨城縣伺(十四年)

第一條 赤貧無籍ノ者途上飢餓ニ迫リ救助方警察署へ願出同署ヨリ戸長役場へ引渡シタル場合ニ於テ其費用ハ地方稅救育費ヨリ支出可然哉

第二條 赤貧ニシテ原籍不分明ノモノ疾病ニ罹リ差向救護取計本籍ノ有無他府縣へ照會ノ上愈無籍ト相決更ニ本人望ニ任セ其地ニ定籍セシモノハ定籍前後ヲ區別シ其以前ニ屬スル費用ハ地方稅ヲ以テ支辨シ其以後ニ屬スルモノハ恤救規則ニヨリ救助取計可然哉

第三條 前條其地ニ定籍セシモノ病危篤ニ及ヒ藥其他費用相嵩恤救規則ニヨリ救助取計モ幾分ノ不足ヲ生シ實際施行難致モノハ剩余ノ分地方稅ヲ以テ支辨可然哉

指令(十六日)

第一條 警察官ノ取扱ニ屬スル費用ハ警察費戸長役場ノ取扱ニ屬スル分ハ地方稅救育費ヲ以テ支辨スルシ

第二條 就籍以前ノ費用ハ地方稅救育費ヨリ支出セシメ以後ハ何ノ通

第三條 何ノ通

傳染病豫防費用仕拂方

○警視廳伺(十五年)

(六月七日)

第一條 他管下ノ者一時出京中旅店其他ニ於テ傳染病ニ罹リ傳染病室へ送付ノ後其送致及入院費等自辨スル能ハサル者アルトキハ其費用ハ該患者在籍地方廳ノ仕拂ニ相立可然哉

第二條 巡查ニシテ傳染病ニ罹ル者アルノ報ヲ得テ直ニ該所へ出張他ニ傳播ノ豫防檢疫等ノ事務ニ從事シ乗車等ヲ要スルト其費用ハ客歲乙第二十七號御達中衛生及病院費トノミ有之明文ハ無

之候得共十三年乙第九號御達中ノ費目ニ據リ衛生費ヨリ支出スヘキ義ト相心得可然哉又ハ警察費ヨリ支出候テ可然哉

指令(十六日)

(四月五日)

第一條 本年ニ第八號公達ノ通心得ヘシ

第二條 後段伺ノ通

決算報告後發見シタル警察費支出

○福井縣伺(十六日)

(五月九日)

甲年度地方稅決算報告ノ後發見シタル費用ハ豫備費ヨリ支辨シ甲年度何費追拂トシ雜出ノ科目ヲ以テ精算スヘキ成規ニ有之候處警察費ノ義ハ他ノ費目ト異ニシテ國庫下渡金連帶ノモノナレハ雜出ニ編入候ハ穩當ナラサル様存候依テ同費ノ義ハ豫備費ヨリ支辨シ其發見シタル年度ノ警察費

編入決算シ可然哉

指令(十月十六日)

成規ノ通糶出ノ科目ヲ以テ精算候儀ト心得ヘシ
但國庫下渡金ハ糶出金ノ内書ニ記載スヘシ

犯罪人留置中死亡セントキ埋葬費

○高知縣伺(十月十六日)

犯罪人警察署ハ留置中死亡セシ者アリ引取人無之右埋葬費ハ監獄費ヨリ支出可然哉

指令(十月十六日)

令狀ニ依リ留置中ノ者ハ監獄則ニ據リ一時留置中ノ者ハ行旅死亡人取扱ニ準スヘシ

囚人賄費

○群馬縣伺(十月十七日)

警察本分署ニ於テ一時拘留ノ者明治八年八月百五十三號公達ニ依リ一食金貳錢五厘以下ヲ以テ爲
賄來候處當今一食物價騰貴ニ至リ所詮一食貳錢五厘ニテハ賄方引受候者無之候間以後一食三錢ヲ
以テ爲賄度此段相伺候

指令(十月十三日)

開届候

拘留人携帶小兒賄料

○和歌山縣伺(十月十四日)

爰ニ犯罪人アリ警察官ニ於テ取調ノ爲一時拘留スル者ニ附屬スル七歳未満ノ小兒アル片ハ可成其
家族及親戚隣保等ヲシテ實際其犯罪人ト引離サレヌ事情アリ不得止相供ニ拘留セサルヲ得サル場
合アルトキハ其賄料ノ總ハ通常拘留人賄料ノ半額ヲ以テ警察費ヨリ相賄候テ可然哉
指令(十月十三日)

伺ノ通 郡區戸長ニ於テ取調ノ犯罪人費途

○三重縣伺(十月二十四日)

治罪法第二編第六十條ニ依リ郡區長戸長等ニテ檢事ノ補佐トシテ其事務ヲ執行スルニ際シ郡區長
及戸長ニ於テ被告人取調中該被告ニ係ル諸賄料車駕籠賃及看護人雇料ノ類ハ郡役所費又ハ戸長役
場費ヨリ支辨スヘキ乎又ハ警察費ノ内ヨリ支辨スヘキ乎

指令(十五年)

(三月八日)

前段伺ノ通

留置場へ留置スル被告人賄費支出方

○千葉縣伺(十五年)

(四月八日)

豫審判事拘引狀ヲ發シ拘引セシメタル被告人ハ時宜ニ仍リ其訊問時限四十八時ニ在ル夜間ニ限リ
裁判所又ハ最寄警察署留置場ニ入置ヘキ旨客年十月第五十九號ヲ以テ公布相成候ニ付テハ該被告
人警察署へ留置中ニ係ル賄費ノ義ハ警察費ヨリ支出可致哉又ハ監獄費ヨリ支出可致義ニ候哉

指令(十五年)

(五月三日)

前段伺ノ通

留置人宿預ケ中賄料

○岩手縣伺(十五年)

(五月十日)

今般御省乙第廿九號ヲ以テ本年一月ヨリ新法實施相成候ニ付テハ明治九年當省乙第廿六號達書ハ
消滅シタル義ト可心得旨御達有之然ルニ警察官吏ニ於テ一時留置スヘキ者ト雖モ本縣各分署ノ如
キハ未タ借合ニテ多分留置場ノ設無之又其設ケアルモ或ハ狹隘ニシテ時ニ依リ差支又ハ急病等ニ

テ該場へ入レ難キ者モ有之右等ノ場合ニ於テ用宿預ケニ取計候者有之ニ付右賄料ノ義方今物價騰
貴ナルヲ以テ一泊金拾三錢一晝金五錢迄ノ額ヲ以テ支給候様致度此段相伺候

指令(十五年)

(七月三十一日)

難聞届候

甲監ノ囚人ヲ乙監へ移送ノ途中費

○石川縣伺(十五年)

(三月二十八日)

本年二月第拾號囚人護送規則御達該手續第二條但書入監後糺問等ノ爲メ所在ノ法衙ニ往復スルハ
本條ノ限ニアラストアリ右ハ未決在監人(監獄へ移シ拘留ノ者)ナシテ同地ノ法衙へ往復スル麻ヲ
指ス義ニ可有之哉果シテ然ラハ入監後ノ未決者ニシテ甲監ヨリ乙監へ移送其距離拾里以外ナルト
キハ第一條但書ニ依リ警察進傳ニ付シ而シテ其途中被送人ニ係ル賄費等ハ第十二條ニ據リ警察費
ヲ以テ支辨シ可然哉

指令(十五年)

(五月二十日)

伺ノ通

參照

本局照會(十月十六日)

客年十二月廿八日付囚人護送途中發途ノ義ニ付御同書中入監後ノ未決者ニシテ甲監ヨリ乙監ニ移送云々ト有之右ハ全ク監獄ノ都合ニ依リ移送スル義ニ候哉又ハ裁判ノ管轄違等ニ依リ移送ヲ要スル場合ニ候哉事柄詳細御申越相成度候

石川縣回答(十月十六日)

客年十二月廿八日付囚人護送途中費内務省ニ伺書中入監後未決者ニシテ甲監ヨリ乙監ニ移送ノ都合詳細御報道スヘキ旨本年一月廿九日第九號ヲ以テ御申越致了承候右ハ監獄ノ都合ニヨリ移送セシモノニ非ズ曾テ縣下七尾監獄署拘留未決ノ内第二期石川重罪裁判所金澤ニ開所相成右裁判所ニ送致ノ上金澤監獄署ニ収監相成候者有之其途中發途ニ付伺置候義ニ有之候間右機御了承相成度及御回答候也

○、○、伺

司法警察官ニ於テ被告人拘留中及護送途中食費

第一條 司法警察官ニ於テ警察本分署内ニアル留置場ニ拘留スル被告人ト雖モ拘留場若クハ收監狀ヲ發シタル後食費ノ如キハ監獄費中ヨリ支辨可致ハ勿論ニ有之候處一分署ニ於テ拘留スル處

ノ被告人ハ素ヨリ僅々タル者コシテ譬ヘハ一時取調ヲ要スル時限午後ニ涉ルトキ晝食ノ如キハ警察官ニ於テ一時拘留スル處ノ犯人トシ明治八年第五百三十三號公達及同十三年六月十一日當縣伺御指令ニ基キ一食金三錢五厘以下ノ割ヲ以テ取調警察費中ヨリ支辨シ爾後犯罪ノ見据相立拘留狀若クハ收監狀ヲ發シタル後ハ監獄費ノ支辨ニ屬スヘキモノトシ監獄則第六十八條ノ例ニ依リ取調可然ノ處僅々タル犯人ニシテ實地其手數難被行場合有之候ニ付右費用ハ區分ハ本文ノ通リ相立賄費額ノ義ハ警察官ニ於テ一時拘留スルモノト同シク一食金三錢五厘以下ヲ以テ取調該費用ハ監獄費中囚人賄費ノ内ニ適宜科目相設ケ決算相立候様取計可然哉

第二條 果シテ前條ノ如ク區分相立可然モノトスレハ明治十五年第十號公達囚人護送手續第二條ニ於テ新ニ就捕セシ犯罪人及諸令狀ニ據リ引致スル刑事ノ被告人又ハ云々傳遞護送ヲ要スルモノモ向第一條ノ手續ニ準スヘシト有之其第十二條ニ於テ第二條ニ屬スヘキ護送途中ノ賄費ハ總テ沿道警察本分署ノ支拂ニ相立ト有之就テハ甲署ニ於テ捕縛シ拘留狀若クハ收監狀ヲ發スルノ後ト雖モ護送途中ノ費用ニ限リ警察費ヲ以テ取調護送前後ニ屬スル食費ヲ監獄費中ヨリ支辨スル義ト相心得可然哉

指令(十月十六日)

第一條 費途區分ノ義ハ伺ノ通

但監獄費ニ屬スルモノハ監獄則第六十八條及第七十條ニ準スル賄格ヲ以テ適宜取計フヘシ

第二條 伺ノ通

清國人護送中宿泊料其他繰替金請求

○長野縣伺(廿四年)

横濱在留清國人魏朝令郭舉學ノ二名旅行免狀ヲ携帶セメテ當縣下旅舎ニ投宿候ニ付本年九月十日外務卿へ伺濟ノ上巡查ヲシテ警護在横濱領事館へ引渡濟ノ處右二名途中使用セシ宿泊料車馬代共其他雜費等本人共持合金員無之趣ニ付路次繰替支拂置候金拾七圓拾四錢ハ右領事館へ請求可致義ニ可有之哉又ハ當縣警察費ヲ以テ支拂可然哉

指令(廿四年)

神奈川縣へ依頼シ該國領事へ請求スヘキ義ト心得ヘシ

警察署附屬ノ留置場ニ拘禁スル賄費

○兵庫縣伺(廿七年)

凡ソ警察官吏ニ於テ重罪輕罪ノ現行犯ヲ逮捕シ不取敢些少ノ時間警察署附屬ノ留置場ニ留置シ引

續キ令狀ヲ發シ該場ニ囚留スル場合右被告人ノ食費藥價等ハ令狀ヲ發スル前後ヲ區分シ警察監獄各兩費ヨリ支出スル義ニ候哉將ク令狀ヲ發スル前ト雖モ苛ク重罪輕罪ニ付テノ假ノ豫審中ナルヲ以テ渾テ警察費ヨリ支以スル義ト相心得可然哉

指令(廿七年)

前段伺ノ通

○茨木縣伺(廿五年)

留置人賄費額

昨八年八月太政官第五百三十三號ヲ以テ地方警察官吏ニ於テ推問中出張所屯所ニ一時拘留候者賄ノ義ハ一食貳錢五厘以下ヲ以テ警察費ノ内ヨリ支給可致旨御達有之候處當縣警部出張所並ニ巡查屯所ノ中ニ拘留所無之場所ハ該地ノ戸長又ハ客店等へ相預ク來候處臥具點燈費其他手數モ多分相掛リ殊ニ目今物價高直ニ付同年五月御省乙第六十八號御達ニ照準シ泊二賄金三錢壹一賄金五錢ヲ以テ支給可然哉相伺候也

指令

書面伺ノ通

○神奈川縣伺(十一月二十三日)

拘留中瘞死者賄費

甲縣ノ人民乙縣下行旅先ニ於テ犯罪有之捕縛推問ノ爲メ警察出張屯所ニ拘留中瘞死ノ者埋葬費ノ義有籍ノ分ハ其原籍ヨリ取立無籍昨八年十一月御省乙第五百五十八號御達行旅病死瘞死埋葬入費成規ニ照シ官費仕拂可然哉相伺候也

指令

書面ノ趣警察費ヨリ支拂候議ト可相心得事

○無罪解放者及証人醫師鑑定人旅費日當

無罪解放者旅費支給ハ原籍地迄ヲ計算スルカ將テ就縛地迄ヲ計算スルカ

○山梨縣伺(十一月二十四日)

第一條 証人及無罪解放ノ者旅費支給方ノ義ニ付明治九年第六十三號ヲ以テ公布相成候處探索上ニテ捕ニ就キ無罪ニ歸スル者ハ假令旅行先客店等ニ於テ就縛シタル者ト雖其本籍地迄ノ歸郷旅費ヲ支給スル義ニ可有之哉又ハ本人ノ在籍地ニ於テ就縛拘引セシ者ニ限り歸郷旅費ヲ支給シ旅行先ニ於テ捕ニ就キ無罪ニ歸スル者ハ其旅行先(本人就縛セシタル地ヲ云)ニ復歸スル迄ノ旅

費ヲ給與シ可然哉

指令(十一月十八日)

第一條 就縛ノ地迄ノ分ヲ支給スル義ト心得ヘシ

責付中ノモノ賄料給否

○同縣伺(十一月二十三日)

罪犯糾問中及囚徒ノ囚微罪ノモノニシテ父兄親族等ノ情願ニ依リ責付セシムルモノ、賄料ハ官費ニ不相立旨明治九年乙第二十六號御達但借ノ通ニ有之候處探索上ニテ捕ニ就キ前同様情願ニ依リ責付シタルモノ到底無罪ニ歸スルハ同年第六十三號公布ニ照準シ本人歸郷ノ旅費ノミヲ支給シ責付中ノ賄料ハ勿論糾問ノ爲メ呼出シタル時ノ旅費日當ハ一切支給セサル義ト相心得可然哉

指令(十一月二十三日)

伺ノ通

行兇人不明ナルハ醫師鑑定人旅費日當支給難

○茨城縣伺(十一月廿六日)

司法警察官ニ於テ檢證ノ爲メ召喚スル証人醫師鑑定人等ノ旅費日當支給方ノ義ニ付客年十一月卅

一日付ヲ以テ相侷候處豫審公判ニ屬セサルモノハ同ノ通ト御指令有之疑義ヲ生シ候ニ付左ノ實況
 ヲ略陳ス抑モ犯罪事件ノ檢證ニ際シ証人醫師鑑定人等ヲ要スル勿論ナレド就中醫師ノ如キハ尤モ
 必要用ニシテ圖毆殺傷等ノ犯罪事件ニ當リ司法警察官ハ直ニ醫師ヲ同伴臨檢シテ其致命ノ原因ヲ
 檢案セシメ檢證ヲ了モ被告人ハ捕ニ就カス又其誰タルヲ知ラサルモノ往々之アリ此場合ニアリテ
 モ其醫師鑑定人等ノ旅費日當ヲ給與スル能ハサルヲ以テ其醫師鑑定人ニ於テハ一時自費ヲ以テ之
 ニ應シ而シテ其費用ハ被告事件確定ノ後受取ルヘキハ當然ナレトモ其被告人ノ所在ヲ捜査シ逮捕
 スルノ日ハ豫メ期スヘカラス會々其被告人捕ニ就キズル時ト雖モ無資力ニシテ此等ノ費用ヲ辨償
 スル能ハサル者十中八九ニシテ其証人醫師鑑定人タル者ハ該費用ヲ更ニ民事裁判所ニ請求シ身代
 限ノ處分ヲ受クルノ外ナシ加之地方ノ如キハ醫師鑑定人タル者到ル處其技術ニ充分ナルモノ少ク
 官ニ少キノミナラス村落ニ至テハ絶テ醫師ナキ處アリ故ニ之ヲ要スルルハ概テ警察署所在ノ地
 リ同伴セサルヲ得ヌ而シテ其醫師鑑定人等ニ於テハ單ニ警察署ノ召喚ニ應シタルモノ、如ク思惟
 スルニモ拘ハラス其旅費日當ハ直ニ受取ル能ハス其之ヲ受取ルヤ被告事件確定ノ後ヲ俟ツカ爲メ
 幾日子ヲ經過シ結局前陳ノ如キ不幸ヲ被ルモノ多キニ居旁々一度此不幸ニ出會セシ者ハ勿論檢證
 ニ際シ醫師鑑定人ヲ召喚スルモ速ニ應スルモノナク或ハ事故ニ托シ召喚ヲ忌避スルモノ比々之ア

リ尙モ檢證處分ニ際シ此等ノ爲ノ空ク日時ヲ經過スル時ハ人命ニ關シ且ツ證憑等埋滅ノ恐レモ尠
 カラス又須臾モ猶豫スヘキ場合コアラサレハ止テ得ヌ醫師ノ旅費日當ハ被害者ノ自辨トシ急飛テ
 以テ數里ヲ距ル縣下ニ來リ豫メ被害者コ於テ招キ置ク處ハ醫師ヲシテ檢案セシムルコアリ然レモ
 其醫師タルヤ被害者ヨリ相當ノ謝金ヲ受クル爲メ之ヲ檢按スルニ當リ被害者ノ利益トナルモ行兇
 人ノ利益トナルヘキコトハ証言セサルハ勢ヒ免レサルヘシ故ニ臨檢官ニ於テモ其檢按ニ對シ信ヲ措
 キ難キ場合モ之アリ如斯司法事務上ニ此弊害ヲ顯出セシモノハ必竟前陳ノ如キ有様コシテ司法警
 察官コ於テ檢證ヲ爲スニ際シ召喚シタル醫師鑑定人等ノ旅費日當ト雖モ裁判費用ニ屬スルヲ以テ
 警察署ハ其費用ヲ支出スルノ途ナキ爲メ 實務上頗ル影響ヲ來シ候義ニ付司法警察官ニ於テ召喚
 スル醫師鑑定人等ノ旅費日當ハ警察費ヨリ支辨候様御詮議相成度此段上申候

指令(計法部)

行兇人不分明ナルハ醫師鑑定人等へ支給スヘキ手當ハ明治九年第六十三號布告ニ據ルヘキ義ト心
 得ヘシ

但行兇人捕ニ就キタル節裁判費用トナルヘキ金額ハ豫審判事ノ償還ヲ要スヘシ

豫審又ハ公判ニ於テ無罪トナリタル被告人へ旅費日當給否

○滋賀縣伺(十一月二十五日)

本年一月廿三日付電信ヲ以テ京都府ヨリ司法省ヘノ伺ニ客年第六十七號刑法附則布告ニ依リ九年六十三號布告ノ証人及無罪解放旅費ノ規則ハ消滅ト心得ヘキヤトアルニ對シ同月廿七日付電報御指令ニ九年六十三號布告ハ現存ス但刑法附則ニ抵觸スル麻ハ消滅スル義ト心得ヘキ旨御指令アリタル趣傳承致候ニ付左ニ相伺候

第一條 右抵觸セサル麻ハ滅セスト云フキハ豫審又ハ公判ニ付其公訴ノ原由治罪法第十七條ノ官吏ノ告發ニ係ルトキハ當該官吏ヘ要償スルヲ能ハサルヲ以テ其裁判所ヘ對シ被告人ヨリ旅費日當ヲ請求スレハ九年第六十三號公布ニ依リ裁判所ヨリ下付相成儀乎

指令(司法卿)十一月廿六日

第一條 被告人ヘハ旅費等給セサルモノトス

警察上ノ處分ニ據ル無罪者旅費日當

○兵庫縣伺(十一月八日)

第一條 十四年第六十七號布告刑法附則第四章刑事裁判費用ノ部ニ於テ証人醫師鑑定人通辨人翻譯人ニ給與スヘキ日當旅費止宿料等ノ金額ヲ定メラレタル上ハ九年第六拾三號布告中証人旅

費ニ係ル部分ハ自然消滅シタルハ勿論ニ候得共探索上捕ニ就キ及ヒ呼出ヲ受ケ無罪ニ歸スル者其他人違又ハ官吏ノ其人名ヲ誤寫スル等ニテ呼出シタル者ニハ仍ホ九年第六十三號布告ニ依リ旅費滯留日當等支給スル義ニ有之候哉

指令(司法卿)十一月廿六日

第一條 人違又ハ官吏ノ其人名ヲ誤寫セシ等ニテ呼出シタル者ハ伺ノ通

但証人ト雖モ豫審公判ニ屬セサル者ハ明治九年第六十三號布告ニ依ル

○山形縣伺(十一月廿九日)

第一條 警察官吏ニ於テ捕縛又ハ呼出ノ上檢事ニ送附セシモノ檢事ニ於テ無罪ト認メ或ハ裁判官ニ於テ審理ノ末無罪決放ノ者推糺中拘留又ハ入檻セシモノハ九年第六十三號公布第一項但書ニ依リ仕賄ノ時日ハ別ニ日當ヲ給セサルヘクモ其旅費ノ如キハ支給スヘキ義ニ候哉

第二條 刑法附則ノ發布ニ據リ若シ六十三號公布ハ自然消滅シタルモノトスルトキハ本件解放者ノ如キ事件新法實施以前ニ起リ確定裁判其以後ニ係ルモノ、支給方ノ義ハ新法實施ノ前後ヲ以テ區別スヘキ筋ト相可心得哉

指令(司法卿)十一月廿一日

第一條 裁判官ニ於テ無罪決放ノモノハ警察費ヲ以テ支給ノ限ニアラス

第二條 前條指令ヨリ了解スヘシ

○警視廳伺(十一月十六日)

第一條 本年十一月十三日司法省丙第九號達ヲ以テ刑事ニ付警察官ノ處分ニ屬スル費用ハ豫審判事嘱托ニ係ル場合ノ外裁判費用ニ立タサル事ニ相成候付テハ警察官ニ於テ罪囚ノ證人タルヘキト思批レ呼出ス等其處分ニ對シ費用ヲ要スル場合ニ當テハ從前ノ例即チ明治九年五月第六十三號公布ニ據リ警察費ヲ以テ支辨候義ト相心得可然哉且金額ノ義ハ該公布ノ額ヲ程度トシ實際適宜斟酌候テ不苦哉

第二條 豫審判事ノ嘱托事件ニ關スル失費ハ即チ裁判費用ナルヲ以テ公判落着ノ上被告人ノ資力有無ニ拘ハラス該裁判所ヨリ送付相成筋ニ可有之就テハ警察費ヲ以テ一時繰替置ヘキ義ト相心得可然哉

指令(十一月一日)

第一條 本年當省乙第十八號達ノ通

第二條 十五年司法省丙第二十五號達ノ通

刑事ニ付警察官ヨリ喚出シタル証人旅費日當

○埼玉縣伺(十一月廿七日)

刑事ニ付警察官ノ處分ニ屬スル費用ハ起訴ノ前後ニ拘ハラス裁判費用ニ相立タサル旨昨十六年司法省丙第九號ヲ以テ達ヒラレ候コ付テハ刑事ニ付警察官ヨリ喚出シタル証人ハ九年御省乙第百二十七號達ニ從ヒ同年第六十三號布告ニ據リ旅費日當等支給致シ可然哉果シテ然レハ醫師鑑定人通辨人譯翻人等ヲ要スルトキモ右ニ準シ可然哉

証人日稼ヲ以テ生業トスル者ナルニ據リ旅費日當ノ外賃金ヲ要求シ若クハ舍密及數多ノ時間ヲ要シタル翻譯料ノ類其他被傷者ニ縫針等ヲ施シタル場合ニ於テハ其難易ニ依リ警察費ヨリ相當手當ヲ支給シ可然哉

指令(十一月廿七日)

本年當省乙第十八號達ノ通

但醫師鑑定人通事等相當雇料ヲ支給スルハ苦シカラス

○山梨縣伺(十一月廿一日)

第二條 前條公布ノ末項ニ各裁判所及ヒ警察官吏ヨリ呼出テ受テ無罪ニ歸スルモノノ旅費ハ其呼出

タル廳ヨリ之ヲ給ス其他ハ總テ本管廳ヨリ給スル云々ト有之候ニ付前條ノ通探索上ニテ捕ニ就キ無罪ニ歸スルモノノ旅費ハ渾テ本人在籍地ノ管廳ヨリ支給スル義ト相心得可然哉

指令(十一月八日)

第二條 捕縛ヲ命シタル廳ヨリ支給スル義ト心得ヘシ

○山口縣伺(十一月三十日)

第一條 明治九年第六十三號公布第三項前略(其他ハ總テ本管廳寄留ノモノハ其寄留地ノ管轄廳ヨリ給スルニ付云々)トアリ此字句ニ據ルトキハ總テハ警察官吏ヨリ他府縣在籍ノモノ又ハ他府縣寄留者ヲ證人及ヒ附添ヲ命スル等ニテ呼出スモノ、如キ旅費ハ其呼出シタル廳ヨリハ一切之ヲ給セスシテ該本人ヲ管轄スル官廳ヨリ給スルモノ、如シ果シテ然ラハ該本人ヲ管轄スル官廳ニ於テハ全年(十一月)御省乙第百二十七號御達ニ照準シ警察費ヨリ支出スヘキヤ又ハ(本官廳云々)トアルニ據リ定額常費ヨリ支出ス可キ哉

第二條 果シテ前條開陳スル如キナラハ該本人ヨリ紅問中ノ日數並往復里程ヲ詳記シ警察官吏ノ證印ヲ請フトキハ之ヲ證印ヲ捺シ下附シ可然哉

但六十三號公布第三項中前コハ(各裁判所及警察官吏ヨリ呼出ヲ受ケ云々)トアリ後ニハ(其

裁判官ノ證印ヲ請ケ云々)トノヨリテ警察官吏ノ證印ヲ受ケ云々ノ字句ナシ故ナリ以テ此條ヲ添加ス

指令(九月三日)

第一條 前段伺ノ通

第二條 伺ノ通

○鳥取縣伺(十一月三十日)

罪囚証人及無罪解放者旅費ノ義ニ付御省明治九年乙第百廿七號ヲ以テ警察官吏ノ處分ニ依リ支給スヘキ分ハ渾テ警察費ヨリ可仕辨旨御達相成候處右ハ警察官固有ノ職權ヲ以テ處分セント檢事ノ職務ヲ履行スルニ付處分セントテ問ハヌ又喚出ノ上無罪ニ歸スル者及人違人名ノ誤寫等ニ係ルモノト證人附添人トノ區別ヲ論セス警察官吏ノ處分ニ係ルモノハ總テ其喚出チナシタル府縣警察費ヨリ支辨スル義ト可相心得哉又ハ證人付添人ノ旅費日當ハ其本管廳ノ經費ヨリ支辨シ警察費ニハ關係ナキ義ト可相心得哉

指令(十一月四日)

無罪解放ノ者旅費ハ喚出チナシタル府縣警察費ヨリ支辨シ證人付添人ノ旅費日當ハ其本管廳ノ警

察費ヨリ支辨スル義ト心得ヘシ

豫審公判ニ呼出シタル被告人證人又ハ違警罪ニ付キ全上ノ場合若クハ司法警察官又ハ豫審判事ノ囑托ニ依リ呼出シタル證人給等旅費日當與

○滋賀縣伺(十一月二十九日)

第二條 豫審公判ニ付召喚又ハ引致スヘキ被告人其他證人鑑定人等ノ氏名ヲ書記ニテ誤記シ爲コ無用ノ者出廷シタル時旅費日當等ヲ請求スレハ其裁判所ニ於テ又九年第六十三號公布ニ依リ旅費日當等ヲ支給可相成義ニ候哉

第三條 警察署ニ於テ違警罪ヲ審判スルニ付警條ノ如キ場合アルトキハ九年第六十三號公布ニ依リ警察費ヨリ支給スヘキ義ニ候哉

第四條 司法警察官ニ於テ重罪輕罪ノ現行犯又ハ豫審判事ヨリ囑托ヲ受ケ證人ヲ呼出訊問シタル際該證人ヨリ旅費日當ヲ要求シタルトキハ其要求書ヲ徵シ一件書類ニ添付其筋檢事又ハ判事ヨリ囑托シタル事豫審判事ニ送付スル義ト相心得可然哉

但本文ノ場合ニ於テ若シ其證人ノ氏名ヲ誤記シ無用ノ者ヲ呼出其者ヨリ旅費日當請求スレハ九年第六十三號公布ニ依リ警部ナレハ警察費郡長戸長ハ各其役場費ヨリ支辨スヘキヤ

第五條 司法警察官ニ於テ犯罪捜査上重罪又ハ輕罪ヲ犯シタル犯人ト思料スル者ヲ報知狀ニテ呼出シ一應訊問スルニ全ク犯人ニアラザリシト判明シ又ハ人違タル等ノ場合ニ於テ其本人ヨリ旅費日當ヲ請求スルハ九年第六十三號公布ニ依リ警部ナレハ警部費郡長戸長ナレハ該役場費ヨリ支辨可然哉

指令(司法卿) 七ノ六二

第二條第三條第四條第五條伺ノ通

醫員旅費支給方

○栃木縣伺(十一月四日)

警官ニ隨行ノ醫員旅費支給方ノ儀客年九月廿二日別紙甲號ノ通相伺候處朱書ノ如ク御指令ニヨリ猶疑團水解散兼候ニ付同年十月廿二日乙號ノ通再伺候ニ朱書ノ如ク御指令ニヨリ其意ヲ含味候ニ警官隨行醫ニ雇ノ名義ヲ附シ日給ヲ給スルト否トニヨリ旅費定則第九章ト第十七章ニ進據旅費及支給候義ト被存候然ルニ同年十一月九日丙號ノ如ク相伺候ニ朱書ノ通御指令相成候ヨリ復疑團ヲ生シ如何トナレハ公立病院府醫ノ名義ヲ附スルモ試驗醫ヲ命スルモ同シク兼務爲致候者ナルニ試驗醫檢疫醫ヲ命シタルハ日給ヲ給セシテ定則第九章ニ據リ旅費支給シ獨リ警官ニ於テ雇上ケ

候節ニ限リ日給ヲ官給セサレハ定則第九章ニ依リ旅費支給シ能ハス其區域了解致兼候間御明示相成度然ラサレハ該病院醫雇上クノ際彼此相異リ實際不都合ヲ免レ難キ場合モ有之候條此段相伺候
指令(十四日)

客年十一月十二日付指令ノ通心得ヘシ

參照

(甲號)全縣伺(廿三日)

人民ニ於テ盜難其他ニテ重傷ヲ負ヒ又ハ變死有之節警察官檢視出張ノ際公立病院醫員ニ隨行ヲ命シタルトキ旅費ノ義ハ縣廳適宜決定旅費ヲ以テ警察費ヲ支給シ不苦候哉

指令(廿三日)

旅費定則第十七章ニ據リ警察費ヨリ支給候義ニ心得ヘシ

(乙號)全縣伺(廿三日)

警察官檢視出張ノ際公立病院醫員ニ隨行ヲ命シタルトキ旅費支給方ノ義ハ昨十三年八月中縣下虎列刺病流行ノ際同年九月十七日附ヲ以テ檢疫委員旅費其他ノ義伺中第四項(中略)公立病院醫員(月給三十圓以上)ヲシテ檢疫委員ヲ命シ候者モ四等旅費ヲ支給シ可然哉相伺候處伺ノ通ト御指示有

之右ヲ引用シ旅費定則第九章ニ據據シ支給取計候處本年二月乙第九號ヲ以テ警察費ハ國庫下渡金ト地方稅連帶支辨ノ御達有之ニ付篤ト熟考スルコ甲ハ警察費ナルヲ以テ一般ノ成規ニ據リ支給シ乙ハ病院費ナル故ニ縣適宜決定ノ旅費ヲ給スルトキハ何レモ地方稅ヲ以テ支辨スル義ナレハ甲乙二途ニ出權衡ヲ得サル様推察及將ニ客歲十二月乙第四十八號大藏省達徵兵入費定則第一條入營ノ節徵兵ニ附添戸長或ハ郡區書記等ノ旅費ハ地方長官適宜決定ノ旅費ヲ以テ官費支給スヘシトアリ旁以本年九月廿二日付ヲ以相伺候處本月八日伺ノ趣旅費定則第十七章ニ據リ警察費ヨリ支給候義ト可心得旨御指揮有之右御指令ニ依レハ茲ニ病院醫員ヲシテ檢疫委員ヲ命シタルモノト全視セス又費途ノ性質ト其病院醫ノ職トヲ論セシ警察官ニ隨行ヲ命シタルニ限リ公立病院醫員ト雖モ開業醫ト同視シ旅費定則第十七章ニ據リ支給スヘキ義ニ候哉抑該醫員ヲ雇使スルヤ檢疫醫ヲ命スルモ警察官隨行ヲ命スルモ別段日當 公立病院ニ於テ月給セサルモノナレハ旅費定則第九章又ハ縣適宜額ヲ支給致度然ラサレハ優等ノ技術者ナルヲ以テ平生夫々待遇致居候者モ警察官隨行等ヲ命スルトキハ前御指令ニ據リ其身分ヲ待遇スレハ自然權衡ヲ失シ終ニ病院醫ヲ雇入ル、フ能ハサル場合ニ至リ實際上差問候條再應相伺候
指令(十四日)

警官隨行ノ職員ニ雇ノ名義ヲ以テ日給ヲ官給スル場合ニ於テハ旅費定則第九章第一項ニ據ルヘシト雖、モ右名義ヲ附セサル節ハ公立病院醫及開業醫トモ最前指令ノ通ヲ以テ支給スル義ト心得可シ

○丙號(全縣伺)(十四年七月)

醫師試験規則第七章地方廳ハ每期公立病院長副或ハ管下醫師學術アル者及ヒ理化學士等ヲ撰テ試驗委員トナス可シト有之右ハ公立病院長等ニ試驗委員申付候節ハ別段手當支給ニ不及候得共三里以上ノ地ニアル病院ヨリ試験開場ノ地迄徵招候節ノ旅費滞在日當(試驗委員申付ルトキ呼出ノ旅費等總テ旅費定則第九章ニ據リ)非職無給ノ醫師理化學士等ニ臨檢試驗委員申付候節手當トシテ一日金壹圓五拾錢以内及ヒ旅費滞在日當等旅費規則ニ照據シ本縣經費金ノ内ヲ以テ支給シ可然哉

指令(十四年七月)

公立病院長等滞在日當ハ伺ノ通非職無給ノ者手當ノ義ハ一日壹圓以内ヲ給スヘシ旅費滞在日當及ヒ經費ノ義ハ伺ノ通

証人トシテ呼出ヲ受ケタル警官旅費日當

○千葉縣伺(十五年)

豫審公判ニ付呼出シタル証人等旅費日當其他要求方ノ義治罪法第九十條及刑法附則第四十八條以下ニ明文有之候處司法警察官及巡查等職務上証人トシテ呼出ヲ受ケタル節ノ旅費日當ハ一般證人トモ相異リ候ニ付旅費定則ニ依リ官費支給シ又此場合ニ於テ受ケタル呼出狀送達賃金ハ警察費ヲ以テ支辨候義ト相心得可然哉

指令(十五年四月)

旅費日當ハ伺ノ通呼出狀送達賃金ハ本年司法省丙第十號達同三十二號達ニ依リ之ヲ拂フニ及ハサル義ト心得ヘシ

告發シタル司法警察官ヲ証人トシテ召喚シタル場合旅費日當

○鹿児島縣伺(十六年三月)

第一條 客年六月司法省丙第二十二號御達中告發シタル官吏ヲ証人トシテ公廷ヘ呼出云々トアリ右告發ヲナシタルモノ司法警察官ニシテ裁判所々在ノ地隔絶セル場合ニ於テハ該官旅費日當ハ警察日當ハ警察費ヲ以テ支辨スヘキモノニ候哉將又該呼出タル辯護人ノ請求ニ依リタルトキハ該費用ハ裁判費用トシテ被告人ノ負擔スヘキモノニ候哉

第二條 前條何レノ場合ニ於テモ該旅費日當額ハ其官相當ノ旅費日當可支給モノニ候哉

指令(明治三十四年)

第一條 辯護人ノ請求ニ依ルト否トニ拘ハラヌ警察費ヲ以テ支辨スヘシ

第二條 伺ノ通

送達賃仕拂方

○岡山縣伺(明治三十四年)

治罪法第百二條二項ノ場合ニ於テ巡行巡查被告人ニ對シ氏名住所ヲ問尋スルニ彼ノ審カニ答フルヲ以テ引致ヲ要セス相當官ニ告發ス該官之ニ呼出狀ヲ發セシ處町村ニ被告人名無之全ク身分ヲ詐稱シタル者ニシテ刑法第二百三十一條ノ犯罪發覺ス依テ之ヲ相當官ニ告發セリ然ルニ數月ヲ經ルモ所在分明ナラサルニ依リ呼出狀送達賃錢請求ノ際限無之終ニ使了ノ損失ニ歸シ候テハ營業上トハ申ナカテ少敷穩當ナラサル而已ナラス自然取扱上差間ヲ生シ候場合モ有之候ニ付右等ノ如キハ一旦地方税警察費ヨリ仕拂相立而シテ後被告人就縛審判ノ際警察官ヨリ刑事附帶ノ私訴ヲ起シ被告人ニ請求シ地方税中雜收入ニ受入候様取計可然哉

指令(明治三十四年)

伺ノ通

書類送達賃及付添人旅費日當

○滋賀縣伺(明治三十四年)

第六條 刑法附則第四章裁判費用中ニ書類送達賃錢ノ義掲載無之ニ付テハ違警罪ニ被告告人并ニ証人鑑定人等ノ呼出狀其他書類送達賃錢ハ裁判費用ト爲スヲ得サル義手果シテ然ルトキハ右費用ハ一切警察費ヨリ支辨スヘキ義乎

第七條 重罪輕罪ノ豫審公判又ハ違警罪ノ公判ニ付事實參考ノ爲メ治罪法第百八十二條第一項第二項第三項ノ者ヲ呼出ストキハ其模様ニ依リ付添人ヲ要ス右ノ場合ニ於テハ其付添人ノ旅費日當ヲ請求スルモ付添人ノ旅費日當ハ刑法附則第四章中ニ明文ナキヲ以テ是又九年第六十三號公布ニ依リ裁判所又ハ警察費ヨリ支給可致義乎

第八條 被告人ニ於テ裁判費用ヲ差出スヘキ資力ナキトキハ通常民事ノ規則ニ從ヒ身代限リノ處分ニ付スヘキモノト思考ス然ルニ其處分ヲナスモ尙ホ足ラサルトキハ該費ヲ受取ルヘキ証人鑑定人等ノ迷惑尠ヤカラス此場合ニ於テハ裁判所ヨリ其不足分ヲ支給シ追テ被告人ノ身代持直シヲ待テ徵收スヘキモノ乎又ハ徵集スルニ及ハサル義乎

指令(司法卿)

司法卿(明治三十四年)

第六條 送達ヲ受クル者ヨリ仕拂ハシムヘシ

第七條 付添人ノ旅費等ハ給スヘキモノニアラス

第八條 通常民事身代限ノ處分ト同シク其不足分ヲ裁判所ヨリ支給スヘキモノニ無之候事

刑事上呼出旅費日當及送達賃錢

○兵庫縣伺(廿二月八日)

第二條 司法警察官及巡查ニシテ曾テ爲シタル現行罪犯逮捕訊問檢證處分等ニ依リ裁判官ヨリ證人トシテ呼出ヲ受ケタル節ハ所屬官廳ヨリ通常官等相當旅費日當ヲ支給スル勿論ノ義ニ候得共此場合ニ於テハ更ラニ本人ヨリ治罪法第九十條ニ依リ刑法附則記載ノ日當旅費止泊料ヲ要求セシメ之ヲ受取リタル片ハ雜収入金ニ戻入候義ト相心得可然哉

第三條 司法警察官及巡查ニシテ刑事ノ被告人トナリ裁判官ノ呼出ヲ受ケタルトキ其被告事件ハ職ヲ以テ行フタル現行犯逮捕訊問檢證處分等ニ原因シタルトキト雖モ所屬官廳ニ於テ旅費日當ヲ支給スルノ限ニ無之候義將テ豫審又ハ公判ニ於テ無罪免訴ノ旨渡確定シタルトキハ仍モ通常官等相當旅費日當支給スル義ニ有之候哉

第四條 十四年司法省丁第二十六號達便丁規則改正十五年司法省丁第三十四號達第十一條ニ刑事ニ付テノ送

送賃錢ハ其送達ヲ受クル者ヨリ之ヲ拂フヘントアリ右ハ證人トシテ呼出ヲ受ケタル時ト雖モ其呼出狀ノ送達賃錢ハ呼出ヲ受ケタル者ノ自辨ニ有之候哉若シ償却ヲ受ケルヲ得ヘキモノトスレハ如何ナル手續ニ依リ要償可致筋ニ有之候哉

第五條 前條呼出ヲ受ケタルモノ、自辨ト否トテ問ハス第二條ノ場合ニ於テハ旅費日當同標所屬官廳ニ於テ支辨シ不苦哉若又前條償却ヲ受クルヲ得ヘキモノタルトキハ本人ヨリ要求セシメ之ヲ請取リタル片ハ雜収入金ニ戻入候義ト相心得可然哉

指令(司法卿) 十月十六日

第二條 要求セシムル限ニアラス

第三條 後段伺ノ通

第四條 前段伺ノ通ニ付民事訴訟ノ手續ニ從ヒ被告人ニ係リ要償シ得ヘキモノトス

但官吏ノ職務上ニ係ル場合ハ第五條指令ノ通

第五條 明治十五年司法省丙第十號達ニ依リ報知書ヲ以テ出廷セシムルニ付送達賃錢ハ拂フニ及

○警視廳伺(廿一月一日)

本年五月太政官第六十三號ヲ以テ各裁判所ヨリ呼出シテ請ケ無罪ニ歸スル者等ノ旅費日當支給方
ノ義御布告相成候ニ付テハ當廳ニ於テモ裁判所同様給與方取計可然哉ノ旨本月十七日規第千三百
八十號ヲ以テ相伺候處同廿三日伺ノ通御指令有之右ハ當廳ニ於テ呼出無罪ニ歸スル者本人ハ勿論
証人付添人等ノ旅費日當共一切當廳ニ於テ給與致候義ト相心得可然哉再應相伺候也

指令

書面伺ノ通

○神奈川縣伺(三十三日)

罪囚ノ證人及無罪解放ノ者等旅費日當支給方ノ義本年第六十三號ヲ以テ改正御布告中貳里未滿ノ
地ヨリ呼出セシ者ハ辨當料ヲ給スト有之然ルニ爰ニ本縣外國人居留地ニ於テ彼我ノ人民暴擧ノ節
巡查等ヲシテ之ヲ鎮ムルトモ傷ヲ受ケ終ニ彼我ノ裁判上ニ於テ證人ヲ求ムルニ當リ當日傍觀ヲ爲
セシハ人力車夫等ノ如キ下賤ノ者ト雖モ他ニ無之節ハ呼出テ命スルカ爲メ數日ヲ費シ常業ヲ空シ
細煙身分其窮迫ハ家族等ニ及ヒ實以辨當料ノミニテハ糊口不相立ニ付縱ヒ貳里未滿ノ地ニ居住ス
ル者ト雖モ滯留日當三拾錢ヲ給與可然哉又ハ臨時雇人ト見做シ相當ノ手當ヲ給與可然哉相伺候也

指令

書面呼出ノ爲メ常業ヲ休シ實際生活差支候者ニ限リ一日金貳十五錢以内適宜給與不苦候事

○建築及修繕費

巡查下宿所建設費

○滋賀縣伺(四十七日)

巡查ノ義ハ非常召集ノ都合モ有之且獨身ノ者多ク各自適宜ニ散居爲致置候テハ自然人民ト押渡ノ
弊モ相生シ候ニ付本縣ニ於テハ從前警察民費ヲ以テ民屋ヲ借入レ數十名合居爲致置候次第ニ有之
且月々借家料モ多分相掛リ到底不經濟ノ義ニ付相當ノ家屋モ有之候ハ、漸次買取又ハ新築シ右官
舎ニ相用度尤右費用ノ義ハ地方稅警察費ノ中ヨリ支出シ右官舎縣下人民ノ共有ニ爲シ置キ他日都
合ニヨリ賣却スル等ノ義モ有之候ハ、其代金ハ一般人民ニ割戻シ候見込ニ有之別ニ御差支ノ筋ハ
無之哉

指令(二十五日)

縣會決議ノ上施行スル義ハ昔シカラス

但該官舎ハ人民共有ト爲スモノニ非ス且他日賣却ノ代金モ直ニ地方稅中ニ差繼義ト心得可シ

警察署營繕伺ノ可否

○群馬縣伺(七月三日)

本年太政官第廿九號御達警察署分署建築修繕費本年七月以後國庫下渡金ト地方税ト連帶支辨スヘキ義ト心得可シ旨公達ニ付テハ是迄右建築向經伺ノ上取計來候處豫算額照會決議ノ上ハ其時々不經伺着手年度決算報告濟御届及ヒ可然哉

指令(四月)

伺ノ通

但建築修繕費共本年内務大藏兩省乙第九號達ノ通警察費ニ編入豫算精算共報告スヘキ旨ニ付届出ノ節精算帳ハ添付ニ不及義ト心得ヘシ

官設ノ建物風災ニテ民屋ヲ毀損シタル修繕費

○愛知縣伺(七月三日)

警察署前ニ建設ノ火ノ見階梯暴風ニ依リ接近ノ民屋ヘ倒レ爲ニ該家屋ニ破損ヲ生シ候處右修繕ノ義ハ汜テ警察費ヨリ致支給可然モノト存候得共例規外ノ事項ニ付此段相伺候

指令(七月三日)

天災ニ罹リタル破損所修繕費ハ支給スルニ不及義ト心得ヘシ

協議費ヲ以テ警察分署營繕出願

○青森縣伺(五月二十八日)

町村協議費ヲ以テ警察署分署ヲ營繕セント出願スルトキハ許可シテ然ルヘキ哉果シテ然ラハ地方税ヲ減少スルノ篤志ニ出ルモノニ付該町村人民ニ對シ相當賞與可取計哉又ハ其町村保護ノ報恩ノ意ニ出ルモノト見做シ本年貴省乙第廿二號ニ照準シ取計其家作ハ町村共有物ト心得ヘキ哉

指令(六月十七日)

町村協議費ヲ以テ警察署分署恰當ノ家屋ヲ營繕シ無代ヲ以テ該地ノ署用ニ供セント出願スルトキハ開届不苦候得共在來官有ノ建物ヘ協議費ヲ以テ營繕スルコトハ不相成義ト可心得

但前項署用ニ供スル家屋ハ町村共有物ト可心得且本文ノ如キ寄附ト異ナルモノハ賞與スル限ニアラス

揭示場等新築費再請求

○廣島縣伺(七月三日)

當縣尾道警察署所轄上下分署揭示場新築ノ義 明治十二年三月伺同年五月ニ基キ夫々工事取計落成ノ際右受負ノ内金二十六圓六十七錢該分署ヘ送致候處同所在勤ノ巡查某盜取候ニ付テハ告訴ノ末

處斷濟ニ候處賍金ハ既ニ費用シ同人ノレテ償フヘキ資力無之段裁判官ヨリ通報有之候ニ付不取敢
該金豫備金ヨリ繰替下渡置候間該費別途御下附相成度此段相伺候

指令(十五年四月二十一日)

十四年度其縣經費中ヲ以テ支辨スヘシ

參照

本省伺(十五年三月五日)

廣島縣上下警察分署揭示場及外國木柵新築費十一年度ニ屬スル分ノ内盜難ニ罹リタル金二
十六圓六十七錢御下付方客年一月十八日庶警第一〇八五號ヲ以テ稟請ノ末同年二月十九日
付ヲ以テ十三年度其縣經費中ヨリ支辨可爲致旨御指令相成然ルニ其後取調ノ都合有之該縣
へ指令未済ノ處既ニ十三年度出納閉鎖ニ付前書ノ金額ハ十四年度經費中ヨリ支辨セシメ候
様致度此段再應相伺候

指令(十五年四月一日)

聞届候

分署新築寄附ニ付舊建築寄附者へ下渡

○埼玉縣(十五年三月二日)

當管下北足立郡鳩ヶ谷町警察分署ノ義明治十三年十一月人民寄附シ爾後使用來候處昨十五年警察
ノ組織ヲ改正シ在來ノ家屋ニテハ狹隘而已ナラス破損ノ箇所モ不少ニ依リ建築セントスル折柄所
轉内ノ町村人民共協働ノ上釀金ヲ以テ新築建物寄附致シ度情願ニ依リ嚮キニ聽許候處不日落成ニ
付該署ニ移轉相成候上ハ舊分署ヲ賣却其代價ヲ新築費ニ補充致度趣ヲ以テ舊建物下渡ノ義願出候
固ト不用ニ屬スル建物ハ伺ノ上投票拂下其代金ハ地方稅雜收入ニ納ムヘキハ當然ニ有之候得共右
ハ已ニ新築釀金ノ情誼モ有之候間舊建築ハ新築出願者へ下渡シ致シ度此段相伺候
但從來ノ家屋建坪七坪五合ニテ地所ハ民有地ニ有之候此段副申候

指令(十五年三月二日)

聞届候事

○欠損及賠償金

領置中ノ金品盜難ニ係リタル處分方

○大阪府伺(十四年四月五日)

當府巡查某在職中別紙宣告書寫ノ通明治十三年五月以降同署へ領置シ警察病院へ送付スヘキ金五

圓十一錢 此ハ病患巡査入院料ニシテ該病者ノ 巡邏船修繕料五圓八十貳錢五厘 此ハ地方稅警察費
 巡査某へ下賜金三圓六十錢 納スヘキ金有之扣除領置中 此ハ某へ下付スヘキ旅費ノ内同人選 合金十一圓五十三錢五厘盜取リ明
 治十四年二月處刑相成大阪裁判所ヨリ回送候本犯資力公賣代金三十錢有之候處本件ハ本年三月司
 法省丙第六號御達以前ニ候得共資力金ハ右三種ニ對シ相當分配ノ未不足ノ金十一圓二十三錢五厘
 ハ一切官ヨリ辨償相成候筋ニ候哉果シテ然ラハ該金員ハ別途御下渡可相成哉

指令(大藏卿) 十四年
 六月廿日

巡査入院料ハ官ニ於テ取扱フヘキモノコ無之ヲ以テ別途下付アル限リニアラス其他二項ノ金額ハ
 警察地方費ノ損失ニ相立候議ト可心得事

但某ヨリ官納金ハ警察費へ納入スヘキモノ且全人へ下賜金三圓六十錢トアルハ六十錢ノ誤寫ト
 見認メ及指令候事

盜難ニ罹リタル贓金等ノ辨償金

○福井縣伺(十四年)

本年三月司法省丙第六號達岩手縣伺指令ニ因レハ竊盜等ノ贓金及罪囚ノ所持金ヲ官廳ニテ領置中
 盜難ニ罹リタルトキハ官ヨリ之ヲ辨償スヘキ旨掲載有之然ラハ各警察署詰ノ警部ノ失錯上ニ出テ

候節ハ警部諸費決定額ノ外別途請求方申出巡査以下ノ失錯ニ係ル者ハ地方稅警察費雜費中ヨリ支
 辨スヘキ義ニ候哉

指令(一月二十五日)

贓金等官ニ領置中盜難ニ罹リタル辨償金ハ渾テ國庫ヨリ別途被下渡儀ト心得可シ但シ強盜ニテ防
 禦ノ力及ハサルモノハ辨償スル限リニアラス

盜難ヲ再盜セラレシ者官償

○廣島縣伺(十四年)

財ヲ盜テ寺堂内ニ隠シ置クモノアリ堂守之ヲ發見シ事主ニ報告ス主事之ヲ分署ニ訴ヘ巡査出張取
 調タルニ事主ノ被盜品ヲルコ判然セリ爰ニ於テ巡査ハ盜犯ノ再來ヲ待チ捕獲セント欲シ故ヲ贓
 品ヲ其場ニ差置カレシテ而シテ看察ヲ怠リシヲ以テ該品ハ再ヒ盜ミ去ラレタリ右ハ畢竟巡査ノ失誤
 ヨリ事主ノ損害ヲ生シタル義ニ付主任巡査ハ相當懲罰ノ上其損害ハ官償可相成哉

指令(一月二十五日)

伺ノ通

但該官償金ハ別途下渡相成ル議ト心得ヘシ

拐帶セラレシ官金

○初水縣伺(十四年八月)

當縣巡查某儀去ル十月十七日宇都宮警察署ヨリ雀ノ宮分署へ遞送スル巡查月給金四十七圓ヲ領收シ其儘逃走セシニ付八方搜索スルモ今ニ其蹤跡ヲ得ス就テハ該金員別途御下ケ渡相成候哉將警察費ハ國庫下渡金地方稅連帶支辨ナルヲ以テ右等ノ如キハ更ニ地方稅ヨリ徵收スヘキ義ニ候哉

指令(十五年三月八日)

警察費ヨリ支辨シ年度尾ニ至リ若シ補充ヲ要スル場合ニ於テハ其步係リニ係ル國庫下渡金ハ更ニ請求スヘキ筋ト心得ヘシ

廢造紙幣發見處分方

○鹿兒島縣伺(十四年六月)

第一條 警察署又ハ分署ニ於テ金錢直取扱爲致別ニ鑑定人等設置無之場合ニ於テ警部階費小札交換並違警罪科料金徵收金等ノ内萬一廢造紙幣ナルコトヲ發覺スルキハ其事由ヲ具シ官金棄捐ノ義伺出ヘキ義ト心得可然哉

第二條 前條ノ場合ニ於テ警察費(地方稅國庫下渡金連帶ナル支辨ニ係ル者)并ハ地方稅雜出ヨリ

支辨致シ可然哉

指令(十四年七月)

兩條共伺ノ通

但國庫下渡金ニ係ル棄捐ハ其時々具申スヘシ

欠損金精算

○茨城縣伺(十四年三月)

地方稅豫算精算書式ノ義ハ客年御省乙第七十二號ヲ以テ御達相成水火盜難等ニ罹リ全ク欠損ニ至リシモノハ雜出科目ヲ設ケ精算スル順序ニ候處茲ニ警察費ノ欠損ニ罹ルモノ有之右ハ欠損高十三分ノ三ニ國庫金ヨリ支辨シ雜出ノ科目ヲ以テ精算致シ可然哉

指令(十四年四月)

欠損金精算方ハ雜出ノ科目内譯ニ地方稅ト國庫金トヲ朱記スル義ト心得ヘシ

但該費ノ欠損ニ係ルモノハ其事實ヲ具シ更ニ伺出ヘシ

燒失ニ罹リタル金員下付方

○岩手縣伺(十四年三月)

本年二月廿日管内森岡警察署出火ノ際焼失ニ罹リタル金貨別紙明細調書ノ通りニ有之該火災ニ付テハ其當時不取敢電報ヲ以テ及御届候處然ルニ右頗末夫々關係ノ者取調フルニ其發火セシ原因ハ詳カナラサレモ署ニ階ヨリ發火シ當宿巡查小使等其出火ヲ知リタルハ既ニ階上ニ火焰充滿シ入ルニ能ハス殊ニ折衝西北ノ烈風コレヲ如何共消防ノ術ナク忽チ署舎全燒ノミナラス遂ニ類焼六十余戸ニ及ヒタル次第ニテ該金ノ如キハ右ニ階事務所金器ニ入置タルナレハ勿論持退ル能ハス其他諸簿書類器物等悉ク灰燼ニ屬シタル事實相違無之義ト認メ候就テハ十五年度ニ屬スル欠損金トシテ前記ノ通別途御下付有之度此段上申候

指令(明治十七年)

警察費燒失金下附ノ義ハ難開届候條該費ノ損失拂ニ可相立候事

但警察費ハ雜件ノ小科目ヲ設ケ編入ノ上流用報告方成規ノ通り取計可申地方費ニ補充セシ金額ニ對スル國庫金ハ下付候義ト心得ヘシ

參照

全縣伺(明治十七年)

明治十五年度警察部給與ノ内燒失ニ罹リタル金三圓四十錢客歲十一月廿四日付ヲ以テ上申

候通り別途御下付ヲ仰クノ積リニテ差引最法增加上申額ヨリ超過年金二百四十七圓八十二錢一厘ハ十六年度定額ヲ以支給シ雜件ノ小科目ヲ設ケ勘定組ノ義客月十八日付ヲ以テ及上申候處右燒失金下附ノ義ハ難開届候條該費ノ損失拂ニ可相立但警察部費ハ雜件ノ小科目ヲ設ケ編入ノ上流用報告方成規ノ通取計可申地方費ニ補充セシ金額ニ對スル國庫金ハ下附候義ト可心得旨本年二月十二日付ヲ以テ今般御指令相成然ルニ地方稅ト連帶支辨スヘキ國庫金ハ十五年度ニ於テ殘余有之ニ付右御下付ノ分ニ流用ノ義別ニ及上申候ニ共警部給與ニ在テハ前顯ノ如キ超過セシ義ニ候ヘハ燒失ニ罹リタル前記ノ金員客月十八日付上申ノ分ト共ニ十六年度定額ノ内ヲ以テ支辨シ雜件ノ小科目ヲ設ケ決算相立候標致度候

指令(明治十七年)

上申ノ趣開届該燒失金三圓四十錢ハ本年度警部給與中雜件ノ小科目ヲ設ケ支給可致事

但科目流用セシ金額ハ更ニ報告スヘシ

○本省伺(明治十七年)

本月七日乾警甲第四五號ヲ以テ岩手縣十五年度警部給與連帶超過金十六年度ニ於テ雜件ノ小科目ヲ設ケ爲支拂度旨及稟申置候處尙今般別紙寫ノ通申出該燒失セシ金ノ義ニ付テハ客年十二月廿四

日乾警甲第二二五號伺ニ對シ本年一月廿八日御指令ノ趣モ有之實際無余儀次第ニ付該金三圓四十錢ハ本年度ニ於テ雜件トシテ爲支拂度此段稟申候

追テ本件ノ如キ年度後ノ支出金ニシテ該相當年度ノ据置定額内ヲ以テ支辨セシムルモノハ今後當省限リ處分候様致度此段併テ相伺候

指令(五月十七日)

聞届候

領置中ノ金圓監守者竊取

○千葉縣伺(五月十六日)

明治十二年四月四日當縣上總國夷隅郡日在村海岸ニ死鯨漂着シタルヲ該村人民拾取リ所管大喜多警察署中魚落郷分署ニ届出タル處當時該分署ニ於テ之ヲ漂流物取扱規則ニ照シ金百八十圓廿三錢二厘ニ公賣シ内金三十二圓六十一錢ヲ引揚費ニ支辨シ其殘金百四十七圓七十二錢二厘ヲ折半シ該半額金七十三圓八十六錢一厘ハ當時拾取人共ニ下付シ殘半額金七十三圓八十六錢一厘ヲ右中魚落郷分署長當縣元巡查某ニ於テ職權ヲ以テ領收シ監守中該金員ヲ竊取シタル義發覺本年四月三十日某ハ千葉縣罪裁判所ニ於テ受刑相成候處全人ハ赤貧ニシテ身代限ヲ差出シタルモ支辨スヘキ資

力毫モ無之候間其竊取消費シタル金額ハ官ニ於テ辨償拾取人ニ下付スヘキ筋ト存候就テハ右金額ハ別途國庫ヨリ御下渡可相成候

指令(五月十八日)

伺ノ趣聞届金七拾三圓八十六錢一厘本年度其縣經費雜件増費トシテ別途下渡候條受取方大藏省ニ申出ヘシ

遺失金欠損拂

○茨城縣伺(五月十四日)

縣下々妻警察署ヨリ所屬水海道分署ニ本年一月分警察費トシテ金百八圓四拾一錢六厘仮渡ノ分該分署ニ於テ精算シ金百四圓拾六錢二厘ニ對スル支拂證書及前書過剩金其他ノ書類ヲ取束テ一對トシテ別ニ巡查給與ノ外巻引換ノ分ト共ニ一月三十一日豊田郡水海道驛平民某ヲ脚夫ニ雇入送致スル途中同郡三坂村ヨリ大房村迄ノ間ニ於テ前書金員在中ノ封書ヲ遺失セシ趣申出ルニ付爾後夫々搜索候ヘ共今干不見當且ツ脚夫ノ舉動詳細探偵ヲ遂クルニ全ク過失ニヨリ遺失セシモノニ相違無之ヲ以テ欠損拂ニ相立可然哉

指令(大藏卿) 五月十七日 逃署

該費ノ欠損ニ相立ヘシ

警察費盜難損失抑

○神奈川縣伺(十七年)

本縣元雇某義積須賀警察署會計事務取扱中竊取シタル十五年度警察官費金拾七圓九拾九錢八厘別途御下金ノ義二月廿一日警甲第三三號ヲ以テ相伺候處御聞届難相成旨全月廿七日御指令ニ有之就テハ十五年度ニ於テ欠損拂ニ相立決算相違ケ申度然ルニ該年度ノ義ハ定額不定ニシテ實費支辨方ニ差支翌年度ヨリ繰越シ御下付ノ義相伺置候次第ニ付尙又前書ノ金員十六年度警察費雜給ノ内ヨリ繰上ケ御渡相成度此段相伺候

指令(十七年五月二十六日)

金額繰上ノ義ハ難聞届候條十六年度警部給ノ内ニ於テ雜件ノ小科目ヲ設ケ損失拂ニ可相立事

但科目流用ノ義ハ成規ノ通報告スヘシ

警部諸費ノ内乘捐

○鳥取縣伺(十七年)

十五年度警部諸費ノ内金貳拾圓七厘看守自盜ニ係リ本人ハ糾問中ニ付同年度ニ於テ拂捨ノ義本年

二月廿二日付電報ヲ以テ相伺候處該金ハ十六年度ハ繰越シ犯罪人處分ノ上同年度ニ於テ何分ノ義

更ニ可伺出旨同廿五日付電報ヲ以テ御指令ノ趣致承右ハ重罪犯ニテ即今處分未済ニ有之該金ハ當

時鳥取始審裁判所米子支廳へ倍償返還ノ義要求中ニ候得共元來赤貧ノ者ニテ到底返還ノ見込無之

處十六年度決算モ差迫リ候義ニ付前額金額ハ十六年度ニ於テ乘捐ノ義御詮議相成度若シ返還スル

片ハ年度雜收入へ編入ノ積リヲ以テ此段相伺候

指令(十七年五月廿五日)

聞届該金貳拾圓七厘雜件ノ科目ヲ設棄捐ニ相立ヘシ

但科目流用ノ儀ハ更ニ報告スヘシ

拘留人所持品毀損ノ賠償

○青森縣伺(十七年)

當縣拘留人ヨリ取立置追テ還付スヘキ物品ヲ火燒セシ件ニ付處分方ノ義ニ付本年九月十八日付相伺候處實際ノ手續ヲ以テ更ニ可伺出旨十一月二日御指令ニ據リ取調候處其火燒ニ係ルノ原因ハ小使ノ不注意ニ起ルト雖モ其節當直ノ守卒ニ於テモ其責免レ難キニ付右兩人ハ懲戒例ニ據リ處分シ燒損セシ物品ハ囚獄ヲ以テ購求被損者へ還付シ可然裁別紙手續書相添此段相伺候

指令(十四日)

直接ニ損害ヲ與ヘタルモノヨリ賠償セシムヘシ

盜賊捕獲ノ際毀損ノ物品賠償ノ可否

○熊本縣伺(十四日)

一 強竊盜犯人捕縛ノ際田畑園圃等植物アル箇所ヲ踏潰シ爲メニ其收獲ヲ失シ該所有王ヨリ右損害
代價ヲ請求スルトキハ警察費ヨリ支拂可然哉

一 右同斷ノ節人家並建具其他諸器物等ヲ毀損セントキモ前同様相心得可然哉

指令(十四日)

兩項共損失ヲ償フニ及ハサル義ト心得ヘシ

賠償處分方

○栃木縣伺(十四日)

拒捕ノ賊或ハ醉狂人ノ爲メニ警察署器具及巡査被服等破毀セラレタル賠償金ハ素ヨリ償金ナルヲ
以警察年度ノ警察費ヘ差繼クヘキ哉又ハ本年四月乙第十八號御省御達巡査懲罰金其他處分ノ例ニ
依リ地方稅雜收入ニ編入シ可然哉

指令(十四日)

地方稅雜收入ニ編入シ一般ノ地方費ニ支出スヘシ

警察費並巡査積金懲罰金盜難ニ罹リタル處分方

○京都府伺(十四日)

一金百五拾貳圓六拾錢

十三年度地方警察費中
巡査俸給十三年九月分

右ハ明治十三年九月廿日夜管下木津警察署ニ於テ盜難ニ罹リタル旨届出候處未タ本犯就縛不致
然ル處十三年度地方稅収支決算ノ義ハ期節切迫ニ付此際處分方相伺候義ニ付該金額ハ十三年度
地方稅取扱費中ニ組込事由内譯ニ記載可致哉

一金三百三圓貳拾貳錢

十四年度警察費並巡
査積立金同懲罰金

内

金百四拾四圓七拾五錢三厘

巡査積立金被盜高官損トシテ別途下渡相成

金貳圓

巡査懲罰金

金百五拾六圓四拾七錢四厘

十四年度警察費

是ハ明治十四年九月十九日夜管下々京警察署ニ於テ盜難ニ罹リタル旨届出候處未タ本犯就縛不致候

右盜難金ハ當時嚴密探偵中ニ候得共支辨方目下差支候間書面ノ通處分方相伺候條何分御指令相成度且巡查積立金ノ儀ハ一旦本人共ニ支給濟ノ俸給中ヨリ更ニ領置シタルモノ素ヨリ地方稅トハ性質ヲ異ニスルヲ以テ地方費中ヨリ支辨可致理由モ無之去迎小給ノ者共ニ付預ケ人ノ損失ニ歸セシムルモ實際際然ノ次第ニ付特別ノ御詮議ヲ以テ別途御下渡相成度此段相伺候

指令(大藏省) 四月二十四日

巡查積立金百四拾四圓七拾五錢三厘ハ十四年度該府經費雜件増費トシテ大藏省ヨリ下附スヘシ警察費巡查懲罰金ハ各其課目ニ付シ損失ニ立ツ可シ但シ懲罰金ハ地方稅報告書ニ編入ニ及ハス

人民ヨリ引揚品領置中紛失償却方

○京都府伺(十五年) 七月十八日

當府下平民山本源七ナル者滋賀縣下平民澤田彌三郎ヨリ蠅蠅傘二十四本詐取セラレタル旨下京警

察署ニ告訴ニ及ヒ右取調ノ末該品相添檢事ニ及證告タル處審問不盡ヨリ罪ト爲ル可キ證左ヲ舉ケヌ到底刑事ニ觸ル、モノニ無之見込ヲ以テ被告人解放ノ上尙蠅蠅傘ハ同署ニ差戻シ來リ就テハ其品ニ於ル全ク贓品ト開フヘカラサルヲ以テ事主ニ返還セントスルニ際シ該品數ノ中一本不定セシニ據リ主管者取調フルニ受授ノ疎漏ナルヨリ判然不致去迎紛失品ニ於ル代金ヲ以テ事主ニ辨償セサルヲ得サルモノナレハ之ヲ主管者ヨリ償ハシムヘキ乎又ハ主管者ニ相當懲罰ニ處シ官之ヲ償却シテ可然乎

指令(十五年) 八月十四日

後段伺ノ通

但該金額ハ別途下渡スヘクニ付請取方更ニ申立ヘシ

領置中紛失金辨償方

○千葉縣伺(十六年) 六月二十日

管下々總國下菟生郡山ノ作村平民石川庄右衛門外貳名犯罪有之明治十二年十一月中佐倉警察署成田分署ニ拘引ノ節所持金品共同署ニ引上取調中右庄右衛門義病氣ニ罹リ親戚ニ責付共犯貳名ハ其筋ニ護送シ然レ前書庄右衛門責付中逃亡處々潛伏罷在明治十四年九月中再同分署ニ拘引其ノ上取

調其後處刑濟同年十二月ニ至リ滿期放免相成候ニ付當時引上相成居候所持金品共下付度旨頃日申出候ニ付爲取調候處右金品等一切無之然レモ本件場所書ニ所持金品ハ當署ニ署ナリ殘置云々ト附箋ニ記載有之且認印倉持トアルヲ以テ觀レハ該件ハ元巡査倉持ノ取扱ニシテ右金品同署へ引上テルハ判然候ニ付實際手續取調方高知縣へ同人轉任及照會候處右倉持某義ハ過般病死候ニ付難取調旨回答有之候就テハ此等取調ノ途無之右ハ該金品ノ義ハ石川庄右衛門迹亡中明治十二年ヨリ同十四年迄三ヶ年間領置中紛夫シタルモノト被存候條辨償金四圓五拾七錢六厘別途御下渡相成度紛失金品仕譯書相添此段及上申候

指令(廿九日)

警面ノ趣聞届金額十六年度雜件増費トシテ下渡候條受取方大藏省へ可申出事

盜難返還金支辨方

○山形縣伺(廿七日)

十四年度警部給與ノ内盜難金被告人ヨリ返還ノ分十五年度ノ費用ニ充用ノ義客年六月廿六日付ヲ以テ相伺候處補充ノ金額ハ十五年度警部雜給へ編入可致旨御指令ニ依リ夫々計算相立去六日付ヲ以テ殘額届及洗用報告差出候處今般形警甲第二三八號ヲ以テ警部雜給へ編入ニ及ス定額へ戻入差

繼拂ニ可相立義ト心得ヘク旨御達有之右定額へ戻入トハ十四年度ニ於テハ雜件ノ小科目ヲ設ケ決算相濟候金員ニ付假令本人ヨリ返還相成候共十五年度警部雜給へ編入セス一時假體致シ置而シテ十五年度定額費(俸給雜給ニ不拘)支拂ノ節差繼支辨スル義ニ候哉

指令(廿七日)

仮請セス該年度へ戻入差繼支辨スル義ト心得ヘシ

領置中紛失ニ係ル物品代價官償

○栃木縣伺(廿七日)

得遺失物並犯罪ノ証據トシテ當縣警察署へ領置セシ物品ノ内別紙明細書ノ通盜難及紛失ニ罹リ候ニ付各主務者ハ夫々相當處分ノ見込ニ有之候得共給付並下戻スヘキ期限既ニ經過シ差掛下付方差支候ニ付官償相成候様致度此段上申候

指令(大藏卿) (廿七日)

特別ヲ以テ開届元兵卒某拾得品ニ係ル金貳拾錢一厘共合計金貳拾貳圓大拾錢九厘本年度其縣經費雜件増費トシテ大藏省出納局ヨリ可下渡候事

監守盜ノ金員追徵差繼方

○島根縣伺(七月二十五日)

管内益田警察署會計主務者元准等外御用掛某備去々十三年四月以降該署需用ノ物品(筆墨紙油炭ノ類)買ヒ代價ヲ其正數ヨリ過當ニ帳簿上へ記入シ其差金ヲ詐取セシヲ全十四年五月ニ至リ始テ發覺セシニヨリ直ニ其職務ヲ免シ引續本人取調候處去々十三年四月ヨリ全十四年五月中迄ニ前陳ノ所爲ヲ以テ詐取セシ金額三拾六圓九拾三錢四厘ニ有之依テ一件取纏ノ上該警察署ヨリ元松江裁判所濱田支廳へ及公訴候處本年二月廿二日ニ至リ濱田輕罪裁判所ニ於テ舊法賊盜律監守自盜條ニヨリ懲役一年ニ處スル旨言渡而テ詐取ノ金員ハ擧テ追徴ノ上益田警察署へ回付有之候然レ處該金員ハ即飛ニ某カ不正ノ所爲ヲ以該警察署經費支出ニ立己ニ精算結末ヲ了シタルモノニ付追般追徴ノ上ハ其儘翌年ノ收入ニ差繼クヘキ都合ニ候處此金質タル固ト警察署ノ經費ニシテ地方稅國庫下渡金連帶ニ係ルヲ以テ其收入モ亦全上連帶ノ警察費へ差繼候筋ト相心得可然哉

指令(八月二十五日)

追徴ノ金額ハ渾テ地方稅雜收入トシ全稅一般ノ費途へ支拂フヘシ

港渡價費取立ノ節警邏船出錢

○愛媛縣伺(十月十六日)

許可ノ上人民私費ヲ以テ港渡シ其費用ヲ償却セシ爲メ出入船舶ヨリ相當價費取立候際ハ水上警察巡邏船ノ如キモ一般商船同様價費可相拂義ニ有之候哉將右ハ渡津橋梁同様支拂フニ及ハス候哉

指令(十一月八日)

後段伺ノ通

郵便稅並運搬費區分

○三重縣伺(十月二十六日)

當廳ヨリ諸方へ發送スル文書ノ郵便稅物品ノ運搬費ハ各其事務ニ寄リ仮令ハ本廳々費國稅徵收費史誌編纂費地籍編纂費等ノ如キ各其費途ノ區分ヲ存シ支辨候ニ付テハ警察事務ニ係ル該費ハ警察費本廳々費ノ内軌レヨリ支辨シ可然哉

指令(大藏卿)

地方費中警察費ヨリ支辨スル義ト心得ヘシ

金庫番人及護衛之巡查費

○新潟縣伺(十一月十六日)

當縣經費其他官金取扱ノ義ハ第四國立銀行へ命令致置候得共自然預ケ金抵當額ニ超過候モ差向増

抵當差出候場合ニ不至節ハ該金員本廳へ爲差出主務ノ官吏之レヲ封鎖シ更ニ同銀行へ保護預ケ致
來候處去ル十四年十一月十六日電報ヲ以テ御達ノ旨モ有之候ニ付同十二月一日其事由及ヒ追テ金
庫建築迄從前ノ通保護預ケ御間置ノ義上申候處同月十三日實際無余儀次第ニ付開設候旨御指令有
之候處先般縣會ノ議決ヲ經縣廳構内へ金庫建築ニ着手候ニ付不日落成ノ上ハ抵當額超過ノ金員ハ
本廳へ引上ケ金庫ニ收メ保護可致付テハ番術ヲ要スル儀ニ候得共右雇給料及賄料其他ノ雜費ハ廳
費ヲ以テ支出シ可然哉又時宜ニ依リ巡查テシテ護衛セシムルモ賄料及諸雜費是又廳費ヲ以テ支辨
候テ可然哉

指令(大藏卿) (十一月廿三日)
(連署) (十一月廿三日)

前段伺ノ通後段巡查ヲシテ護衛セシムル場合ニ於テハ右支給ニ係ル費用ハ警察費ヲ以テ仕拂置追
テ廳費ヨリ拂戻シ候義ト心得ヘシ

犯罪人寫眞復寫料

○茨城縣伺(十一月廿二日)

人命及強竊盜等ノ犯跡分明ナルヲ以テ警察署ニ拘當中逃走スル者アリ一時留置シタル物品ノ中本
犯ノ寫眞有カ若ハ他ニ其寫眞アルヲ發見セシ如キ場合ニ於テ之ヲ復寫シ各所ニ配布セハ充分探偵

ノ便ヲ得ヘキヲ以テ其復寫必要ナリト認ムトキハ寫眞師ヲ雇ヒ上ケヘキ義ト相考候得共開械其他
ニ不便アルヲ以テ便利ノ爲メ別段之ヲ雇上ケヌ寫眞師ノ居宅ニ於テ復寫セシムル寫眞代價ノ如キ
ハ其賃雇給ニ屬スヘキヲ以テ警察諸雇給ノ中ヨリ仕拂ヒ可然哉

指令(十一月廿四日)

警察廳費中雜費ヨリ支拂義ト心得ヘシ

賞與金費途

○佐賀縣伺(十一月廿二日)

看守押丁ノ未己決囚逃拒捕ノ場合ニ於テスル者ハ地方税監獄費中ヨリ支辨候テ可然哉又ハ一般人
民ニ準シ本廳恩賜費ヨリ可仕拂哉

指令(十一月廿五日)

職務上ニ關スルモノハ前段伺ノ通

但施行ノ都度狀ヲ具シ伺出ヘシ

居留地取締費ノ内警察本署經費へ分割

○神奈川縣伺(十一月廿二日)

本縣外國人居留地取締ニ屬スル費用地方稅警察費ト連帶支辨ノ處十六年以降分裂セル外國人居留地取締費トシテ從前ノ金額四萬五千圓下ケ渡スヘク云々本年三月廿二日電信御達有之候處本年度ノ議ハ既ニ豫算ヲ草定シ縣會ニ下附シタルヲ以テ從前ノ通執行御聞届ケ相成候得共十七年度ノハ右御達ニ依リ實施可致等ニ有之候然ルニ該費途ノ議ハ地方警察費ト連帶ノ支辨ヲ裂キ全ク經濟ヲ異ニスルモ警察本署ニ於テ管内一般ノ警察事業ヲ統括調理スル義ニ候得ハ即チ本署ノ經費ニ係ルモノハ地方警察費ト居留地取締費トヲ以テ連帶支辨スヘキハ理ノ應ニ當然ナルヘキ者ト思考致候然レモ居留地取締費ハ純然タル國庫費ナルヲ以テ其割合方法等ノ如キハ縣會ノ議定スヘキ性質ノモノニ非ラサルハ勿論縣廳ニ於テ指定スルモ亦穩當ヲ得サル次第ニ有之依テハ定額金四萬五千圓ノ内ヲ分割シテ本署ノ經費ニ該ルヘキ相當割合ヲ定メテ地方警察費連帶支辨費トシテ御下ケ金ノ義更ニ御達相成候様致度此段上申候

達(大藏卿)(二十七號)
連(巡警)(二十七號)

客歲十一月廿二日本署甲第一〇八六五號ヲ以テ外國人居留地取締費ノ内ヨリ警察本署經費ハ分割方内務卿へ上申ノ趣有之候處右ハ分割ニ不及候條本署費用ハ渾テ地方費ニ屬スル警察費ヲ以テ支辨スル義ト心得ヘシ此旨相達候事

居留地取締費財產分裂

○神奈川縣伺(二十七號)

本縣外國人居留地取締ニ屬スル費用地方警察費ト連帶支辨ノ處之レヲ分裂シテ外國人居留地取締費トシテ御下渡云々御達ニ基キ來ル十七年度以降實施可致等ニ有之就テハ從來地方稅連帶費ヨリ成立タル土地家屋諸物品及巡査給與品等ノ類ハ現在使用ノ儘分裂スル義ト相心得可然哉

指令(二十七號)

伺ノ通

現金遞送費支出方

○長崎縣伺(二十七號)

客歲十一月廿七日付會第七百六十號ヲ以テ各警察署又ハ分署諸警部一身上ニ係ル俸給雜給遞送費支出方ノ儀ニ付相伺候處全年十二月十八日付ヲ以テ地方警察費ヨリ支拂候義ト心得ヘシ旨御指令ノ趣取承仕候右ハ現金遞送ノ義會計課ノ事務ニ屬シ會計主務ヲシテ直接爲致取扱候モ右遞送費ノ義ハ矢張地方警察費ヨリ支辨スヘキ義ニ候哉費途ノ性質上聊カ不穩當ノ様被存候ニ付此段尙又相伺候

指令(三十七年)

會計課ノ事務ニ屬セシメシ上ハ縣廳費ノ支辨ト心得ヘシ

参照

○同縣伺(三十七年)

警部一身上ニ係ル月給其他ノ費途金各署分署等ニ郵便爲替若クハ通郵便等ヲ以テ送致セシトキ其送致手数料ハ警部難給ノ内ヲ以テ支辨シ諸手数料ノ一科目ヲ設ケ勘定整理可然ト被存候得共爲念此段相伺候

○指令(三十七年)

地方警察費ヨリ支拂義ト心得ヘシ

○宮崎縣伺(三十七年)

十五年度警部費及ヒ招魂社費引繼金鹿兒島縣ヨリ送付セシモ未ダ到達セズ閉鎖ノ際途中ニテ經過セリ右受入整理方直ク御指揮ヲ乞

指令(大藏卿)

都テ十六年度へ受入整理スヘシ

警部官印彫刻費

○岩手縣問合(三十七年)

警部ノ官印彫刻費ハ警察廳費ヨリ支辨シ可然哉

本局回答(三十七年)

御問合ノ通

毆打創傷者療養等ノ費途

○静岡縣伺(三十七年)

第一條茲ニ甲府縣下ニ原籍アリテ乙府縣下ニ寄留ノ者丙府縣下ニ旅行又ハ寄留中毆打シテ互ニ傷創シタル被告人ヲ見認メ警察官吏ハ治罪法ノ規則ニ從ヒ檢査ニ屬スル處分ヲ爲シ引續キ醫療ヲ加ヘ全癒シタルモ其負傷者ハ既ニ所持金欠乏シ剩ヘ最近ニ親戚故舊モ無之ヲ以テ醫療中ニ屬スル費用即チ療治料藥價及食料等ヲ支拂フテ得サル者アリ右ハ素ヨリ本人ノ資力ヲ限リ支辨スルモノ、如シト雖モ抑モ其初メニ警察官吏カ臨檢スルニ當リ醫師ヲ招喚シテ診斷セシムルモ創傷ノ爲メ訊問ヲナスコト能ハサルヲ以テ續テ之ヲ入院メハ止宿セシメ治療セシムルハ其被害事件ヲ審問スルノ要旨ニシテ欠ク可ラサル處分ト云フヘシ然ルニ幸ニシテ治療スルノ后本人ノ資力ナシハ醫師藥

○内務ノ部

欠損及賠償金

六百三十三

又ハ止宿王ノ損失ニ歸セシムルハ甚ク其當ヲ得サル而已ナラス將來官署ノ招喚及指示スル場合ニ差響キ至難ノ義ト考量セリ仍テ右等ノ場合ハ甲乙府縣ノ内本人ノ親戚又ハ故舊等ヨリ徵收シテ下付スルカ若シ能ハサルハ一時丙府縣ノ其町村ヨリ立替置キ本人原籍町村ヨリ廻送ヲ受クル義ト相心得可然哉

第二條 果シテ前條ノ通取扱可然者トセハ本人ノ資力ナク又親戚故舊ヨリ代納スル者モ無之ハ結局原籍府縣府縣地方稅中教育費ヨリ支辨シ若シ本人無籍ナルハ現ニ事實ヲ詳悉シタル地方則チ丙府縣ノ教育費ヨリ支辨候義ト相心得可然哉

指令(明治三十四年四月三十日)

兩條共伺ノ通

但現場ニ於テ一時救護ノ手當ヲ爲シタルモノハ警察費ヲ以テ支辨スル義ト心得ヘシ

逃警犯人引致ノ際雇入駕籠賃

○沖繩縣伺(明治三十四年)

熊本鎮臺本縣分遣隊兵卒逃警犯ノ雇アリテ警察本署ヘ引致ノ際熟醉ノ爲歩行難相成依テ駕籠雇入引致致候處右駕籠賃ハ警察署ヨリ支拂可然ヤ將來他ノ該犯人同様ノ節モ要スル駕籠及ヒ人足等是

又同様相心得可然哉

指令(明治三十七年)

伺ノ通

死傷ノ巡査ヘ吊祭扶助療治料給與其損害賠償

○神奈川縣伺(明治三十五年)

第一項 巡査ハ職務ヲ行フトキ暴行人ヲ取押ヘントスル際却テ渠ニ殺傷セラルタル場合ニ於テハ巡査并ニ邏卒死傷ノ者吊祭扶助療治料規則ニ照ラシ警察費ノ内ヲ以テ適當ノ金額ヲ支給シ其給與シタル損害金ハ渠ニ對シ裁判所ヘ要償ノ訴ヲ爲シ可然哉

第二條 果シテ前條ノ如ク要求ヲ爲スモノトセハ其要求シ得タル金額ハ警察費雜收入ヘ編入シ可然哉

指令(明治三十五年)

賠償ノ訴ヲ爲スヘキモノニアラス

警部警部補職務上損害ヲ受ケタルトキ官費支給

○神奈川縣伺(明治三十四年)

第一條 警部警部補其職務ヲ行フニ當リ暴行脅迫ヲ以テ抗シ爲メニ制服等ヲ破毀セラレタルトハ官費ヲ以テ修繕可然哉

第二條 前條ノ場合ニ於テ傷痕ヲ受ケタルトキ其療治料ハ疵ノ輕重ヲ量リ官費支給可然哉

指令(二十六年)

第一條 官費ヲ以テ修繕スルノ限ニ非ラス

第二條 時々情ヲ具シ伺出ヘシ

探偵巡查課ヲ村民ニ負傷セシメシ治療費

○愛知縣伺(二十六年)

管下愛知郡平針村邊強盜徘徊セシテ以テ逮捕ノタメ四等巡查某ヲ差出シ踪跡探偵中本年八月三十日夜同郡田代村宇沢村ト稱スル官林中ヨリ突然顯レ出ル者有之言語ヲ接スト雖モ何等返答モ不致己ニ抗敵セントスル暴况ニ付直ニ手棒ヲ以テ打擲致シ候處路傍溝中ニ轉落セシテ取押事情尋問候未同村農民水野太助ナルモノ私用有之夜行ノ際此場ニ立至リ候段始メテ覺知シ種々療養手當ヲ致シ候候ニ付テハ該巡查過誤ノ疵ヲ以テ懲罰例ニ照シ相當ノ處分ニ及候得共右負傷人治療費別紙仕譯書ノ通有之候處費途ノ成規無之右ハ別途御下渡シ有之候様致度尤モ猶當縣可仕拂筋ニ候得ハ何

ノ費額ヨリ仕拂勘定組ハ何レノ部分ニ組込可然哉

指令(二十六年)

其縣警察費ノ内ヲ以テ仕拂フヘシ

但該費勘定組ノ義ハ雜費ノ部ニ編入スヘシ

疾病ニ係リ昏倒セシ者救護費用

○廣島縣伺(二十六年)

疾病ニ係リ昏倒者有之警察署ニ申告ヲ受ケ同署ニ於テ目下適宜ノ救護ヲナシ然ル後戶長ニ引渡セ

レ場合ニ於テハ右警察署ニテ救護セシ費用ハ警察費ヨリ支辨スヘキヤ

指令(二十六年)

伺ノ通

寄附金品

警察署等新築寄附ノ繰出願

○栃木縣伺(二十六年)

本年第二十九號公達ニ依リ警察署分署建築修繕費ハ當七月以後國庫下渡金ト地方稅ト連帶支辨ス

へキ義ニ有之就テハ有志人民贈金ヲ以テ警察署又ハ分署等斷築寄附センコト願出ルトキハ直ニ聞
届置追テ其旨開申候様取計不苦候哉

指令(十月二十二日)

伺ノ通

但敷地ニ關スル事項ハ従前ノ通其都度伺出候義ト心得ヘン

寄附金ヲ以テ建設スル建物不用ノ節處分方

○青森縣伺(十月二十二日)

人民ノ寄附金ヲ以テ建設スル警察本(分)署建物及敷地等配置ノ都合ニ依リ不用ニ屬スル片ハ賣却
シテ其代價金警察費ニ支用又ハ適宜該町村公衆ノ便益ニ係ル學校病院等ノ仕用ニ充テシメ度候右
ハ國庫ノ支出ニ係ル官有物トハ同名異實ニシテ之レヲ尋常官有物同様ノ節ニ相當リ一般人民ノ公
益ニ關スル事項ニ限リ寄附金ヲ許可セラル、御趣旨ニ背キ且民情ニ關スル義モ難計旁前件ノ通取
計至當ト致思考候間此段相伺候

追テ本文御開届ノ上ハ官金ト寄附金ヲ混同シテ建設ニ係ルモノ同様ノ節ハ其出金ノ歩合ヲ以テ
税外收入ト適宜支用スル分トナ區別シテ然ルヘキ哉副テ相伺候

指令(十月二十二日)

書面寄附金ヲ以テ建設シ又ハ官金ト寄附金ヲ混同シテ建設セシ警察署分署トモ不用ニ屬シ賣却セ
シ代金ハ本年内務大藏兩省乙第廿七號達地方稅豫算精算順序第四條第六節ニ掲グル雜收入へ編入
シ一般ノ地方費ニ支出スル義ト心得ヘン

但本文賣却ノ義ハ縣會ノ議決ニ依リ處分スヘシ

寄附金精算報告

○茨城縣伺(十月二十二日)

第一條 本年内務大藏兩省乙第廿七號ヲ以テ地方稅徵收及支出豫算精算精算費へ順序書式御改正
ニ相成收入ノ部ニ寄付金ノ科目ハ有之候得共支出ノ部ニ科目不相見右ハ警察費ニ充タル寄付金
ハ巡查増員及給與恩賞旅費廳費或ハ營繕厩費等ニ支辨シ精算報告ニ其理由ヲ説明シ可然哉

第二條 警察署營繕ノ爲メ部内町村人民ヨリ寄付又ハ獻金セン者アリ營繕ノ都合ニヨリ該年度中
殘金ヲ生スル時ハ翌年度營繕ニ支辨シ精算報告ハ地方稅等ニ連帶セズ別ニ帳簿ヲ調製精算書ト
同時ニ報告可然哉

指令(十月二十二日)

第一條 支出ノ部ハ警察費ノ内國庫下渡金ノ次ニ寄付金ノ科目ヲ掲クヘシ

第二條 事業ヲ指定シタル寄付金ニ残余アルトキハ本人ニ還付スヘシ尤モ工事ノ乙年度ニ跨リタルモノハ甲年度ノ精算ヲ通常會ニ報告スヘキ調理ニ差支ナキヲ限リトシ甲年度ノ精算ニ編入スルハ苦シカラス

寄付金ニ對スル國庫金下附ノ成否

○茨城縣伺(廿五年四月)

地方稅豫算ヲ立ツル以前ニ在テ其年度ノ警察費ハ人民ヨリ金員ヲ寄付スルモノアリ右ハ本科目ヘ組入レ議案ヲ調製候議ト存候處該金額ニ對スル國庫金ハ御下附可相成筋ニ候哉

指令(廿五年六月)

寄付金ニ對スル國庫下渡金ハ下附不相成義ト心得ヘシ

但警察費中寄付金ノ一科目ヲ設ケ編入スヘシ

寄付金取扱方

○愛媛縣伺(廿五年七月)

警察寄付金取扱方ノ義ハ昨十四年七月廿三日電報ヲ以テ相伺同八月廿一日御指令及本年三月九日

付御訓示ノ趣モ有之候ニ付本年通常縣會ノ決議ヲ經豫算外ノ事業物品ヲ指定シタル寄付金ハ常置委員ハ諮問ノ豫算内ニ屬スルモノハ直チニ施行致來候處其町村ニ於テ消防人足ヲ設置シテ之カ所用ノ提燈等ハ警察ノ印ヲ付該品下渡方ヲ指定シテ所轄分署ヘ獻金スル者有之右ハ豫算外ト雖モ家屋並必需品ノ如キ地方稅ヲ以テ繼續スヘキモノヲ指定シタルトハ其性質ヲ異ニシ毫モ地方稅ニ不相關ノ類ニシテ將來繼續使用ノ見込ナキモノニ限リ豫算中ヘ編入セス適宜處分致シ可然哉

指令(廿五年七月)

寄付金取扱方ハ客年内務大藏兩省乙第七十五號達ニ據リ了解スヘシ

但町村ノ協議ニ成立シタル消防人足ノ所持スル提燈ハ警察ノ印ヲ付スル義ハ不相成候

参照

○全縣伺(廿五年二月)

客年七月廿五日電信ヲ以テ其警察署費トシテ該所轄人民ヨリ寄附金仕拂方ノ義相伺候處同八月廿一日電信ヲ以テ地方稅豫算收入ノ部國庫下渡金ノ次及支出ノ部國庫下渡金ノ次ニ編入シ寄付セシメ目的ノ費途ニ仕拂フヘキ旨御指令有之依テハ左ノ通相心得可然哉

第一條 該年度豫算議定以前其警察署費トシテ人民ヨリ寄附セシムルハ其金額ヲ豫算中ニ

組込寄附セシ目的ノ費途ニ地方税ト連帶支辨シ豫算議定後寄附セシトキハ其目的ノ費途ニ連帶支辨シ精算ノ上議會ニ報告スヘキ哉

第二條 警察費中巡查給料又ハ被服費等ヲ指定シ寄附スルモ前段同様取扱フヘキ哉

第三條 警察事業中該年度地方税經濟上ノ都合ニ依リ施行セサル事業假令ハ某警察署建築又ハ馬飼料等

指定シ寄附シ其寄附金而已チ以テ該事業ヲ施行スル時ハ特ニ其科目ヲ設ケ支出シ精算ハ収支地方税ニ編入スヘキ哉

訓示(十五年三月九日)

警察寄附金取扱方ノ義ニ付伺出ノ趣有之候處右ハ豫算議定ノ後其豫算中事業物品等指定シ寄附スルモ又ハ該年度ニ於テ地方税ヨリ施行セサルモノニ對シ寄附スル者ト雖モ總テ翌年度豫算ニ編入縣會議決ノ上施行候義ト可心得此旨訓示候

但豫メ縣會ノ議決ヲ取リ置キ直チニ實施スルハ苦カラス

○同縣伺(十五年三月十七日)

本月九日付警第甲六三號御訓示ノ趣ハ唯警察寄附ノミナラス地方税ニ關スル寄附金ハ總テ同一ニ心得然ル可キヤ

指令(十五年三月二十三日)

伺ノ通

○同縣伺(十六年八月二十日)

今茲ニ地方税支出豫算警察廳舍建築修繕費中ニ金六百二十五圓ヲ以テ廳舍増築ノ事業アリ然ルニ右金額ノ如キハ最初彼是事業ノ緩急ヲ斟酌シテ費用ヲ節減シ見積リタルモノナレハ十分ノ工事ヲ遂ル能ハス然ル處此際有志人民ヨリ警察廳舍新營修繕等ノ費途ヲ指定シ金圓ヲ寄附スル者有之就テハ之ヲ右増築豫算金ニ加ヘ工事施行仕度右ハ客年御省大藏兩省乙第七十五號御達ニ依リ取扱可然議ト思慮仕候得共豫算既定ノ事業ニ寄附金ヲ合シ候義ニ付此段爲念相伺候

指令(十六年九月六日)

申出ノ通取扱ヘシ

巡查寄宿所建築費寄付

○愛媛縣伺(十六年三月三日)

爰ニ從來設置ナキ巡查寄宿所恰モ從前ノ官舎ノ如シ建築ヲ指定シ金若干圓寄附出願スルモノアリ之ヲ警察署構内ニ設置セハ官私ノ便利素ヨリ渺ナカラサルモ抑モ該寄宿所タル獨リ巡查其身ニ止マラス妻子

ヲ拂フルモノハ同居セシ譯ニ付一般地方稅支辨ノ事業トハ稍其性質ヲ異ニセリ故ニ之ヲ聽斷スルハ穩當ナラサル様存候得共要スルニ部下人民ニ於テ警察ヲ信用スルノ厚意ニ出ルモノナレハ客年十二月御省並大藏省乙第七十五號御達ニ基キ直ニ指定ノ費途ニ仕拂而シテ將來要スル修繕費等ハ警察費ヨリ支辨可然哉

但本文修繕費警察費支辨ノ限ニ非ストセハ寄宿巡查ヨリ相當家稅ヲ徵集シ該費ニ相充テ可然哉

指令(廿六年八月)

難開屆候

分署建物等元獻納者ハ拂下

○千葉縣伺(廿六年五月)

本縣下匠邊郡太田村元太田分署建家十五坪七合七勺柵失來二十八間及井戸一ヶ所ノ議ハ去ル明治十年八月申該村有志者一同ヨリ新築獻納セシモノニ有之候處明治十四年三月中分署ノ廢合ニ際シ該分署ヲ相廢シ候ニ付爾來該建家不用ニ屬シ目下破損ノ箇所夥多有之後來該分署再設ノ見込モ無之ニ付此際公賣處分致スヘキ見込ニ候處今般該村民ヨリ建家井戸並柵矢來共不殘從前獻納セシ緣故ヲ以テ代金十圓(相當代價五圓十圓内外)ニテ拂下ノ義願出候右ハ從前獻納セシ緣故モ有之候ニ付相當代價

ニハ無之候得共特別ヲ以テ願意開屆從前獻納者一般ハ拂下ケ可然哉

指令(廿六年四月)

相當代價ヲ以テ處分スヘシ

○巡查看守精勤證書

巡查看守精勤證書沒收

○埼玉縣伺(廿五年七月)

巡查看守精勤證書ハ全國ニ通シテ効力ヲ有スヘキモノニ付仮令甲縣在職中授與シタルモノト雖モ乙縣奉職中二十二年御省第五九八號訓令ニ該當スルノ所爲アルトキハ乙縣ニ於テ直ニ之ヲ沒收シ而シテ後甲縣ニ通牒可然哉右ハ甲乙兩縣ニ交渉スル事件ニシテ未ダ曾テ取扱上ノ規定無之聊カ疑義相生シ候條此段相伺候也

指令(廿五年七月)

本年七月二日親第二二三號伺巡查看守精勤證書沒收ノ件伺ノ通

奉職年數通算方

○山梨縣伺(廿六年七月)

○内務ノ部

巡查看守精勤證書

巡查看守補助職等授與規則第三條四項ノ年期ハ巡查ヨリ警察歴ニ轉シ警察歴ヨリ巡查ニ轉シタルモノハ前後其年月ヲ通算シ滿三年ニ及フモノハ補助證書ヲ授與スルモ差支無之哉至急何分ノ御指
揮有之度此段相伺候也

指令(三十一年)

本年十一月廿七日第七七六號伺巡查奉職年數計算ノ件前後通算之限リニアラス

警部巡查採用

警保局長新藤(三十一年)

本年勅令第三十七號第三十八條ニ依リ本令施行ノ前二ケ年以上在職セシ巡查ハ判任官警部ニ採用全補不苦哉等長野縣伺ニ對シ指令相成候ニ付本月二日官報掲載有之候得共右同様ニ付往々御問合ノ向モ有之候條爲念該指令寫相添此段及御通知候也

警察官及巡查採用方ノ議ニ付伺

○長野縣(三十一年)

第一條 本年勅令第三十七號第三十八條ニ依ルルハ本令施行ノ前二ケ年以上上官職ニ於テ雇員トナリタル者ニシテ事務ニ熟練シタル者ト本屬長官ニ於テ認ムルルハ試験ヲ要セズ直ニ判任官ニ任

スルヲ得ル義ニ有之候處警察官吏中巡查ノ如キハ無論雇員以上ノ資格ニシテ執ル處ノ事務モ亦警察官ヲ補佐スルモノナレハ本職ニ從事スルニケ年ヲ經タルモノハ雇員同様判任官警部ニ採用全補用不苦哉

第二條 前條勅令明文中單ニニケ年以上云々ト有之候處一旦雇員タリシモノニシテ退職後數年間ヲ經タルト雖モ事務熟練ノモノト見込ムトキハ試験ヲ要セズ採用不苦哉又雇員タリシ者中途職ヲ停メ一期ニケ年ニ及ハサルモ前後就職併セテニケ年ニ至ル者ハ前同様資格アルモノトシ可然哉

第三條 第一條巡查ヨリ警部以上ニ採用不苦者トセハ例ハ巡查タルト一年雇員タルト一年又ハ警部警部補タルト一年雇員タルト一年併セテ二年ニ滿ルモノハ該資格アルモノト認メ可然哉

第四條 明治十九年内閣達第十三號ニ巡查奉職滿九年以上十二年以下ハ月俸十二圓滿十二年以上ハ月俸十五圓ヲ給スルヲ得ト有之候處最初巡查ヨリ警部補ニ昇進シ再ヒ巡查ト相成タル者又ハ他ノ判任官例ヘハ檢事補又ハ看守長タリシ者爾後巡查ヲ奉職シ最初併セテ九ケ年若クハ十二ケ年ノ勤績ニ至リタルモノモ矢張前同様ノ資格アルモノト認メ可然哉

内務省指令(三十一年)

書面何ノ趣左ノ通可心得候事

第一條 伺ノ通

第二條 三十八條ヲ適用スヘキモノニアラス

第三條 現ニ就職スルモノハ伺ノ通

第四條 他ノ職務ヲ奉シタル年月ハ算入スヘキモノニアラス

警保局長通牒(二十二年)

警部任用方ニ付甲號ノ通警視廳ヨリ伺出乙號ノ通省議ヲ經テ書記官ヨリ通牒相成候條爲御心得此段及通牒候也

○警視廳伺(二十二年)

警部巡查任用上ニ關シ左記ノ難疑議ヲ生シ候條至急仰御指揮候也

第一 從來非職警部警部補ヲ巡查ニ採用スルルハ非職官ヲ辭職セシメ採用致來候處非職俸給廢セラルタル今日ニアリテハ非職官ハ其儘ニ差措キ直チニ巡查ニ採用シ不苦哉又右採用シ得ル義ニ候ハ、該巡查ハ警部警部補ノ非職年限内ニ勤続滿十五年ニ達スルトキハ勿論恩給ヲ受クルノ權利アルモノト心得可然哉

第二 明治二十年勅令第三十七號文官試驗試補及見習規則第三十八條ニ準シ警部警部補ニ採用セラレタルモノ(明治二十年以前)ニ在テニケ年以上巡查ヲ奉職シ事務熟達ト認メラレタルモノ(コ

レテ非職ヲ命シ其後依願非職官ヲ免シ同時ニ巡查ニ採用センモノハ最初ヨリ巡查奉職ノモノト異ナラス且兼キニ事務熟達ノモノト見認メラレタルモノナレハ今後ニ在テモ第三十八條ニ準シ直ニ警部ニ任用スルヲ得ル義ニ候哉

第三 明治二十三年勅令第十號(巡查奉職滿五年以上)ニシテ精勤證書ヲ有シ現ニ其職ヲ奉シ居リシ者(ニ依リ直チニ警部補ニ採用セラレタルモノ)ニシテ非職トナリ其後依願本官ヲ免セラレ同時ニ巡查ニ採用センモノハ其後經過ノ年限ニ拘ハラス直チニ警部ニ採用シ可然哉

第四 明治廿三年勅令第八號第三條(滿五年以上列任文官ヲ勅メ退官シタルモノ)ニ依リ直チニ警部警部補ニ採用セラレタルモノニシテ非職トナリ其後依願免官セラレ即日巡查ニ採用セシモノハ今後直チニ警部ニ任用シ得ル義ニ候哉

書記官通牒(二十二年)

本年四月十四日官ニ第五六號ヲ以テ警部巡查任用上ニ關シ伺出相成候處第一項ハ非職ノ儘巡查ニ採用スヘカラサルハ従前ノ通第三項更ニ滿五年以上ヲ經サレハ警部ニ採用スルヲ得サル義ニ有之

第二項第四項ハ御意見ノ通ト存候伺ニ對シテハ別ニ指令不相成候ニ付此段及通牒候也

○東京府伺(二十七年)

小笠原島巡查設置ノ義ニ付伺

當管内小笠原島警察事務ノ義ハ是迄警部巡查ヲ置カス在勤庶員ヲシテ取扱ハシメ來候處島内ヲ巡視スルモノ章服ヲ着セシ帶劍セサルヨリ自然嚴肅ヲ欠キ島民ハ勿論一時入港ノ外國人ニ於テモ警察吏ヲ蔑視スルノ傾向アルハ勢ノ免レサル處ニ有之候間自今巡查ヲ置キ現今警察事務ニ從事スル雇ノ輩又ハ其他ヨリ便宜採用シ島司ノ指揮ニ應ジ職務ニ從事爲致度候條御允可相成度此段相伺候也

内務省指令(二十七年)

書面伺ノ趣聞届候事

但帶劍セシムルヲ要セサル義ト心得ニシ

○警視廳伺(二十七年)

巡查看守ノ義ハ日夜必ス所定ノ人員ヲ要シ候者ニ付病弱老朽等ニテ其職務ニ堪エヌト認ムル者並ニ病疾其ノ他ノ事故ニテ數日間引籠候者有之節ハ一般官吏ノ例ニ準シ諭旨辞表ヲ出サシメ若

シ其餘旨ニ違ヒ辞表ヲ出サシルモノハ直ニ免職致來候處廿一年三月總理大臣ヨリ右一般官吏ノ諭旨ニ應セサル者直ニ免職ノ定規ハ廢止ニ屬シタル旨内達相成候ニ付テハ自然巡查看守ノ義モ右ニ準據不致テハ不相成筋ニ可有之然ルニ一般官吏ニ在テハ非職條例適用ノ道アルヲ以テ別段不都合ヲ感セス候得共巡查看守ニ在テハ他ニ措置ノ手段無之實際差支ノ場合有之就テハ爾後諭旨スルニ當リ辞表ヲ出サシ肯セサルトキハ都合有之解職ストノ名義ヲ以テ直ニ其職務ヲ解キ而シテ給助金並將來就職等ノ義ハ總テ依願免職者同様ノ振合ニ取扱候條致度此段相伺候也

内務省指令(二十七年)

本年十一月四日書第一四四號伺巡查看守免職ノ件伺ノ通取扱フヘシ

警保局長ヨリ愛知縣警部長ニ回答(二十七年)

警第四八六號ヲ以テ軍籍滿期下士採用ノ義ニ付御問合ノ趣現役滿期後ハ下士免官ノ後ト雖モ本年七月當省第三十號訓令ニ準據スル義ニ有之候此段及回答候也

特別俸巡查採用方

○熊本縣伺(二十七年)

巡查滿九年以上勲績ノモノ警部ニ任用退官シタルモノハ十二圓巡查ニ採用シ得ル哉直ク御指那ヲ

之

内務省指令(二十二年七月)

本年八月十七日電報同警部ヲ退官シタル者ヲ十二圓巡査ニ採用ノ件ハ不相成議ト心得ヘシ

参照

警保局長通牒(二十二年七月)

先般巡査採用規則被相定候處曾テ警部ヲ奉職セシ者ハ試験ヲ要セス直ニ巡査採用不苦哉ノ旨伺出相成候向往々有之候得共右規則發令後ハ同規則又ハ他ノ訓令ヲ以テ取除テ示サレタ
ルモノ、外ハ規則ニ依ラヌシテ採用不相成議ニ付爲念此段及通牒候也

警保局長通牒(二十二年七月)

巡査採用規則發布ニ付明治二十二年七月當省訓令ハ消滅セシヤ否問合相成候向モ往々有之候處右
ハ消滅セサル義ニ付爲念此段及通牒候也

非職官吏ヲ巡査又ハ看守ニ採用ノ件

○靜岡縣伺(二十二年七月)

非職官吏ヲ巡査又ハ看守ニ採用スルトキハ非職官ヲ辭職セシメ採用可致等ノ處今般巡査看守ハ判

任ヲ以テ待遇セラル、コトニ相成候付テハ非職官吏ヨリ直ニ巡査又ハ看守ニ轉任セシムルモ差支
ナキヤ

内務省指令(二十二年七月)

本年九月廿九日伺巡査看守採用方ノ件直ニ轉任セシムヘキモノニアラス

○巡査部長及一般巡査徽章

巡査部長外套鈕ノ義

○香川縣伺(二十二年七月)

本年三月廿八日御省訓令第十六號ヲ以テ巡査部長ノ職ヲ置カレ左腕ニ徽章ヲ付スヘキ制ニ候處本
縣ノ如キハ肩掛給與候ニ付右着用ノ際爲メニ徽章ヲ蔽ヒ自然其用ヲ欠ク場合モ之アルヘク旁一般
巡査ト容易ニ識別セ得ラル、爲メ當縣巡査部長外套ハ金色日章鈕ヲ附着爲致度此段伺候也

指令

本年五月七日警第四二四號伺巡査部長外套鈕ノ件與餘日章鈕ヲ外套ニ附着スルハ苦シカラス

○香川縣伺(二十二年七月)

巡査部長提燈ノ義ニ付伺

巡查部長提燈ハ一般巡查同様ノ品携帯可爲致義ト相考候得其他ノ巡查ト區別スル爲メ徽章成規ノ通ニテ府縣等ノ文字ヲ除キタル騎馬提燈相渡不苦哉此段相伺候也

指令

廿三年四月十五日警第一一號伺巡查部長提燈ノ議ハ伺ノ通

○廣島縣伺(廿三年四月二十日)

本年御省乙第三十一號ヲ以テ巡查ニシテ警部ノ職ヲ行フ者ハ其節ニ限リ帶劍不苦旨御達有之就テハ右帶劍ノ際提燈モ亦警部同様ノ品携帯被致不苦哉相伺候

指令

書面伺ノ通

○巡查看守休暇

家族等傳染病ニ罹リ出務差扣ヘノ日數

○秋田縣伺合(廿三年三月三十日)

巡查其家族若クハ同居人ノ傳染病ニ罹タルニ依リ消毒日限中ニ係ル欠勤日數ハ法律上自然其服務ヲ停止セラレタル筋ニ付忌引日數計算法ニ比準シ勤續ヲ計算スル協合ニ於テ算入セサル方可然ヤ

警保局長回答(廿三年三月二十二日)

御問合ノ趣領承右ハ御見解ノ通り忌引日數ト同視シテ欠勤出務共ニ算入セサル方可然ト存候

○死体解剖遺骨保存

○栃木縣伺(廿三年四月八日)

死体解剖ノ件

第一條 年本(七月)御省甲第二十五號御達ニ死刑者及病死者ニシテ親屬故舊其遺骸ノ下附ヲ請フ

者ナキトキハ官公立醫學校若クハ病院ニ於テ解剖實驗ノ用ニ供スルヲ得ト有之候處右ハ監獄則

第七十九條第二項ニ依リ其死亡シタル時限ヨリ二十四時以内ニ遺骸ノ下附ヲ乞フ者ナケレハ直

ニ解剖スルトモハ親屬故舊遺地ニ在ル者ハ或ハ失望ノ掛念アルニ付時限ニ關セテ全ク遺骸ノ下

附ヲ出願セサル者ニ限リ解剖差許ス義ト心得可然哉

第二條 前條遺體解剖ノ儀ハ並ニ刑死者遺骸ノ下附ヲ乞フモノナキモノ、外何人ニ不拘本人ノ情

願ニアラサルモノト其遺屬者ノ承諾ヲ得サルモノトハ解剖不相成旨神奈川縣へ御指令ノ趣モ有

之候處甲第二十五號御達ニ依レハ死者ノ情願並ニ遺屬者ノ承諾ヲ要セサル儀ト心得可然哉

内務省指令(廿三年四月八日)

何之趣在ノ通可心得事

第一條 何之通

但既ニ二十四時間ヲ過キ仮埋葬セシモノハ解剖ヲ許スヘカヲサルモノトス

第二條 何之通

○岡山縣伺(廿八年)

刑死者及死亡者解剖ノ件

本年御省甲第二十五號ヲ以テ監獄則ニ掲クル所ノ刑死者及死亡者ニシテ親屬故舊其遺骸ノ下附ヲ請フ者ナキハ官公立醫學校若クハ病院ニ於テ該遺骸ヲ解剖實驗ノ用ニ供スル云々ノ儀御達相成候ニ付テハ右刑死者等解剖施行ノ筋ハ同達但舊ノ通死體剖觀後縫理シテ原體ニ復シ不都合無之様可致ハ勿論ノ儀ニ有之候得共縫理原體ニ復セシ上ハ適宜埋葬若クハ火葬ニ取計可然哉

内務省指令(廿八年)

伺之趣原體ニ縫復セシ上ハ典獄ニ於テ監獄則第七十九條第二項ニ從ヒ仮葬スヘキ儀ト可心得事

○山形縣伺(廿八年)

病死體解剖ノ件

病死體解剖ノ儀ハ醫術進歩ノ爲メ緊要ノ事柄ニ付雙方熟談ノ上郡役所へ届置候ハ、患割ノ剖觀不

苦哉ノ旨伺出候者有之右ハ明治九年七月二十九日付三府へ御達ノ類例モ有之同様相心得可然哉

内務省指令(廿八年)

伺之趣雙方熟談ヲリトモ官ノ許可ヲ可得儀ト可心得事

○三重縣伺(廿八年)

當縣伊勢國員辨那阿下喜村ニ仮埋有之候行路人骨節ヲ發掘シ醫術研究ノ所用ニ供シ度段醫師稻垣春陽外二名ノ者ヨリ別紙ノ通出願右ハ尋席無宿者ノ斃死ニ付難開届哉ニ被察候得共本人共醫學研究ノ熱心ヨリ懇願候義ニ付仰御指令候也

指令

書面行路人仮埋中ノ骨節ヲ發掘イタシ候義ハ難開届候事

○東京府伺(廿九年)

醫學經驗ノ爲メ小兒ノ死体ヲアルコルニ濱シ貯置度旨其父母並醫員ヨリ願出ノ向有之事實其父母ノ情願ニ出テ候義ニテ双方共不都合無之上ハ願意開届不苦哉相伺候也

指令

書面伺ノ趣胎兒ノ死体ニ限リ開届不苦候事

○京都府伺(八月二十三日)

今般坤衛第四百六十號ヲ以テ病死体解剖ノ義双方熟談ノ上ハ區戸長或ハ區務取締ハ届置割觀不苦旨御達相成候處全体ノ解剖モ双方熟談ノ上ハ同様取計可然哉若全体ト患部トノ差別有之候ハ、兼テ心得置度相伺候也

指令

書面伺ノ趣病体解剖ハ其患部ニ限リ候義ニ付双方熟談ノ上タリモ全体ノ剖視ハ不相成儀ト可相心得事

○福島縣伺(十月九日)

明治八年一月三十日當縣管内宇多郡馬場野村字中ノ迫ト云フ處ニテ乞食体ノ者行斃有之夫々檢視ノ上仮埋申付置キ成規ノ通揭示致候得共今以テ身寄ノ者申出無之ニ付同郡中村病院ヨリ其人骨堀上ケ解剖學研究ノ爲メ病院へ備置度旨出願右ハ開届不苦哉相伺候也

指令

書面伺ノ趣難即届候事

○山口縣伺(十月二十三日)

警察官吏變死ニ係ル屍ヲ檢査スル時ニ於テ解剖ヲ行ハサレハ致命ノ原由ヲ確知シ難キ旨醫師申立ル時ハ其部分ヲ解剖檢査セシムル事ヲ得ル旨本年太政官第二十二號ヲ以テ御布告有之ニ就テハ右ニ屬スル消費ハ警察費定額ノ内ヲ以テ支辨シ仕上明細表ノ義解剖料ハ諸備給へ需用品ハ消費費ノ内へ區分編入可然哉將テ該事ノ消費ハ警察額外費トシ別途請求シ費目ヲ區分シ各表ニ調製スルナシ一紙表中費目區番仕上可然哉且解剖ノ上其變屍ノ次第ニ依リ遺族ニ渡ス能ハス官ニ於テ仮埋ノ處分ニ及ヒ候トモ有宿者タルヲ以テ埋費ハ遺族ノ者ヨリ支辨爲致候義ニ可有之哉相伺候也

指令

書面解剖ニ屬スル消費ハ警察費官民費ノ内ヲ以テ仕拂勘定組及仮埋費支辨方ハ伺ノ通可取計事

○兵庫縣伺(七月二十四日)

第一條 胎死ノ分醫學研究ノ爲メ解剖致度旨親戚醫生双方熟談ノ上巡署出願候節ハ開届不苦哉
第二條 痲疾ニ罹リ有方療養候共効驗無之終ニ死去候者醫學研究ノ爲メ右患部ヲ解剖致度義親戚醫生双方熟談ノ上巡署ヲ以テ區戸長醫務取締へ届置候へハ解剖爲致不苦哉
第三條 前條ノ死者生前ノ志願ニテ確實ナル遺書遺言等又ハ親戚ノ懇願アル時ハ全体解剖ト雖モ

開届不苦哉

第四條 監獄則處刑ノ部ニ已決者病死及ヒ刑死ノ遺体ハ親戚乞フ者アレハ之ヲ與ヘ乞フ者ナクソ
 ハ官醫ノ解剖ヲ聽スト有之管下公立病院醫員ハ官醫ニ準シ解剖差許可然義ト相心得候得共若シ
 私立病院醫員及一般醫員ヨリ解剖出願候節モ醫學進歩ノ一助ト可相成義ニ付開届不苦哉

第五條 前條ノ骨格又ハ行路人仮埋ノ後終ニ宿所相分ヲナル屍骸濯曝ノ上其骨格ヲ醫學講習用ニ
 相留度旨出願候節ハ開届不苦哉

第六條 行路人有之仮埋ノ後宿所相分リ其旨通知スルモ親戚無力ニシテ改葬ハ勿論墓碑等モ建設
 スル能ハサル分醫學研究ノ爲メ屍骸濯曝ノ上其骨格ヲ講習用ニ供シ度尤モ該醫生ヨリ相當ノ墓
 碑ヲ建設シ吊禮等モ執行可致官親戚醫生熟談ノ上進署出願候節ハ開届不苦哉
 右件々相伺候也

指令

第一條 全体解剖ハ難開届義ト可心得事

第二條 伺ノ通

第三條 死者生前ノ志願ト雖モ全体解剖ハ第一條指令ノ通可心得事

第四條 一般醫員ト雖モ開届不苦候事

第五條 已決者ノ病死及ヒ死刑者ノ遺骸骨格保存ハ伺ノ通
 但行路人ノ屍骸發掘ハ不相成事

第六條 第五條指令但書ノ通可心得事

○茨城縣伺(光二十六年)

當縣管下茨城郡太田町村平民富田平藏亡二男子之吉過ル文久元年三歲ニテ病死同村圓通寺域内ニ
 埋葬致置其後四年同人祖父彦十病死即同寺同地ニ埋葬候節不圖該兒棺頭ニ埋當候處別紙圖面之通
 全体乾固依然舊体ヲ存シ候趣一時ニ傳播シ衆人來觀ノ余僻郷ノ風習種々無稽ノ臆說相唱候故該寺
 前往職正鶴本堂ニ引取リ今日迄回向致來候ヘトモ古來比類稀ナル義ニ付當住職稻波昌海右平藏ト
 協議ノ上東京府下第五大區五小區淺草新猿屋町七番地居住醫師原田道義ニ問合セ粗考趾モ有之依
 テ同府淺草寺境内ニ送回縱覽爲致度旨出願有之候ヘヒ人情難忍儀ニ付難開届旨及指令候處再應出
 願ノ趣モ有之自然究理上考証ノ一端トモ相成可申ニ付即チ本人ノ自由ニ任セ願意開届可然哉乃別
 紙書類寫並圖面相添相伺候也 別紙並圖
 指令

書面伺ノ趣縦覽ノ義ハ開届候尤右ハ東京醫學校ニ於テ學術上實驗ノ爲メ甚ク緊要ノ者ニ候間文部省ニ差出候様本人ノ説諭ニ可及候事

○外國人ニ關スル件

獨逸軍艦水夫暴行ノ節損害ヲ蒙リタル者ニ給與金ノ件

○神奈川縣伺(十一月廿四日)

一金五十二圓九十二錢五厘

右ハ昨年十二月中本港高島町ニ於テ獨逸軍艦ビチタ號水夫ト同所人民ト爭闘一件外務卿ヨリ同國公使ニ照會ノ末右事件結了候段御達有之候ニ付テハ本港人民ノ内毀傷ヲ蒙リ或ハ人力車又ハ家具等ヲ損傷セラレタル辨償方ノ義モ此余別段同國領事ニ請求ニ不及候テ可然候就テハ右金額別途御下渡相成度此段相伺候

指令(十一月廿四日)

其縣警察費額ノ内ヲ以テ支拂フヘシ

英國船水夫内國人ト爭闘私和

○三重縣伺(十一月廿九日)

英國帆船船アヘルコルシ號輸出米積込ノ爲メ横濱税關監吏補松原弘興乘込當縣四日市港拔錨中去ル廿六日四日市回漕社ノ日雇(積込米運搬人夫)同所南納屋町四番地平民與左衛門長男伊藤與吉ナル者該船乗込水夫ト爭闘双方負傷者有之ニ付四日市分署ニ於テ負傷者ハ醫ヲシテ治療セシメ双方一應取調ノ上該署詰警部船將ニ談判ヲ遂ケ候公裁ヲ仰カサル旨答辨有之伊藤與吉ニ於テモ固ヨリ公裁ヲ仰ク念無之別紙書類ノ通双方共公裁ヲ仰カス私和致候ニ付テハ伊藤與吉ハ警察官ニ於テ後來テ嚴戒シ該件ハ此儘ニ差聞キ可然哉

指令(十一月廿四日)

其儘聞キ若シカラス

外國人遊歩規程内ニ於テ説教ノ件

○新潟縣伺(十一月廿四日)

當新潟港外國人居留地外當縣管下外國人遊歩規程内村落ニ於テ外國人傭役ノ御國人民外教説教致候義ニ付去ル明治九年十月十三日付ヲ以テ心得方相伺置候處未ク御指令無之然ルニ昨年來當港在留外國人ニ於テ遊歩規程内各所ニ派出シ傭役ノ御國人民名前ニテ一ヶ月何回ト定メ民屋坐敷等借受ニテ或ハ宿泊シ人民ヲ集合セシメ致説教候趣ヲ以テ該區受持警察官ヨリ心得伺出モ有之右ハ

去ル明治八年丙第六十四號御達ノ趣モ有之ニ付旅亭ニアラサル民家ハ宿泊爲致候義可差留ハ勿論
假令旅亭ト雖モ止宿ヲ名トシ地所家屋ヲ賃借スルカ商賣取引スルカ又ハ其事ヲ企ル等相願レ候節
場所立拂ハセ可申候得共外國人訛致スル等ノ如キハ病氣養生地質研究等ノ爲メ遊歩候共異リ殊ニ
人民群集候義ニテ取締上ニモ關係候事ニ付如何相心得可然哉

指令(第十一號)

外國人遊歩規程内ニ於テ民屋坐敷等ヲ借受ケ或ハ數日間宿レ人民ヲ會集シ法談講義等致義不相成
候條我人民ノ坐敷等ヲ貸與候者ハ之ヲ差留メ外國人ヘハ篤ト説諭ヲ加ヘ其場所立拂ハセ可申事
雇運卒英國人ヘ手當及療治料下賜ノ件

○神奈川縣伺(第十一號)

一金六十五圓

内譯

金五十圓

手當

金十五圓

療治料

本縣雇運卒英國人「ウキルヤム、ヘルス」義本年一月十二日合衆國軍艦アヲト號乗組水卒二名本

艦ヲ脱走セシヲ以テ捕獲方該國領事ノ依頼ニヨリ本港高島町ニ於テ逮捕ノ際彼等棍棒ヲ以テ願ル
拒捕シ夫レカ爲メ數ヶ所ノ疵傷ヲ受ケ入院治療ヲ盡スト雖モ未タ全ク平癒不成就中左腕ニ受ケ
ル毆傷ノ如キハ最モ重傷ニシテ別紙醫按ノ通縱令全癒候トモ從前ノ如クニ使用ニ堪ユルノ見込無
之赴到底不具ノ人トモ相成惘然ノ義ニ付八年太政官第三號御達ニ照準シ前書金額下賜ハリ度此段
相伺候

指令(第十一號)

聞届候事

但施行濟届出ヘシ

外國人遊歩規程内止宿届出方

○神奈川縣伺(第十一號)

本年御省丙第十二號御達中外國人止宿届出方云々同年三月廿六日附ヲ以テ相伺候處該達ノ主旨ハ
免狀ヲ所持セサル者ヲ指示候義ニ有之赴御指令相成候處尙又同年九月太政官第四十號御達中届出
方ノ義ハ八年十一月第百八十九號達ノ趣ト有之依テ御省御指令ノ義ハ自カラ消滅ノ義ト相心得可
然哉將シ太政官御達ノ趣旨モ御省御指令ノ趣ニ可有之哉此段再應相伺候

指令(十一月六日)

本年大政官第四十號御達相成候得共同年四月九日付當省指令ノ赴消滅セサル義ト心得ヘシ

參照

同縣伺(十一月五日)

本年御省丙第十二號ヲ以テ御達中外國人遊歩規程内ニ於テ止宿セシメ候節届方以々ト有之然レハ遊歩規程内ニ於テハ旅行免狀ヲ所持スルトセサルトニ不拘都テ可届出義ニ候哉又ハ前號御達ノ趣旨ハ免狀ヲ所持セサルモノヲ指示シ候義ニ有之候哉

指令(十一月九日)

後段伺ノ通

外國人ヨリ巡查派出請求ノ件

○兵庫縣伺(十一月四日)

當縣下神戸外國人居留地ニ接近スル宇小野新田ニ有之英國商人クローリー、キルヒ、商會製鉄所ヘ同所家屋保護ノ爲メ當縣巡查日々三名派出ノ義同國領事ヲ經テ依頼有之尤右ニ關スル一切ノ費用ハ同商會ニ於テ支辨可致旨申越候就テハ外國人ニシテ斯ク當縣巡查ノ派出ヲ請求スルニ至ルハ畢

竟我警察ヲ信用スルニ出タルモノニテ後來警察ノ目的ニ對シ影響ヲ與ヘ候様見込候ニ付依頼ニ應

シ巡查派出取計候様致度右ハ外國人ニ關涉候義ニ付此段相伺候

指令(十一月二日)

聞届候事

外國人得遺失物ノ下附ヲ受ケサル件處分方

○新潟縣伺(十一月三日)

内國寄留ノ外國人遺失物ヲ得テ訴出ルモノアリ之ヲ預置シテ成規ノ通取計ヒ滿期ニ至ルモ物主無之トキハ得者ニ給スル相當ノ處外國人ナルヲ以テ之ヲ下附スルモ敢テ受ケサルトキハ直チニ官沒致シ可然哉

指令(十一月五日)

伺之通

外國人海底ヨリ搜出ノ物品處分方

○長崎縣伺(十一月二十日)

外國人海底ヨリ搜出ノ物品處分方ニ付客年四月相伺候處八年第六十六號公布漂流物取扱規則ニ依

リ處分可致旨御指令ノ趣徹承仕候然ルニ該物品ニヤ外國人ノ所屬品タル義明瞭致居所轄領事ニ於テ賣拂ヲ拒ミ其引渡方ヲ求ムルモ斷然該規則第三十一條第二項ニ照準シ處分ヲナシ可然義ニ候哉

指令(明治十四年八月十四日)

伺之通

參照

同縣伺(明治十四年四月二日)

常港内ニ於テ外國船誤テ其船具ヲ海中ニ沈没セシメ之ヲ搜索スルニ當テ不圖他船付屬ノ船具等ヲ得タル外國人有之ハ僅令外國人ノ搜出ニ係ルモ我海中ニ於テ得タル者ナレ該品ハ當方ニ預置九年第五、六號公布遺失物取扱規則ニ照準處分シ可然義ニ候哉

指令(明治十三年二月一日)

八年第六十六號公布漂流物取扱規則ニ依リ處分致スヘシ

外國人賞與ノ件

○警視本署伺(明治十三年二月一日)

外國人賞與ノ義ハ明治十年十二月太政官ヨリ本省ヘノ御達但書ノ趣モ有之候得共警察上功勞アル者賞與ノ義ハ別段成規無之則チ別紙事件ノ如キハ英人其荏原那羽田沖ニ於テ難船アルノ際風濤ヲ冒シ自ラ舟子ヲ指揮シ御國人三名ヲ溺没中ヨリ援ヒ且旅費若干ヲ給シテ其郷ニ歸ラシメ一ハ英人某兩國橋通行ノ初男子ノ橋上ヨリ投身セシ者アルヲ危險ヲ顧ミス直ニ飛下シ之ヲ救治セリ然ルニ其舟子及助力者ハ内國人タルヲ以テ直ニ成規ニ照シ賞與可相成候得共外國人ニ在テハ其例規無之去リ逆前件ノ如キ功勞アル者ハ之ヲ賞與セサルヲ得ス若シ其例規ナキヲ以テ其指揮タル主効ヲ賞セス却テ指揮ヲ受ケタル者ヲ賞スルカ如キハ權衡其當ヲ失スルノミナラス條理ニ於テモ穩當ナラサル様被存候然ルニ右外國人ハ通常商人等トモ同レカラス寡少ノ金額ヲ以テ御賞與相成候モ却テ如何ニ有之依テ以來右等外人ヘハ當局限リ相當ノ謝狀ヲ付シ候様致度此段相伺候

指令(明治十三年二月一日)

御届候事

舊雇運卒英國人ヘ手當金別途下渡ノ件

○神奈川縣伺(明治二十六年)

本縣舊運卒英國人「ウヰルヤム、ヘルズ」職本縣雇入中特別勉勵職務上不具ノ身体トナリ實ニ悠然

○内務ノ部

外國人ニ關スル件

ノ至リニ付雇入中本人功勞ノ巨細相認メ一ケ年分給料高銀貨五百四十圓下賜方及該金額破格ノ御
 詮議ヲ以テ別途御下渡ノ義客月廿七日付ヲ以テ相伺候處本月九日付ヲ以テ金二百七十圓ヲ手當ト
 シテ支給別途下渡ノ義ハ難開屆警察費中ヨリ仕拂フヘキ旨御指令相成候得共御指令ノ二百七十圓
 ニテハ逆モ本國へ到達スル旅費ニ足り不申實際差間候義ニ付先伺中巨細上申仕置候通リ何卒伺ノ
 通銀貨五百四十圓御下渡相成度且今般御指令中警察費中ヨリ支拂ヘキ旨御指令相成候得共該費額
 中外國人諸費小科目ノ外豫算ノ金額無之候付テハ外國人月給豫算額ノ内即チ六ヶ月分給料ヲ以テ
 仕拂候ヨリ外目途無之左候得ハ定員中一名ヲ減セサルヲ得ザル場合ニ立至リ然ルハ本港居留地
 取締上及脱離水夫探偵捕獲方等ニ於テ實際差間ヲ生シ夫レカ爲メ大ニ各國人居留人並碇泊軍艦乘
 組士官等ノ信用ニ關シ候義不少豫被存候付テハ右金額即チ銀貨五百四十圓ハ今般ニ限リ特別ノ御
 詮議ヲ以テ何卒別途御下渡相成度此段再應相伺候

指令(十四日)

別途下渡ハ難開屆候條其縣警察費ノ内ヨリ流用支給致スヘシ

参照

○本省伺(十一月九日)

神奈川縣雇通卒「ウヰルヤム、ヘルス」解雇ニ付テ手當金給與ノ義別紙甲乙號伺出ニ付朱書
 ノ通及指令置候處尙又同號ノ通申出候依テ再按スルニ本人義ハ該縣被雇中而度迄暴徒ノ爲
 ノ傷ク所トナリ其職ヲ執ル能ハサルヲ以テ雇ヲ解クニ至ルモ旅費ニ差間ヘ歸國ニ困難罷在
 候段事情甚々惘然ニ相開候間特別御詮議ヲ以テ申出ノ金額給與候義御許容相成度尤モ該縣
 本年度警察費中外國人諸費ニテハ支辨難致趣無據筋ト存候條右金五百四十圓銀貨ヲ以テ當
 省管理十三年度府縣警察費トシテ御下渡相成度此段相伺候

追テ本文金額銀貨ヲ以テ御下付ノ義御詮議難相成候ハ、請求金五百四十圓へ相場差額ヲ
 加ヘ通用紙幣ヲ以テ御下付相成度尤モ實際ノ差額ハ時々昇降豫定致カタクニ付御許容ノ
 上尙御届可仕此段申添候

指令(十一月十八日)

別途下渡ノ義ハ難開屆候條該縣警察費ノ内ヲ以テ流用支辨スルハ不苦義ト相心得ヘシ

故備佛國人へ祭祀料下賜ノ件

○警視廳伺(十一月九日)

故當廳佛國人勳四等「ベークロース」慰勞金下賜方ニ付本年十月卅一日第四千六百五十五號ヲ以

ヲ伺出未々御指令無之候處昨十八日午後第八時病死候然ルニ本人生前功勞ノ義ハ先ニ及上申候通
ニ有之候間該金額ヲ以テ更ニ祭祀料トシテ至急下賜相成候様致度此段上申候

指令(廿四日)

開届候事

参照

本省伺(廿四日)

故警視廳雇佛國人勳四等メーグローク義別紙警視總監申出ノ通去十八日病死致候ニ付テハ
本月九日付上申仕候同人歸國旅費旁々紙幣五百圓ヲ慰勞ノ名義ニテ給與ノ義ハ更ニ祭祀料
トシテ給與致度候條至急御允裁相成度候

指令(廿四日)

開届候事

外國人ヨリ金貨物品献納ノ件

○神奈川縣伺(廿四日)

第一條 外國人ニシテ警察署へ金員又ハ必用ノ物品(消防ニ用ニル器械等)ヲ献納セント欲スル者

アルトハ其國領事ヲ經由シテ出願スルト本人直ニ出願スルトニ拘ハラヌ開届ケ然ルヘキ筋ニ候
哉

第二條 前條ノ如ク然ルヘキ筋ニ候ハ、其金額ニ應シ相當ノ褒章ヲ行フヘキ義ニ候哉

第三條 果シテ前二條ノ如クナレハ其褒章ノ義ハ御省へ具申シ御省ニテ取扱ヒ相成ルヘキ義ト心
得可然哉

指令(廿五日)

開届不苦其縣ヨリ相當ノ謝狀送致スヘシ

参照

○本省伺(廿五日)

別紙神奈川縣ヨリ伺出候處從來雇ノ外國人ニシテ其勤ムル學校又ハ病院ニ金圓ヲ寄附シタ
ル先例ハ有之候得共未タ一般居留ノ外國人ニシテ警察署ニ金品ヲ寄附シタル者無之依テ考
フルニ本件ノ如キハ右ノ學校又ハ病院ニ對スルモノト其性質少シク異リト雖モ畢竟好意ヲ
以テ寄附スルモノナレハ之レヲ受クルモ敢テ不都合無之ト存候間以來ハ右様ノ寄附ヲ領收
シ學校病院等へ寄附スル者ノ例ニ準シ該地方廳ヨリ謝狀ヲ送ル迄ニ致サセ度此段相伺候

指令(二十五年四月)

伺ノ通

外國館内及外國人ニ於テ拾得ノ遺失物處分

○神奈川縣何(二十五年)

第一條 他人ノ邸内ニ於テ遺失物ヲ發見スルトキハ邸主ニ注意報告スル迄ニ止メ拾ヒ得タリトシテ届出ルヲ得サル旨昨十四年二月廿一日付ヲ以テ御達ノ趣有之候處外國館内ニカ、リ其品館主ノ所有ニアラスシテ其物主分明ナラサルハ外國人ニ於テハ自國ノ法ニヨリ處分スヘキヲ以テ他日該品盜難ニ罹リ又ハ遺失シタリトシテ警察署ニ申告スルモノアルモ多ハ所在ヲ知ルニ由ナシト雖モコノ場合ニ當リ若シ嘗テ外國館内ニ於テ發見シタルモノアルヲ聞知シ有之其物主本邦人ナルトキハ一ケ年内ハ勿論假令一ケ年ヲ經過スルモ返還ノ義一應其國領事ニ照會シ遣シ候テ可然哉

第二條 前條ノ如ク外國館内ニ於テ發見シタル物品ニシテ其主分明ナラサルカ又ハ路上ニ於テ拾得シタル物品ヲ外國人ヨリ警察署ニ届出ルモノアルハ是迄我カ遺失物取扱規則ニヨリ處分シ來リ居候得共若シ一旦届出タル後更ニ自國ノ法ニヨリ處分致度趣ヲ以テ其物品下戻シテ申出ル

トキハ聽許セサルヲ得サル義ト心得可然哉

指令(二十五年八月)

第一條 拾得者分明ナルニ於テハ何ノ通

但一ケ年ヲ超ル者ハ本文ノ限リニアラス

第二條 既ニ警察署ニ届出ル者ハ遺失物取扱規則第二條ニ依リ處分スヘシ

外國船入港ノ件

○沖繩縣上申(二十五年八月)

本縣六月廿八日午後一時外國船那那港ニ投錨候ニ付早速關官出張爲取調候處右ハ英國船船ニテ船號ハ「マルシヤツシヤ」船主ハ「シーケタルウエル」ト申者ニテ東洋諸國ノ名勝探討ノ爲メ本年一月自國ヲ發シ「リスボン」府「シアラタル」ノ海峡及ヒ阿弗利加ノ北部地中海ノ「マルタ」島等ヲ經印度ノ「セノロン」島ニ着キ碇泊凡ソ三ケ月ニシテ同島ヲ發シ「シンカポール」及ヒ台灣島ヲ經本島ニ寄港ノ旨申立テ彼等上陸ノ那那港近傍首里邊一覽致度趣情願ニ付免狀無之上ハ旅行ハ難差免旨申達候處長岡全權公使ヨリノ書面差出シ類リニ懇請致候ニ付披閱候處本人身柄ハ前條ノ通ニテ聊カ差支無之者ニ付厚ク待遇致度旨申越候間無余義聞届ケ同月廿九日關官差添那那港及ヒ首里迄遊覽爲

致同三十日午後二時無異事本港解纜致候右ハ些少ナリトモ旅行爲致候義ニ付其筋ハ經伺ノ上取計候普ニ可有之ノ處差追候事件ニテ余間モ無之不得止前條ノ通措置仕候間可然相成度尤本港出港ノ上ハ長崎ヲ經橫濱ニ至リ六ヶ月間碇泊ノ目的ニ有之旨申置候ニ付御承知相成度此段及上申候

達(廿五日)

本年六月廿八日英國船其縣那那港ハ投錨請願ニ依テ船主ニ旅行差許アル段去ル七月十八日付上申ノ趣外務卿ハ通知候處同卿ヨリ別紙寫ノ通リ回答有之候次第ニ付向後右様ノ不都合無之様可致爲心得書類相添ハ此旨相達候事

別紙

外務省回答(廿五日)

沖繩縣下ハ英國船入港該船主ヨリ長岡全權公使ノ書面差出シ請願ニ依リ那那其他ハ旅行差許候次第同縣令代理ヨリ貴省ヘノ上申書相添本月六日付テ以テ御通知ノ趣了承致候右ハ既往ニ屬シ無余義々ニハ候得共彼我現存ノ條約ニ相觸レ候ハ勿論重修談判中彼是共都合モ有之候間向後ハ旅行免狀携帶不致モノハ何等ノ事情有之候共一切不差許様同達ハ御達有之度此段回答旁申進候

外國人ノ遺失品ヲ内國人ニ於テ拾得セシ費用及報勞金ノ件

○岐阜縣伺(廿六日)

外國人ノ遺失ニ係ル物品内國人拾得届出ル時其費用及官ニ於テ取扱フ物品遞送等ニ係ル費用共揮テ遺失者ヨリ償ハシムル義ト心得可然哉又ハ報勞金ノ義ハ如何取扱ヒ可然哉
指令(廿六日)

前項ハ伺ノ通後項ハ一應規則ヲ示シ強ヒテ請求スルノ限リニアラスト心得ヘシ

外國ヨリ輸入ノ暴發物貯庫規則ノ件

○神奈川縣伺(廿六日)

本縣下久良岐郡刈内村ニ設置シタル暴發物貯庫規則ノ義ニ付テハ客歲九月以來各國領事會議長ト數度往復ノ末領事會議長ニ於テ意見ヲ異ニスルハ敷料額ノ一点ニ止リ候ニ依リ右敷料ハ彼是斟酌ノ上其抵度ニ就キ取定メタルモノコト別ニ異論ヲ唱フヘキ次第ニ無之依テ此上應答スルモ到底好結果ヲ得ヘキ見込無之ニ付貯庫規則ハ當時差出候草案通リニテ施行致度旨客歲十二月十二日付會第一七六三三號ヲ以テ相伺候處其後銀貨七錢ナル敷料ハ穩當ナラサルニ依リ再者致スヘキ旨外務卿ヨリ被達候次第有之候ニ付尙ホ篤ト熟考ノ上貳錢ヲ減シ銀貨五錢トシ更ニ別紙甲號ノ通リ本年

二月十四日附領事會議長ニ照會及置候處本月十五日ニ至リ別紙乙號和歐文ノ通回答申越候得共本
 第照會ノ主旨ニ對シ異議ヲ唱フルモノハ只獨逸瑞西兩國領事ノミニテ其他ハ總テ異存無之義ニ有
 之候間右照會ノ通り敷料額ハ銀貨五錢ト定メ該規則實施致度此段相伺候

指令(四月十六日)

聞届候事

参照

○同縣伺(計五回)

火藥其外横濱ニ輸入シタル爆發スヘキ性質ヲ有スル物品ヲ貯藏スル爲メ經伺ノ上神奈川縣
 下武藏國久良岐郡堀内村ニ爆發物貯庫ヲ創設シ建築既ニ落成候ニ付テハ開庫ノ義内外人ニ
 不日公示スヘキ順序ニ相成居候然ル處該品運搬其他取締向ノ義内國人ハ素ヨリ銃砲取締規
 則及火藥運搬規則ニ準シ取扱候得共外國人ノ義ハ我カ規則ノ範圍外ニアルヲ以テ貯庫ヘ入
 出ノ爲メ水陸共運搬ノ都度其取締方法豫メ取極メ置不申候テハ或ハ公衆ニ危害ヲ及ホシ如
 何ナル慘狀ヲ現出スヘキ哉難測右ハ深ク注意ヲ要スヘキ次第ニ有之候間其筋ヘ稟議各外國
 人ヲシテ我火藥運搬規則ニ依ラシムル歟或ハ更ニ適當ナル規則ヲ御創設遵守セシメラレ候

樣至急御詮議ノ上追テ何分ノ義御垂示有之度此段及上申候

○訓示(計五回)

其縣下久良岐郡堀内村爆發物貯藏庫落成ニ付該品運搬規則ノ義本年三月廿八日付ヲ以テ申出候處
 火藥並自然發火スヘキ物品貯藏所設立ノ義ニ付慶應三年十月各國公使ト協議ノ次第有之ニ依リ既
 ニ先年爆發物貯庫規則設置ノ節モ其縣各國領事協議制定候ニ付爆發物貯庫規則及該品運搬取締ノ
 義モ右同様各國領事ト協議ノ上制定可致此旨訓示候也

○同縣再伺(計三回)

縣下久良岐郡堀内村ニ設置シタル爆發物貯庫ニ係ル規則書ノ義ハ客歲六月五日一應伺濟相成候處
 本年六月十五日付ヲ以テ該規則及ヒ運搬取締等ノ義モ各國領事ト協議ノ上制定可致旨御訓示ノ趣
 ニ隨ヒ異見ノ有無問合候處別紙甲號ノ通回答有之依テ尙乙號之通照會候處丙號之通回答有之結局
 敷料額ノ多寡ニ就キ彼是意見ヲ異ニスルニ止候一俟該規則草案ニ一立方英尺ノ敷料銀貨七錢ニ爲
 シタルトキハ乙號照會書ニ掲ケタル通彼是斟酌其抵度ニ就キ見込相立候義ニ付之ニ對シ異議ヲ唱
 フヘキ次第無之ト相考此上尙應答スルモ到底好結果ヲ得ヘキ見込無之ニ付別紙規則ヲ以テ實施候
 樣致度右ハ來ル十六年一月一日ヨリ施行致シ度此段相伺候